



幅広い給湯ニーズに応える、
ダイキンの省エネ給湯。

グリーン購入法
調達基準適合商品



HFC 大型業務用ヒートポンプ給湯システム
メガキュー

MEGA・Q

グリーン購入法
調達基準適合商品



ダイキン自然冷媒(CO₂)ヒートポンプ給湯機

業務用エコキュート



高効率なヒートポンプ給湯が、お客様設備の省コスト運営をサポート

ダイキンの 業務用ヒートポンプ給湯機

電気エネルギーを数倍の熱エネルギーに変換するヒートポンプ。

ダイキンではこのヒートポンプ技術に独自の省エネ技術を注ぎこむことで生まれたヒートポンプ給湯システムで、給湯設備における、あらゆる規模のエネルギー削減策に貢献します。

大容量ニーズに向けた高効率給湯機。

HFC 大型業務用ヒートポンプ給湯システム

メガキュー

MEGA・Q

2種類のHFC冷媒の特性を活かした独自開発の冷媒回路で、豊富な湯量を省エネ&エコロジーに供給。専用コントローラーにより年間スケジュール管理や省エネ運用も容易に行えます。

日量給湯能力

4~120トン/日

グリーン購入法
調達基準適合商品



小～中規模店舗での利便性を追求。

ダイキン自然冷媒(CO₂)ヒートポンプ給湯機

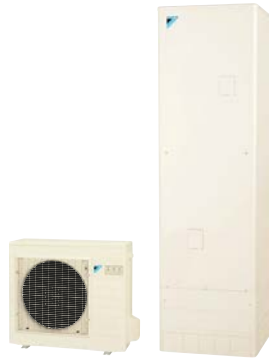
業務用エコキュート

飲食店や社員食堂、福祉施設などの小～中規模の店舗・施設に、場所を取らないコンパクト設計の給湯システムを。320kPaのパワフル高压給湯で、快適にお使いいただけます。

日量給湯能力

0.6~4.8トン/日

グリーン購入法
調達基準適合商品



MEGA・Q、業務用エコキュートは
ハイブリッド給湯システムにも対応しています。

詳しくはP.44を
ご覧ください。

MEGA・Q

特長

- ・ヒートポンプ給湯機 3
- ・インテリジェントタッチマネージャー 7

システム概要 9

業種別機種選定表 11

ヒートポンプ給湯機(仕様表・外形図) 13

各機器紹介(特長・仕様表・外形図)

- ・貯湯タンク(開放型/密閉型) 15
- ・再加熱ユニット 20

制御(仕様表・外形図)

- ・インテリジェントタッチマネージャー
/iTMプラスアダプター 21

機外配線要領(ヒートポンプ給湯機) 22

性能特性(ヒートポンプ給湯機) 23

使用限界(ヒートポンプ給湯機) 23

施工概要

- ・制御・電源配線要領 24
- ・水配管施工例 25
- ・配管制約 26
- ・複数台設置での水配管サイズ 27

諸注意 28

業務用エコキュート

特長 29

機種一覧 36

仕様表・外形図 37

標準配管工事 39

機外配線要領・別売品 40

施工概要 41

諸注意 43

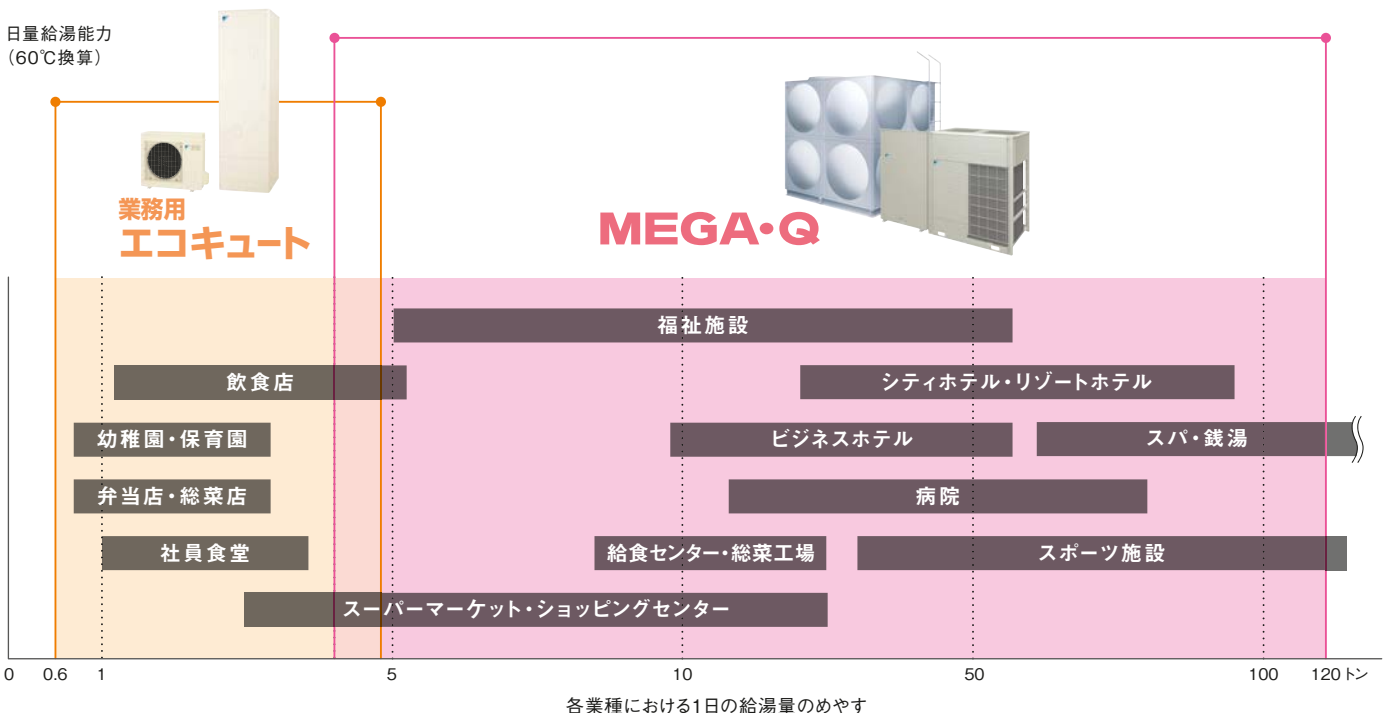
ハイブリッド給湯システムのご提案 44

フロン排出抑制法について 44

ヒアリングシート 45

幅広い業種の給湯ニーズにお応えできます。

日量給湯能力
(60℃換算)



各業種における1日の給湯量のめやす

HFC 大型業務用ヒートポンプ給湯システム

メガキュー

グリーン購入法
調達基準適合商品

MEGA・Q

日量給湯能力(1システムあたり)

4~120 トン/日

高効率
給湯

熱源機
本体保温

パワフル
給湯

省エネ
運用ソフト

年間加熱効率

3.5



大容量給湯ニーズに対応。
高効率給湯により
給湯設備の省エネが図れます。

HOTEL

SPA

SPORTS
GYM

HOSPITAL

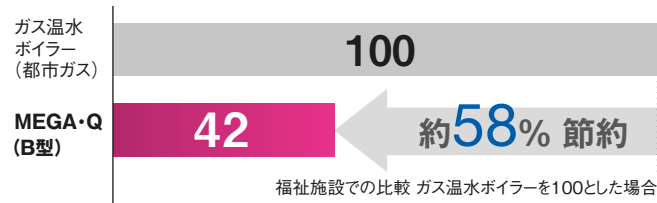
HFC冷媒採用で、高い循環保温COPを發揮。

高効率給湯により給湯設備の省エネを推進

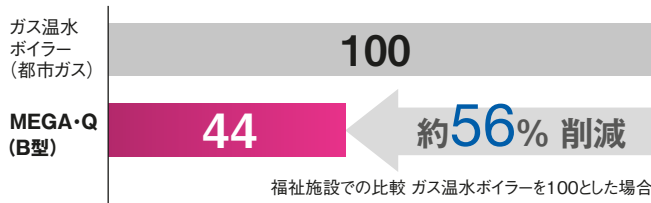
保温時の運転効率や、年間を通しての沸き上げ効率を大幅に高めた給湯システムにより、給湯設備のトータルな省エネを実現しました。

循環保温
COP (中間期) **3.0**
(貯湯加熱COP 3.8 (中間期))

ガス温水ボイラーと比べて 年間給湯コストを大幅に節約*



年間CO₂排出量も大幅削減*



※試算条件：大阪府での70人規模福祉施設 MEGA-Q 2台 12トン開放タンク(SUS2m)
 電気：関西電力 高圧6kV・蓄熱契約・力率割引15%、基本料金1,765.5円/kW、昼間電力量料金13.94円/kWh(夏季)、12.87円/kWh(その他季) (※蓄熱割引含み)
 都市ガス：定額基本料金20,511.0円/月、流量基本料金単価1,128.6円/m³h、従量料金単価97.44円/m³(冬季)、84.55円/m³(その他季節)
 CO₂排出係数：電力0.318kg-CO₂/kWh、都市ガス0.0509kg-CO₂/MJ

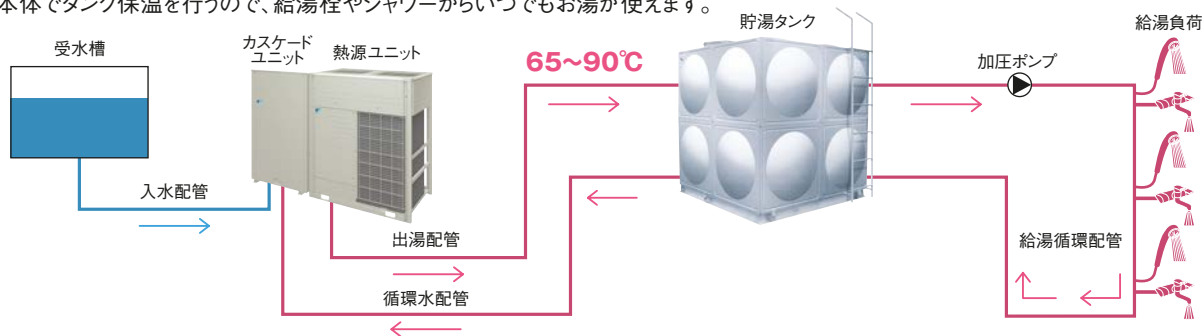
性能表示について

業務用ヒートポンプ給湯機は一般社団法人 日本冷凍空調工業会 規格改正 (JRA4060:2018) により、従来は各期の温度条件 (夏期、中間期、冬期、着霜期) で運転した場合の「COP」表示でしたが、2015年4月より実際の使用状況に近い条件から求めた一年間の平均性能を「年間標準貯湯加熱エネルギー消費効率」と規定し、略称「年間加熱効率」として表示しています。 ※詳細は一般社団法人 日本冷凍空調工業会ホームページをご確認ください。

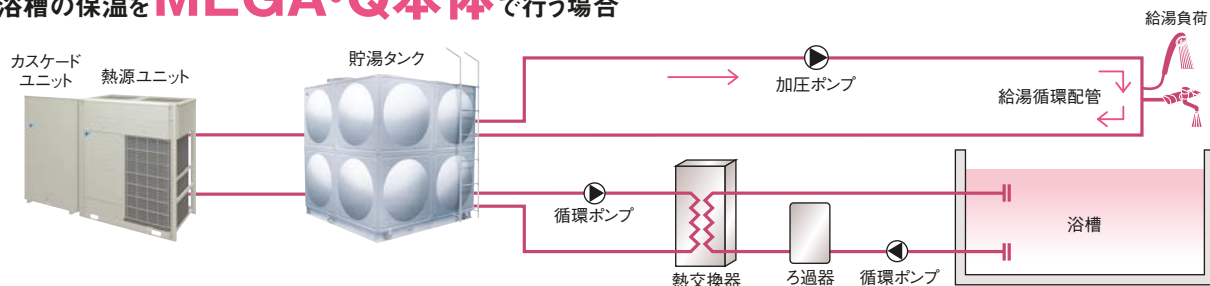
すぐにお湯が使える給湯循環配管に対応。

熱源機本体保温

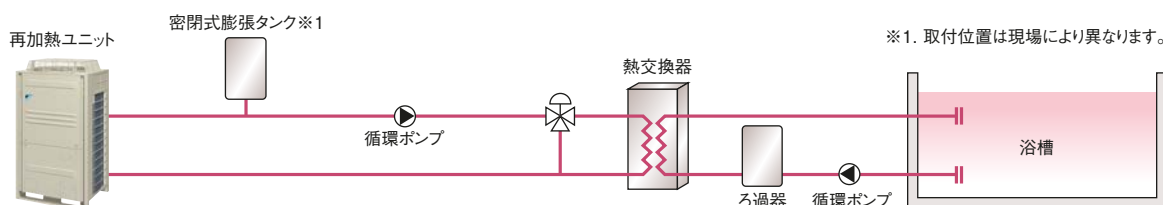
熱源機本体でタンク保温を行うので、給湯栓やシャワーからいつでもお湯が使えます。



1 浴槽の保温を MEGA-Q 本体で行う場合



2 浴槽の保温を再加熱ユニットで行う場合



※1. 取付位置は現場により異なります。

※密閉型貯湯タンク接続時やMEGA-Q以外のシステムでご使用される場合は、再加熱ユニットの単独設置改装が必要です。

産業用途をはじめ、多彩な用途に対応。

パワフル給湯で様々な給湯ニーズに活躍

高温沸き上げ

パワフルで信頼性の高い高温給湯が可能となり、プロセス用途をはじめ、幅広い給湯・高温水ニーズにお応えできます。

沸き上げ温度
最高 **90℃**

タンク内
80℃ 保温対応

ハイパワーモード

よりパワフルな沸き上げ運転を可能にする「ハイパワーモード」も搭載しています。

加熱能力
標準モード **35kw** ▶ ハイパワーモード **40kw**

※ハイパワーモードで運転すると消費電力も上がりますのでご注意ください。

年間を通して安定給湯

低外気温下での運転性能を高め、年間を通して安定した省エネ給湯を行います。

外気温 **-5℃** まで加熱能力 **35kW** を維持

外気温 **-20℃** まで **90℃** 沸き上げ可能

開放型と密閉型のどちらも使用可能

開放型だけでなく密閉型の貯湯タンクも使えるようになり、選択の幅がさらに広がりました。

●開放型



ステンレス製

●密閉型



ステンレス製

●開放型



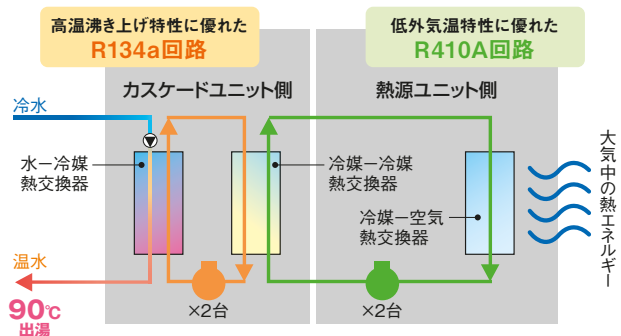
FRP製

MEGA・Qは二元冷媒回路で高温出湯・高効率運転を実現。

HFC冷媒の特性である保温時の運転効率の良さに加えて、省エネ性が高く低外気温特性に優れた冷媒R410Aと、高温沸き上げ特性に優れた冷媒R134aの2種類の冷媒を組合せた、トータル給湯効率の高い熱源システムです。

二元冷媒回路の仕組み

90℃の高温出湯の実現には、凝縮温度が90℃以上の特性を持つ冷媒を採用する必要があります。冷媒(R410A)の臨界温度は70℃のため採用は不可となりますが、冷媒(R134a)の臨界温度は101℃であり、90℃の高温域で採用が可能となります。ただし、冷媒(R134a)で高温水取出しを単元サイクルで行くと、高圧縮運転で圧縮機の吐出ガス温度が高くなり、冷凍機油の炭化等の問題が発生します。そこで、低温域で高効率な冷媒(R410A)と高温取出しの可能な冷媒(R134a)の二元冷媒回路を採用することで、「高温出湯」「高効率運転」を可能にしました。



メンテナンスや現地工事の省力化が図れます。

HFC冷媒採用機のため現地修理にも容易に対応できる上、高圧ガスの届出も不要です。

現地修理での対応が容易
高圧ガス届出不要

万一のトラブル時のバックアップ体制も充実。

運転停止を回避するための機能も充実

バックアップ運転で運転停止を回避

熱源ユニットとカスケードユニットには各々2台のインバーター圧縮機を搭載。万一、1台が故障しても50%の能力でバックアップ運転が行えます。

※サービスマンによる現地設定が必要です。



複数台連結システムならさらに安心

1台のヒートポンプ給湯機が故障し完全停止しても、自動的に残りのヒートポンプ給湯機で給湯を続行できます。



湯切れ回避を自動で行います

貯湯タンクの水位が満蓄時の30%以下(工場出荷時)になった場合、自動的に最低水位プラス10%に届くまで強制運転を行い、湯切れを防ぎます。(開放型タンクシステムのみ)

多彩なエネルギー管理で節電・省エネ。



節電対策 に向けたデマンド抑制、省エネモード

必要湯量を確保しながら、デマンド抑制で確実に節電※1
複数台の連結したヒートポンプ給湯機を台数制御することで任意の時間帯の消費電力を低減させることができます。

デマンドの設定

- 実施期間・時間帯 ●能力設定(10%刻み)

能力0%設定で、熱源の完全停止可能※2

4台システムで能力50%設定の場合 ▶ 2台停止

運転 運転 停止 停止

夏の加熱能力をセーブする、省エネモード※3を搭載

給湯負荷の小さい夏の加熱能力をセーブし、消費電力を抑えた効率の良い運転が可能です。

加熱能力

標準モード 35kW ▶ 省エネモード 30kW

※1.複数台連結システムの場合。 ※2.万一、最低水位を下回る場合は、デマンド時でも運転します。 ※3.コントローラーからの設定が必要です。

給湯使用量の見える化&ナビ機能で、誰でも簡単に省エネ運用。

運転データモニタソフト

インテリジェントタッチマネージャー対応

蓄積データを取り出して、お手持のパソコンで簡単・省エネ管理

現地に専用パソコンがなくても、事務所のパソコンにソフトをインストールするだけで運転データのチェックが可能に。

USBメモリーでデータ取込み

インテリジェントタッチマネージャー

日々のお湯の使われ方を簡単チェック。

日報・月報機能

給湯の“見える化”で、さらに省エネ給湯

※インテリジェントタッチマネージャーからは、お手持のUSBメモリーでのデータ取込みとなります。

省エネナビ機能

過去の履歴を分析し、曜日ごとの時刻別推奨水位を提示。

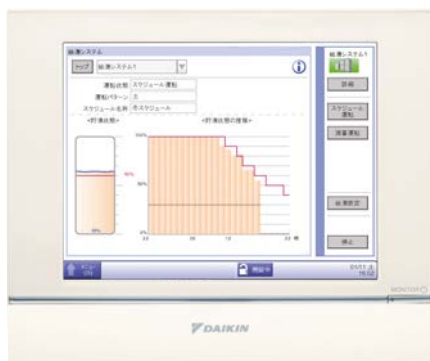
時間ごとの給湯使用量とともに、「省エネナビ機能」により推奨水位を自動表示。これによって、実際のお湯の使われ方に合せて給湯運転パターンが補正でき、よりムダのない給湯が可能になります。

推奨水位

昼	90%
夜	90%
夜	90%
夜	90%
夜	90%

今より、さらに10%抑えられるみたい!

MEGA・Qを容易に設定・管理できる インテリジェントタッチマネージャー (別売品)

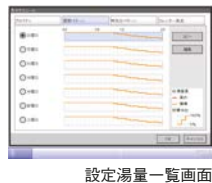


年間スケジュール管理

日常の給湯運転の管理を自動化

詳細な年間スケジュール管理設定を行うことで、日常の運転管理はほぼ自動化できます。

- 時刻、曜日単位で湯量の設定が可能
- 特定日(休日など)の設定が可能
- 標準/春/夏/秋/冬と5つの給湯パターンが設定可能



業種別最適湯量設定

業種に応じた給湯パターンをワンタッチ設定

業種を選択するだけで、業種に応じた最適な給湯運転パターンが設定できます。

MEGA・Qなら、業種を選ぶだけでOK

今までは設定が複雑で、使い方がわからなかった…

ウチは福祉施設だからコレか!

- 選定業種
- 福祉施設 ●ビジネスホテル ●給食センター
 - 病院 ●ホテル ●スポーツ施設 ●飲食店舗

DCM601B1

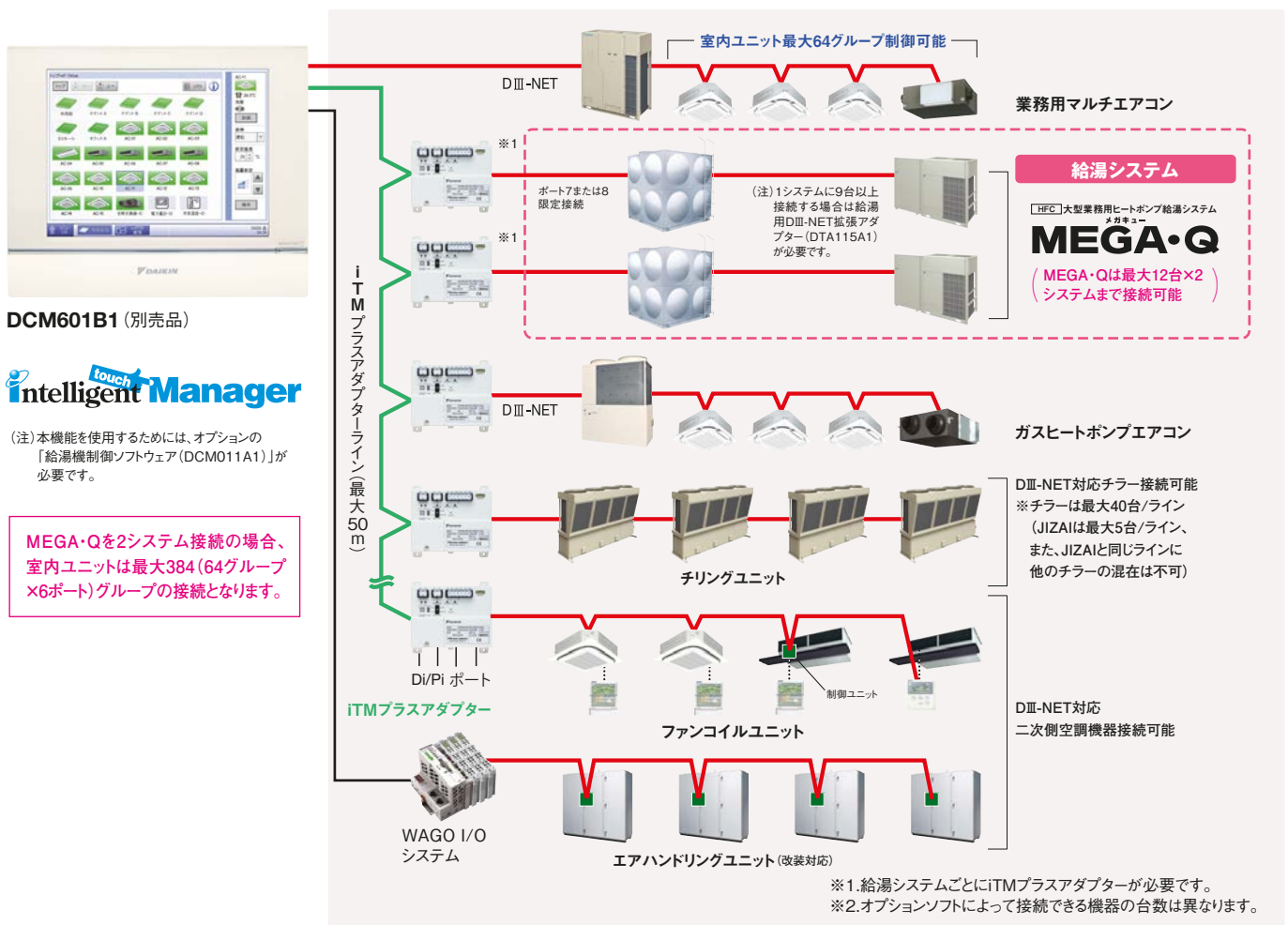
(開放型タンクシステム用必須別売品※)

- ※本機能を使用するためには、オプションの「給湯機制御ソフトウェア(DCM011A1)」が必要です。
- ※開放型貯湯タンクのみ適用します。
- ※MEGA・Qの監視・制御を行う場合は、必ずiTMプラスアダプターを介した接続となります。
- また、MEGA・Qを接続することでインテリジェントタッチマネージャーに接続できる空調機器の最大接続台数は少なくなります。詳しくはお問合せください。

最大2系統24台(1系統12台)のMEGA・Qが管理できます。
※詳細は次のページをご覧ください。

●接続可能MEGA・Qは、B型(RLYP350B)、BA型(RLYP350BA)と開放型貯湯タンクの組合せシステムのみ適用します。A型(RLYP350A)は接続できません。

給湯をはじめ、施設内の省エネ・効率管理を推進する「インテリジェント



大画面・カラー表示だから見やすい

10.4インチの大画面カラー液晶を採用。運転状態を一目で確認できます。

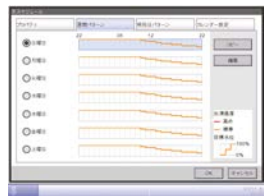
画面に直接触れるタッチパネル方式で操作が簡単

直接画面に触れて操作ができますので、扱いが簡単です。



日常の運転管理はおまかせ(自動化)

年間を通した詳細な運転スケジュールが設定でき、日常の運転管理をほぼ自動化できます。



自分のパソコンから自在に操作

リモコンが遠くにあって大丈夫。パソコンから任意の機器をリモコンと同等に操作できます。



離れた施設も管理

パソコンにインテリジェントタッチマネージャーの画面が呼び出せるので、遠方の施設も自分のデスクから管理できます。



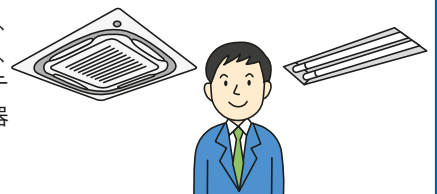
故障をメールで知らせてくれるから、外出していても安心

異常の発生と同時に、管理者や修理会社に電子メールで自動通知します。



MEGA-Q以外の設備もカンタン管理

MEGA-Qだけでなく、空調機や換気、給湯、照明、キー管理システムなど様々な設備機器が統合管理できます。



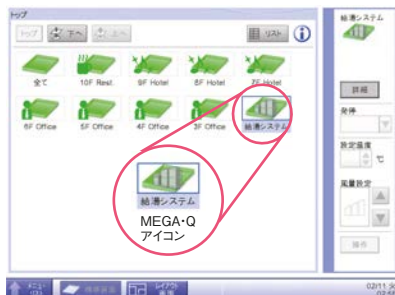
タッチマネージャー」。

MEGA・Qの統合管理が可能となり、よりトータルな設備・省エネ管理が実現。

●接続可能MEGA・Qは、B型(RLYP350B)、BA型(RLYP350BA)と開放型貯湯タンクの組合せシステムのみ適用します。A型(RLYP350A)は接続できません。
 (注)本機能を使用するためには、オプションの「給湯機制御ソフトウェア(DCM011A1)」が必要です。

最適なMEGA・Qの各種設定・運転管理が可能(オプション)

[トップ画面]



●トップ画面にて給湯システムの運転・停止・異常の確認ができます。

[給湯システムメイン画面]



●貯湯タンクの現在水位と1日の水位の変化を1時間単位で表示。お湯の使用量と目標水位の状態がわかります。

業種に応じた給湯パターンをワンタッチで設定。

7業種の基本的な給湯パターンがあらかじめ設定されており、複雑だった給湯パターンの設定が業種を選択するだけで完了します。

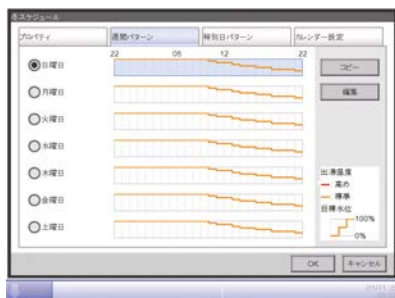
選定業種

- ・福祉施設
- ・病院
- ・飲食店舗
- ・ビジネスホテル
- ・ホテル
- ・給食センター
- ・スポーツ施設

年間を通じた詳細な設定で日常の給湯運転を自動管理

年間スケジュール管理

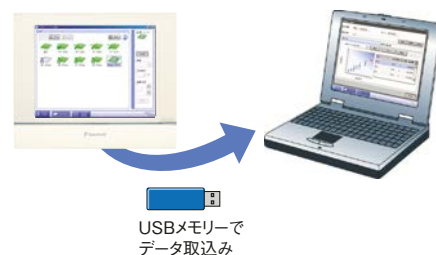
[設定湯量一覧画面]



- 曜日単位で、1時間刻みで湯量の設定ができ、各曜日の設定湯量を一覧で確認できます。
- 標準以外に、春/夏/秋/冬と季節ごとの切換えなど、5つの給湯パターンが設定可能です。
- 祝祭日や定休日などの特定日もカレンダー表記で簡単に設定できます。

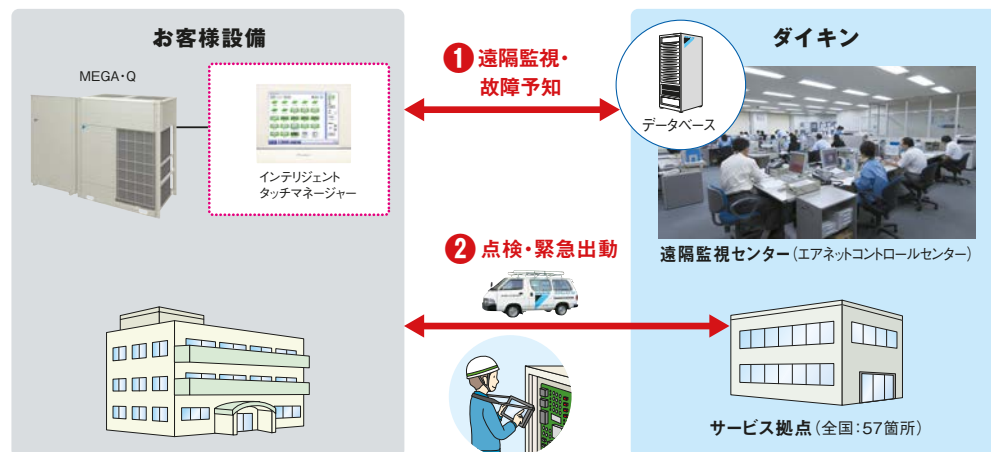
お手元のパソコンでさらに省エネ給湯管理

省エネナビ機能 詳細はP.6をご覧ください。



エアネットサービスシステムでお客をサポート(有償契約)

●エアネットサービスシステムのシステムイメージ



① 遠隔監視・故障予知

24時間365日給湯機を遠隔監視。故障の予兆を見つけ出し、故障する前に対応します。

故障予知機能

② 点検・緊急出動

年1回オフライン点検を行いベストコンディションに。万が一の故障時は緊急対応します。

2時間以内に対応※

※一部、2時間以内の到着体制が完備されていない地域がありますので、詳細についてはお問合せください。

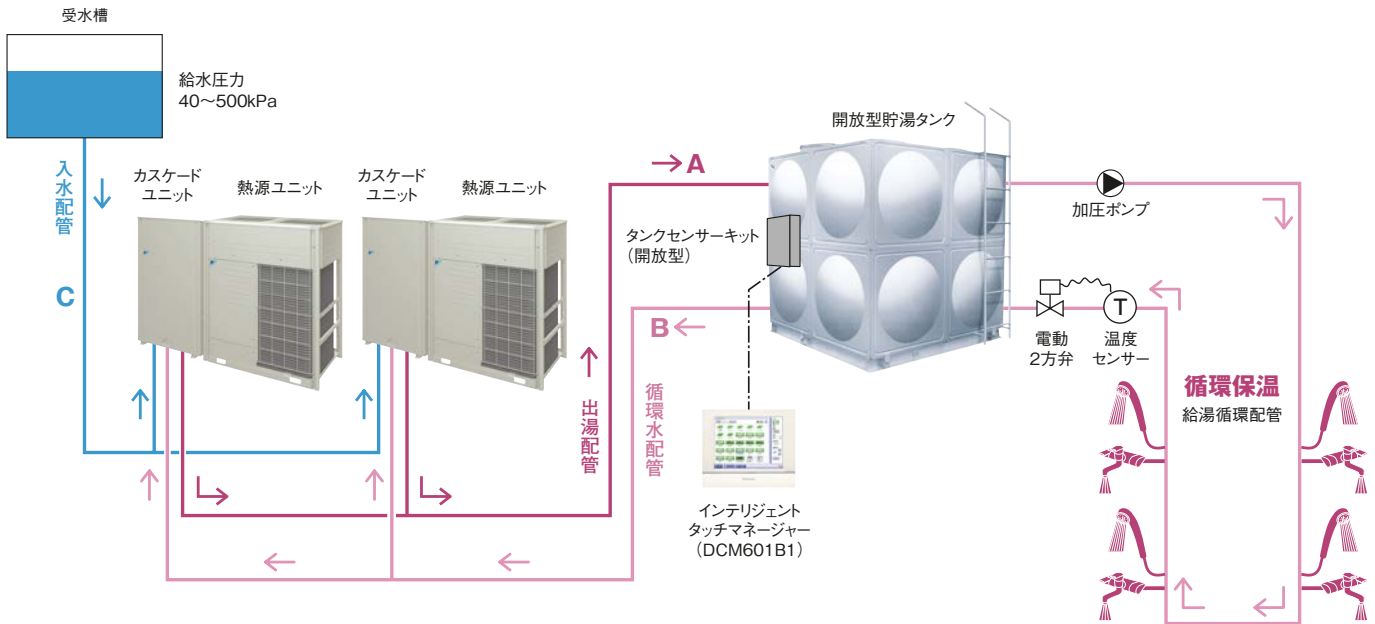
メニュー	点検	遠隔監視	故障予知	緊急対応	オーバーホール
エアネットサービスシステム	1回/年 オフライン点検	○	○	○	別途有償契約

エアネットサービスシステムのMEGA・Q対象機種：
 B型(RLYP350B)、BA型(RLYP350BA)
 ご注意 密閉型タンクシステムの場合はインテリジェントタッチマネージャーが別途必要です。

※現地点検のみの従来保守メニュー(有償)もご用意しております。

システム概要

開放型貯湯タンクを接続する場合



●システム構成 (基本システム)

機器名称	機種	備考
給湯機 ヒートポンプ給湯機 (熱源ユニット+カスケードユニット)	RLYP350BA (RLP350BA+BWLP350B)	・給湯負荷に合わせて最大12台まで1システムで連結可能。 ※1システムに9台以上接続する場合は給湯用DIII-NET拡張アダプター(DTA115A1)が必要です。
センサー タンクセンサーキット<必須別売品>	BRP26B1	・開放型貯湯タンク1基に1台必要。 ・現地取付となります。なお、タンク側取付フランジは工場出荷時に取付けてあります。
制御 インテリジェントタッチマネージャー <必須別売品>	DCM601B1	・開放型貯湯タンクを接続する場合は、1システムに1台必要。 ・空調機との統合制御や最大12台をこえる接続の場合に必要となります。 ※1システムに9台以上接続する場合は給湯用DIII-NET拡張アダプター(DTA115A1)が必要です。 ・給湯機制御ソフトウェア(DCM011A1)が必要になります。 ・給湯システムごとにITMプラスアダプター(DCM601A2)が必要になります。
タンク 開放型貯湯タンク (ステンレス製/FRP製)	タンク高さ 2m:4~36トン タンク高さ 3m:6~54トン	・貯湯量に応じて選択。 ・1システムに最大2台まで連結可能。 なお、高さ2mと3mのタンクを混在させることはできません。

●開放型貯湯タンク(推奨品)について

	ステンレス製・開放型貯湯タンク	FRP製・開放型貯湯タンク
タンク本体	完成後工場出荷 ※大容量タンクは現地組立。詳しくはP.15のラインアップ表をご覧ください。 ・ケミカルアンカーボルトは現地調達。 ・外タラップと通気口は現地取付。	現地組立 ・ケミカルアンカーボルトはタンクメーカーにて調達。
配管サイズについて	外形図(P.16)は標準的な配管サイズです。熱源の接続台数および給湯配管サイズにより接続配管サイズは変わります。P.27を参考に、手配時に配管サイズをご指示ください。	外形図(P.18)は標準的な配管サイズです。熱源の接続台数および給湯配管サイズにより接続配管サイズは変わります。P.27を参考に、手配時に配管サイズをご指示ください。

開放型タンクシステム用

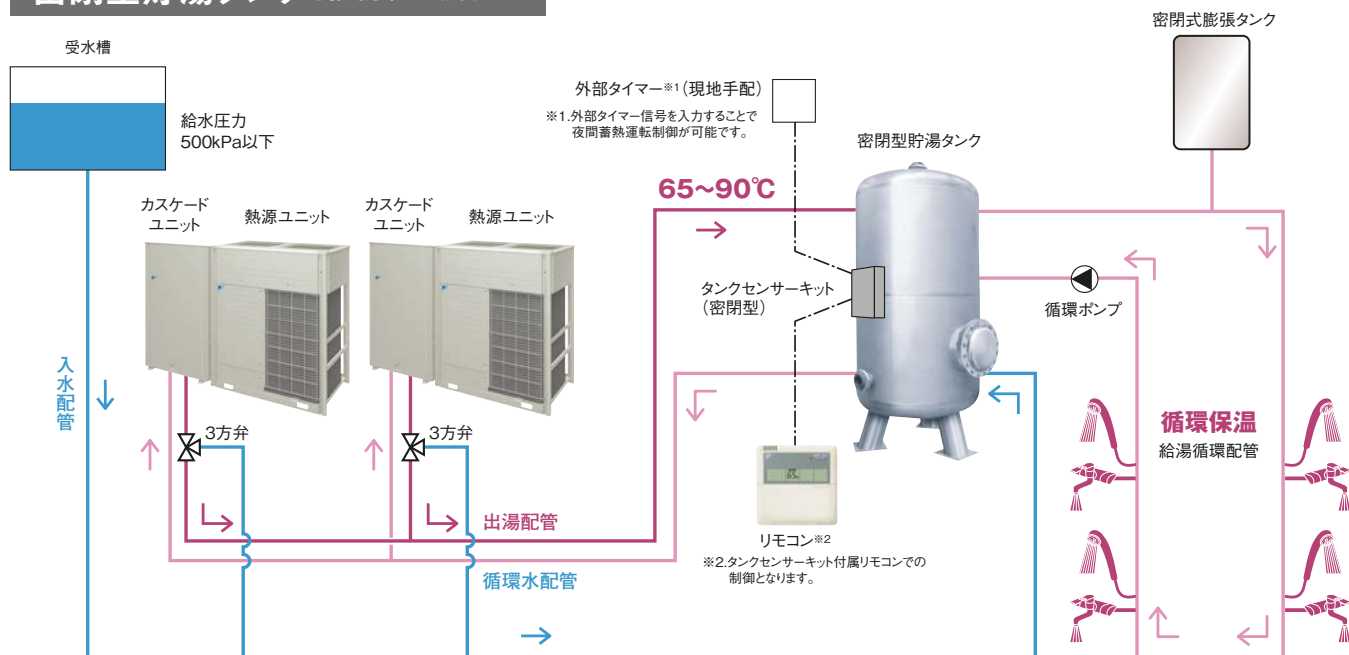
タンクセンサーキット(ダイキン製・必須別売品)

機種名	BRP26B1(E,H)	
電源	単相200V(50/60Hz)	
外形寸法	高さ×幅×奥行 450mm×300mm×100mm	
外装色	標準仕様機	アイボリーホワイト(5Y7.5/1)
	耐塩害仕様機:E	ライトキャメル(2.5Y6.5/1.5)
	耐重塩害仕様機:H	ライトキャメル(2.5Y6.5/1.5)
付属品	<ul style="list-style-type: none"> ● 上限水位スイッチ ● 下限水位スイッチ ● 水位センサー ● 温度センサー ● リモコン 	

●運転モードによる出湯温度(例)

	A	B	C	備考
給湯運転	出湯温度 65℃	返湯温度 —	給水温度 5℃~35℃	
循環保温運転	73℃	60℃	—	Bの設定温度は、50~80℃まで変更可能です。
高温運転	90℃	—	5℃~35℃	Aの設定温度を90℃に設定する必要があります。

密閉型貯湯タンクを接続する場合



●システム構成 (基本システム)

機器名称	機種	備考
給湯機 ヒートポンプ給湯機 (熱源ユニット+カスケードユニット)	RLYP350BA (RLP350BA+BWLP350B)	・給湯負荷に合わせて最大12台まで1システムで連結可能。 ※1システムに9台以上接続する場合は給湯用DIII-NET拡張アダプター(DTA115A1)が必要です。
センサー タンクセンサーキット<必須別売品>	BRP26B2	・1システムに1台必要。 ・現地取付となります。なお、タンク側取付フランジは工場出荷時に取付けてあります。 ※センサーの取付位置を事前にご指示ください。
制御 リモコン(タンクセンサーキット付属品)	—	・1システムに1台必要。
タンク 密閉型貯湯タンク(ステンレス製)	2~6トン	・貯湯量に応じて選択。

●密閉型貯湯タンクにインテリジェントタッチマネージャーは接続できませんのでご注意ください。

(ただし、エアネットサービスシステムを接続する場合は、貯湯タンクの種類が開放型/密閉型にかかわらず、インテリジェントタッチマネージャーが必要です。)

密閉型タンクシステム用 リモコン (タンクセンサーキット付属品)

本体機能

- ・出湯/保温 温度設定
- ・運転モード設定(標準/省エネ/ハイパワー)
- ・デマンド設定(外部入力/常時)



密閉型タンクシステム用

タンクセンサーキット (ダイキン製・必須別売品)

機種名	BRP26B2(E,H)	
電源	単相200V(50/60Hz)	
外形寸法	高さ×幅×奥行	450mm×300mm×100mm
	標準仕様機	アイボリーホワイ(5Y7.5/1)
外装色	耐塩害仕様機:E	ライトキャメル(2.5Y6.5/1.5)
	耐重塩害仕様機:H	ライトキャメル(2.5Y6.5/1.5)
付属品	<ul style="list-style-type: none"> ●温度センサー1 ●温度センサー2 ●温度センサー3 ●リモコン 	

●密閉型貯湯タンク(推奨品)について

	ステンレス製・密閉型貯湯タンク
タンク本体	完成後工場出荷 ・ケミカルアンカーボルトは現地調達。
配管サイズについて	外形図(P.20)は標準的な配管サイズです。熱源の接続台数により接続配管サイズは変わります。P.27を参考に、手配時に配管サイズをご指示ください。

業種別機種選定表

※下記選定表はあくまでも目安となります。詳細については弊社営業までお問合せください。
 ※本表に記載している以上の規模については、弊社担当営業までお問合せください。

- ヒートポンプ給湯機は熱源ユニット+カスケードユニットのセットを示し、1セットを1台と表記しています。
- 開放型ステンレス製貯湯タンクを基に算出しています。それ以外のタンクの採用をお考えの場合、弊社担当営業までお問合せください。

福祉施設



規模(利用者数/人)	~30	~40	~50	~70	~80	~90	~100	~110	~130	~140	~160	~170	~180
1日あたりの給湯量(トン/日)	~6	~8	~10	~14	~16	~18	~20	~22	~26	~28	~32	~34	~36
外気温度(0℃)、 入水温度(5℃)時	ヒートポンプ給湯機(台)	1		2			3		4				
	タンク容量 2mタンクの場合 (トン) 3mタンクの場合	4	8		12		16		20		24		
外気温度(-5℃)、 入水温度(5℃)時	ヒートポンプ給湯機(台)	1		2			3		4				
	タンク容量 2mタンクの場合 (トン) 3mタンクの場合	4	8		12		16		20		24		
外気温度(-10℃)、 入水温度(5℃)時	ヒートポンプ給湯機(台)	1		2			3		4		5		
	タンク容量 2mタンクの場合 (トン) 3mタンクの場合	4	8		12		16		20		24		

●給湯量を200L/人・日で試算(60℃換算)。施設内容によって異なりますので目安値となります。

病院



規模(病床数/床)	~30	~40	~50	~60	~80	~90	~100	~110	~130	~140	~150	~160
1日あたりの給湯量(トン/日)	~6	~8	~10	~12	~16	~18	~20	~22	~26	~28	~30	~32
外気温度(0℃)、 入水温度(5℃)時	ヒートポンプ給湯機(台)	1		2			3		4			
	タンク容量 2mタンクの場合 (トン) 3mタンクの場合	4	8		12		16		20		24	
外気温度(-5℃)、 入水温度(5℃)時	ヒートポンプ給湯機(台)	1		2			3		4			
	タンク容量 2mタンクの場合 (トン) 3mタンクの場合	4	8		12		16		20		24	
外気温度(-10℃)、 入水温度(5℃)時	ヒートポンプ給湯機(台)	1		2			3		4			
	タンク容量 2mタンクの場合 (トン) 3mタンクの場合	4	8		12		16		20		24	

●給湯量を200L/床・日で試算(60℃換算)。施設内容によって異なりますので目安値となります。

ビジネスホテル



規模(宿泊者数/人)	~40	~70	~80	~100	~110	~120	~130	~150	~160	~170	~180
1日あたりの給湯量(トン/日)	~8	~14	~16	~20	~22	~24	~26	~30	~32	~34	~36
外気温度(0℃)、 入水温度(5℃)時	ヒートポンプ給湯機(台)	1	2			3		4		5	
	タンク容量 2mタンクの場合 (トン) 3mタンクの場合	4	8		12		16		20		24
外気温度(-5℃)、 入水温度(5℃)時	ヒートポンプ給湯機(台)	1	2		3		4		5		
	タンク容量 2mタンクの場合 (トン) 3mタンクの場合	4	8		12		16		20		24
外気温度(-10℃)、 入水温度(5℃)時	ヒートポンプ給湯機(台)	1	2		3		4		5		
	タンク容量 2mタンクの場合 (トン) 3mタンクの場合	4	8	4	8		4		8		6

●給湯量を200L/人・日で試算(60℃換算)。施設内容によって異なりますので目安値となります。

リゾートホテル・旅館



規模(宿泊者数/人)	~30	~60	~70	~90	~110	~120	~130	~140	~150
1日あたりの給湯量(トン/日)	~7.5	~15	~17.5	~22.5	~27.5	~30	~32.5	~35	~37.5
外気温度(0℃)、 入水温度(5℃)時	ヒートポンプ給湯機(台)	1	2		3		4		5
	タンク容量 2mタンクの場合 (トン) 3mタンクの場合	4	8		12		16		20
外気温度(-5℃)、 入水温度(5℃)時	ヒートポンプ給湯機(台)	1	2		3		4		5
	タンク容量 2mタンクの場合 (トン) 3mタンクの場合	4	8		12		16		20
外気温度(-10℃)、 入水温度(5℃)時	ヒートポンプ給湯機(台)	1	2		3		4		5
	タンク容量 2mタンクの場合 (トン) 3mタンクの場合	4	8		12		16		20

●給湯量を250L/人・日で試算(60℃換算)。施設内容によって異なりますので目安値となります。

給食センター



規模(給食数/食)	~300	~400	~500	~800	~900	~1000	~1100	~1200	~1400	~1500	~1700	~1800	~2000	~2100	~2300
1日あたりの給湯量(トン/日)	~4.5	~6	~7.5	~12	~13.5	~15	~16.5	~18	~21	~22.5	~25.5	~27	~30	~31.5	~34.5
外気温度(0℃)、 入水温度(5℃)時	ヒートポンプ給湯機(台)	1			2				3				4		
	タンク容量 2mタンクの場合 (トン) 3mタンクの場合	4	8	12	16		20		24		28		32		
外気温度(-5℃)、 入水温度(5℃)時	ヒートポンプ給湯機(台)	1			2			3			4				
	タンク容量 2mタンクの場合 (トン) 3mタンクの場合	4	8	12	16		20		24		28		32		
外気温度(-10℃)、 入水温度(5℃)時	ヒートポンプ給湯機(台)	1		2			3		4		5				
	タンク容量 2mタンクの場合 (トン) 3mタンクの場合	4	8	12	16		20		24		28		32		28

●給湯量を15L/食・日で試算(60℃換算)。施設内容によって異なりますので目安値となります。

スポーツ施設

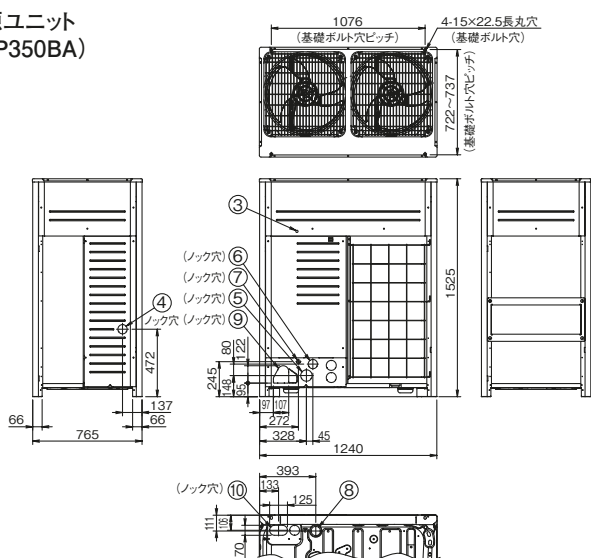


規模(利用者数/人)	~200	~400	~450	~500	~550	~600	~650	~700	~750	~800	~850	~900	~950
1日あたりの給湯量(トン/日)	~8	~16	~18	~20	~22	~24	~26	~28	~30	~32	~34	~36	~38
外気温度(0℃)、 入水温度(5℃)時	ヒートポンプ給湯機(台)	1	2		3				4			5	
	タンク容量 2mタンクの場合 (トン) 3mタンクの場合	4	8		12		16	8	12		16	12	
外気温度(-5℃)、 入水温度(5℃)時	ヒートポンプ給湯機(台)	1	2		3				4			5	
	タンク容量 2mタンクの場合 (トン) 3mタンクの場合	4	8		12		16	8	12		16	12	
外気温度(-10℃)、 入水温度(5℃)時	ヒートポンプ給湯機(台)	1	2		3			4			5		
	タンク容量 2mタンクの場合 (トン) 3mタンクの場合	4	8		12		16		20		24		16

●給湯量を40L/人・日で試算(60℃換算)。施設内容によって異なりますので目安値となります。

■外形図(単位:mm)

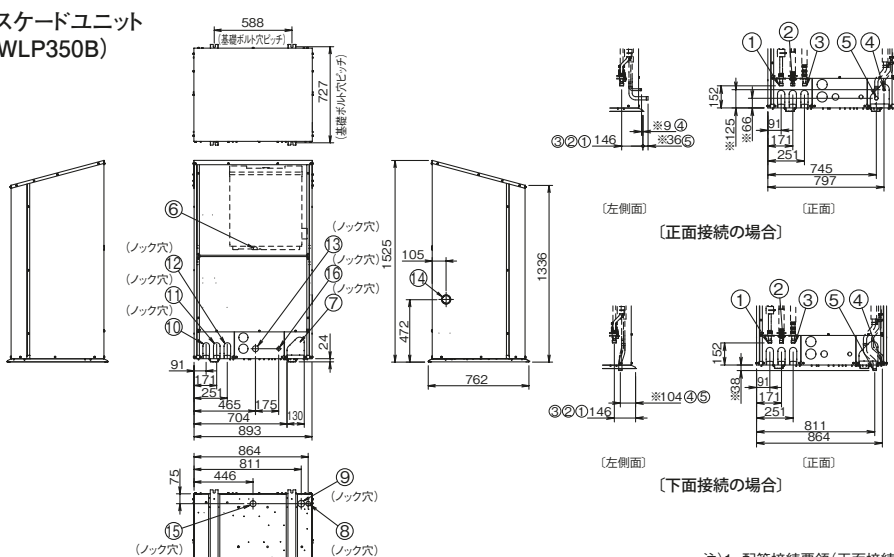
熱源ユニット
(RLP350BA)



- ① 液配管接続口 ★1 φ12.7 ロウ付接続
- ② ガス配管接続口 ★1 φ25.4 ロウ付接続
- ③ アース端子 スイッチボックス内(M8)
- ④ 電源接続口(側面) φ65
- ⑤ 電源接続口(前面) φ80
- ⑥ 電源接続口(前面) φ65
- ⑦ 電源接続口(前面) φ27
- ⑧ 電源接続口(下面) φ65
- ⑨ 配線取出口(前面)
- ⑩ 配線取出口(下面)

注) 1. ※印の寸法はピンチ配管を取り外した後の寸法です。
 2. ★1 配管接続時は別売品の現地接続配管キット(KHFP22C400)が必要です。
 別売品を使用せず配管接続する場合は、配管接続形態(正面接続、下面接続)に応じて現地での作業(拡管、曲げ)や、配管継手(L継手、同径継手、異径継手)等の準備が必要です。

カスケードユニット
(BWL350B)

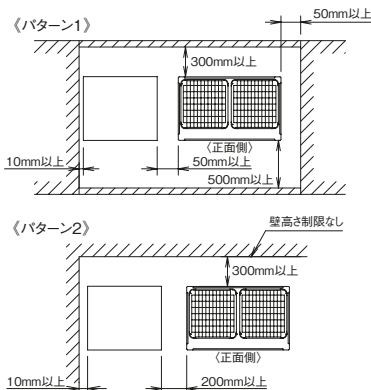


- ① 給水配管接続口 R3/4オネジ
- ② 循環配管接続口 R3/4オネジ
- ③ 出湯配管接続口 R3/4オネジ
- ④ 冷媒液側配管接続口 φ12.7 ロウ付接続
- ⑤ 冷媒ガス側配管接続口 φ22.2 ロウ付接続
- ⑥ アース端子 スイッチボックス内(M8)
- ⑦ 冷媒配管取出口(正面)
- ⑧ 冷媒配管取出口(下面) φ35
- ⑨ 冷媒配管取出口(下面) φ50
- ⑩ 給水配管取出口(前面)
- ⑪ 循環配管取出口(前面)
- ⑫ 出湯配管取出口(前面)
- ⑬ 電源取出口(前面) φ45
- ⑭ 電源取出口(側面) φ62
- ⑮ 電源取出口(下面) φ45
- ⑯ 配線取出口(前面) φ27

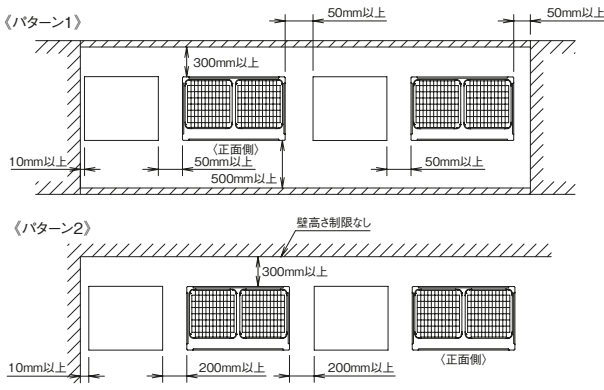
注) 1. 配管接続要領(正面接続、下面接続共)は据付説明書を参照してください。
 2. ※印の寸法は付属配管取付後の寸法です。

●サービススペース

1システム設置の場合



2システム設置の場合



- 注) 1. (パターン1)の場合の壁高さは、正面側・吸込側のスペースは右図の $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{2}$ をそれぞれ加えた寸法以上にする。正面側 1500mm、吸込側 500mm、側面側 高さ制限なしとします。
- 2. 上記の壁高さを越える場合、正面側・吸込側のスペースは右図の $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{2}$ をそれぞれ加えた寸法以上にする。
- 3. 据付に際しては、人の通路、風の通風を考慮し、現地のスペースに合わせて本図の中より適したパターンを選んで据付けてください。(本図のパターンより設置台数がふえる場合は、ショートサーキットを考慮して据付けてください。)
- 4. 正面側のスペースについては現地冷媒配管と給水・循環・出湯配管の施工に必要なスペースを考慮して据付けてください。
- 5. 雪の影響が予想される場合で熱源ユニット〜カスケードユニットの間の間隔が100mmを超える場合は、防雪フードの設置を推奨します。

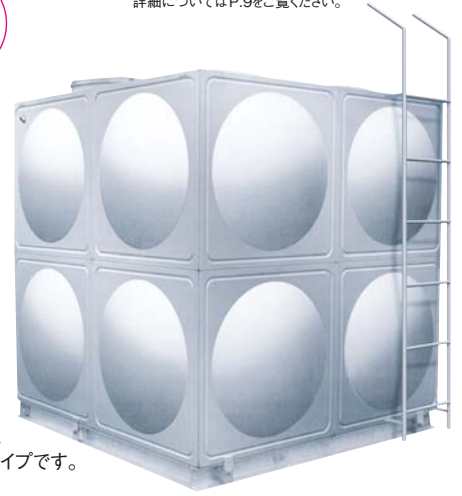
開放型 ステンレス製貯湯タンク <森松工業(株)製>

工場組立出荷品
(現地組立対応可能※)

※大容量タンクは現地組立品のみとなります。
詳しくは下記ラインアップ表をご覧ください。
●納入時に現地手配などの確認等が必要です。
詳細についてはP.9をご覧ください。

**80℃保温に対応した
ステンレス製貯湯タンクをラインアップ。**

推奨品



写真は
8トンタイプです。

- 堅牢で汚れにくく、耐候性にも優れたステンレスボディ
- 工場組立品で現地の工期を短縮化
(高さ2mタンクは20m³以下、高さ3mタンクは30m³以下まで)
- 保温性を高める水封式通気口を採用
- 100mm保温で断熱性を強化

■ラインアップ(納期1ヶ月)

タンク型式	タンク容量(m ³)		外形寸法(m)			製品質量[100mm保温参考値](kg)				組立場所	
	称呼容量	有効容量	高さ	幅	奥行	本体	受台	合計	満水時		
高のEタンク	MQ04-20-1K/G	4.0	3.0	2.0	1.0	2.0	256	97	353	4,049	工場/現地
	MQ08-20-1K/G	8.0	6.0	2.0	2.0	2.0	380	160	540	7,884	工場/現地
	MQ12-20-1K/G	12.0	9.0	2.0	2.0	3.0	518	222	740	11,732	工場/現地
	MQ16-20-1K/G	16.0	12.0	2.0	2.0	4.0	691	283	974	15,614	工場/現地
	MQ20-20-1K/G	20.0	15.0	2.0	2.0	5.0	822	345	1,167	19,455	工場/現地
	MQ24-20-1G	24.0	18.0	2.0	3.0	4.0	891	395	1,286	23,198	現地
	MQ28-20-1G	28.0	21.0	2.0	3.5	4.0	1,003	458	1,461	27,009	現地
	MQ32-20-1G	32.0	24.0	2.0	4.0	4.0	1,097	510	1,607	30,791	現地
	MQ36-20-1G	36.0	27.0	2.0	4.5	4.0	1,209	564	1,773	34,593	現地
高のEタンク	MQ06-30-1K/G	6.0	5.0	3.0	1.0	2.0	372	97	469	6,201	工場/現地
	MQ12-30-1K/G	12.0	10.0	3.0	2.0	2.0	555	180	735	12,127	工場/現地
	MQ18-30-1K/G	18.0	15.0	3.0	2.0	3.0	724	252	976	18,028	現地
	MQ24-30-1K/G	24.0	20.0	3.0	2.0	4.0	973	323	1,296	24,008	現地
	MQ30-30-1K/G	30.0	25.0	3.0	2.0	5.0	1,162	395	1,557	29,929	現地
	MQ36-30-1G	36.0	30.0	3.0	3.0	4.0	1,247	476	1,723	35,719	現地
	MQ42-30-1G	42.0	35.0	3.0	3.5	4.0	1,404	561	1,965	41,603	現地
	MQ48-30-1G	48.0	40.0	3.0	4.0	4.0	1,519	630	2,149	47,429	現地
	MQ54-30-1G	54.0	45.0	3.0	4.5	4.0	1,683	700	2,383	53,305	現地

※タンク型式の末尾は組立場所が工場の場合はK、現地の場合はGとなります。
※上記の標準タンク以外のサイズをお求めの場合は別途お問合せください。

■標準仕様

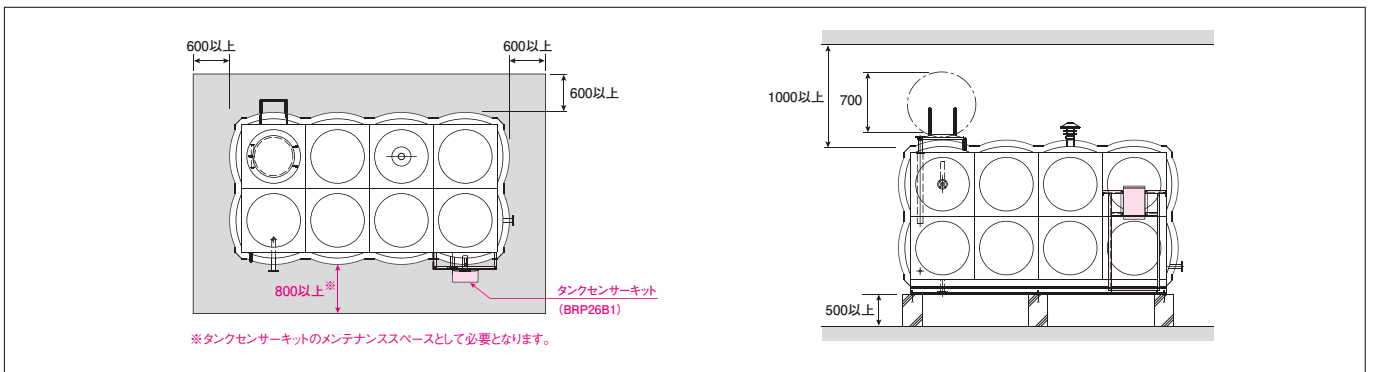
製造メーカー	森松工業株式会社
商品名	ステンレスパネル溶接型貯湯槽
機種名	貯湯タンク
貯湯方式	水位可変方式
パネル材質	SUS444
常時使用最高温度	90℃
外装色	カラーアルミ(シルバー)
保温材	ポリスチレンフォーム100mm
耐震強度	1.0G(オプションで1.5G、2.0G対応可能)

■オプションリスト

●タンクセンサーキット(ダイキン製・必須別売品) ※タンク1基に1台必要です。

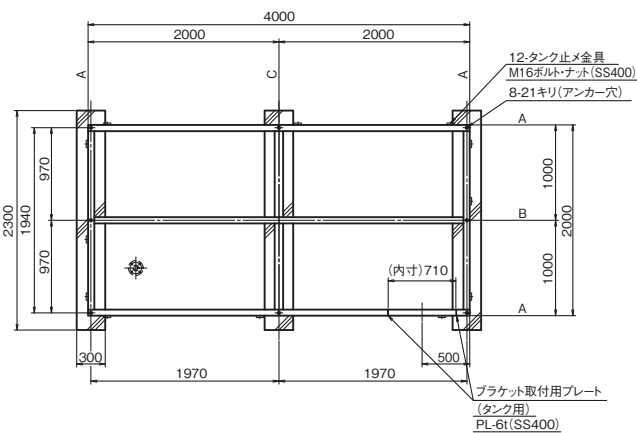
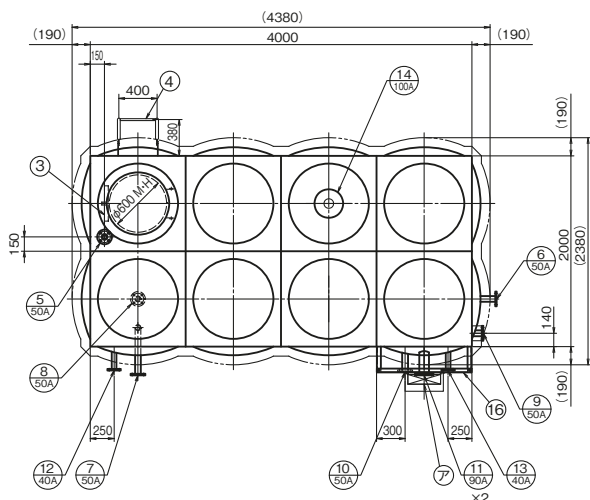
機種名	BRP26B1(E,H)	
電源	単相200V(50/60Hz)	
外形寸法	高さ×幅×奥行 450mm×300mm×100mm	
外装色	標準仕様機	アイボリーホワイ(5Y7.5/1)
	耐塩害仕様機E	ライトキャメル(2.5Y6.5/1.5)
	耐重塩害仕様機H	ライトキャメル(2.5Y6.5/1.5)
付属品	<ul style="list-style-type: none"> ●水位スイッチ×2 ●温度センサー×1 ●水位センサー×1 ●リモコン×1 	

■サービススペース(単位:mm)



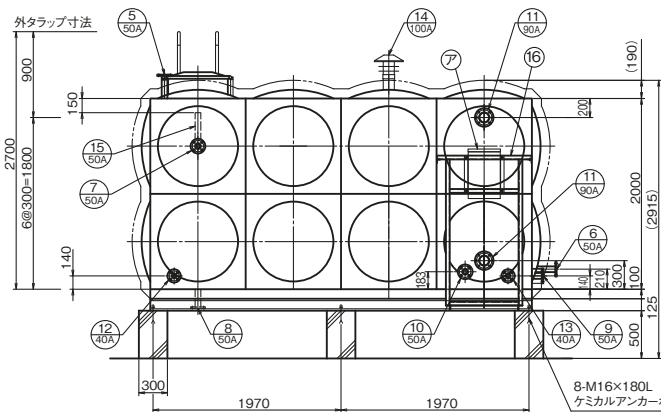
■外形図(単位:mm)

本図はMQ16-20-1K(16トン)で示しています。他の機種についての詳細は別途技術ガイドをご覧ください。



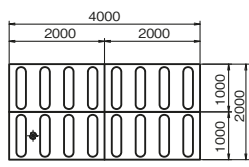
受台伏図

A材:C-125×65×6
B材:C-125×65×6
C材:L-90×90×7

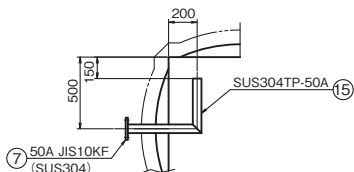


フロートスイッチフランジ詳細図 S=1/10

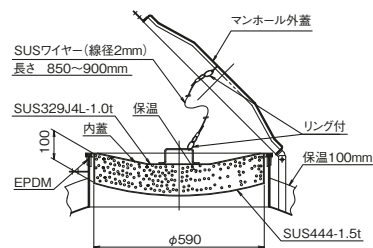
注)フランジのボルト振分け位置は指定



底板伏図 S=1/60



オーバーフロー詳細図 S=1/20



保温マンホール部詳細図 S=1/10

フランジノズル出寸法表	品番	出寸法
⑦ ⑪	300	
⑥ ⑩	260	
⑤ ⑫ ⑬	250	
⑧	200	
⑨	120	

品番	名称	材質	寸法	数量	備考
ア	タンク用制御盤				
16	タンク用制御盤取付座	SS400	W802×1570H	1	
15	⑦用立上管	SUS304TP	50A	1	詳細図参照
14	通気口※	SUS304	100A	1	ソケット 水封式通気筒(受皿付)
13	熱源機入口	SUS304	40A	1	JIS10KF(SUS304)
12	給湯(戻)口	SUS304	40A	1	JIS10KF(SUS304)
11	フロートスイッチ口	SUS304	90A	2	JIS10KF(SUS304) 詳細図参照
10	圧力センサー口	SUS304	50A	1	JIS10KF(SUS304)
9	温度センサー口	SUS304	50A	1	JIS10KF(SUS304)(客先支給品)
8	排水口	SUS304	50A	1	JIS10KF(SUS304)
7	オーバーフロー口	SUS304	50A	1	JIS10KF(SUS304)内部立上管付
6	給湯(往)口	SUS304	50A	1	JIS10KF(SUS304)
5	熱源機出口	SUS304	50A	1	JIS10KF(SUS304)内部配管付
4	外タラップ※	STK-φ27.2 RB-φ16	W400×P300	1	溶融亜鉛メッキ
3	内タラップ	SUS444	W370×P300	1	L-30×30×2
2	マンホール	SUS329J4L	φ600	1	首板溶接品 二重蓋(断熱)式 詳細図参照
1	本体	SUS444		1	(16m ³)

●図面は標準的な配管サイズを記載しています。
配管サイズは熱源の接続台数により異なりますので
手配時に配管サイズをご指示ください。

※は付属品ですので、現地での取付が必要になります。

開放型 FRP製貯湯タンク <積水アクアシステム(株)製>

現地組立品

※出荷時に現地手配などの確認等が必要です。
詳細についてはP.9をご覧ください。

既築物件ニーズにも容易に対応できる
現地組立・軽量タイプ。

| 軽量設計で設置場所が拡大

| 現地組立だから分割搬入が可能

※最高使用温度が80℃のため、MEGA・Qの最高出湯温度は必ず80℃以下の設定でご使用ください。

推奨品



写真は
8トンタイプです。

■ラインアップ(納期1ヶ月)

タンク型式	タンク容量(m³)		外形寸法(m)			製品質量[参考値](kg)				
	称号容量	有効容量	高さ	幅	奥行	本体	鉄骨部	合計	満水時	
高容量タンク	HDFB04-10-20	4.0	3.0	2.0	1.0	2.0	400	110	510	4,110
	HDFB08-10-20	8.0	6.0	2.0	2.0	2.0	600	180	780	7,980
	HDFB12-10-20	12.0	9.0	2.0	2.0	3.0	795	195	990	11,790
	HDFB16-10-20	16.0	12.0	2.0	2.0	4.0	995	315	1,310	15,710
	HDFB20-10-20	20.0	15.0	2.0	2.0	5.0	1,190	390	1,580	19,580
	HDFB24-10-20	24.0	18.0	2.0	3.0	4.0	1,290	440	1,730	23,330
	HDFB28-10-20	28.0	21.0	2.0	3.5	4.0	1,475	530	2,005	27,205
	HDFB32-10-20	32.0	24.0	2.0	4.0	4.0	1,585	555	2,140	30,940
高容量タンク	HDFB36-10-20	36.0	27.0	2.0	4.5	4.0	1,765	505	2,270	34,670
	HDFB06-10-30	6.0	5.0	3.0	1.0	2.0	645	185	830	6,430
	HDFB12-10-30	12.0	10.0	3.0	2.0	2.0	945	245	1,190	12,390
	HDFB18-10-30	18.0	15.0	3.0	2.0	3.0	1,235	260	1,495	18,295
	HDFB24-10-30	24.0	20.0	3.0	2.0	4.0	1,540	425	1,965	24,365
	HDFB30-10-30	30.0	25.0	3.0	2.0	5.0	1,835	510	2,345	30,345
	HDFB36-10-30	36.0	30.0	3.0	3.0	4.0	1,950	580	2,530	36,130
	HDFB42-10-30	42.0	35.0	3.0	3.5	4.0	2,190	710	2,900	42,100
	HDFB48-10-30	48.0	40.0	3.0	4.0	4.0	2,365	740	3,105	47,905
	HDFB54-10-30	54.0	45.0	3.0	4.5	4.0	2,600	665	3,265	53,665

※貯湯タンクは、メーカーにて現地組立てを行います。
※上記の標準タンク以外のサイズをお求めの場合は別途お問合せください。

■標準仕様

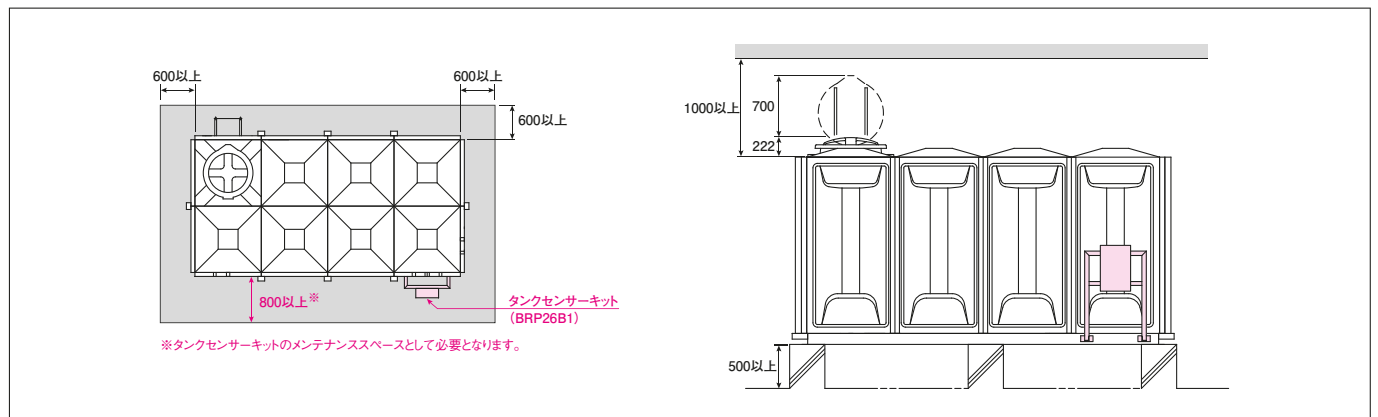
製造メーカー	積水アクアシステム(株)
商品名	ホットレージシリーズ
機種名(システム名)	貯湯タンク
貯湯方式	水位可変方式
パネル材質	耐熱FRP
常時使用最高温度	80℃
外装色	シルキーシェード
保温材	ポリスチレンフォーム50mm
耐震強度	1.0G(オプションで1.5Gも対応可能)

■オプションリスト

●タンクセンサーキット(ダイキン製・必須別売品) ※タンク1基に1台必要です。

機種名	BRP26B1(E,H)	
電源	単相200V(50/60Hz)	
外形寸法	高さ×幅×奥行 450mm×300mm×100mm	
外装色	標準仕様機	アイボリーホワイト(5Y7.5/1)
	耐塩害仕様機:E	ライトキャメル(2.5Y6.5/1.5)
	耐重塩害仕様機:H	ライトキャメル(2.5Y6.5/1.5)
付属品	<ul style="list-style-type: none"> ●水位スイッチ×2 ●温度センサー×1 ●水位センサー×1 ●リモコン×1 	

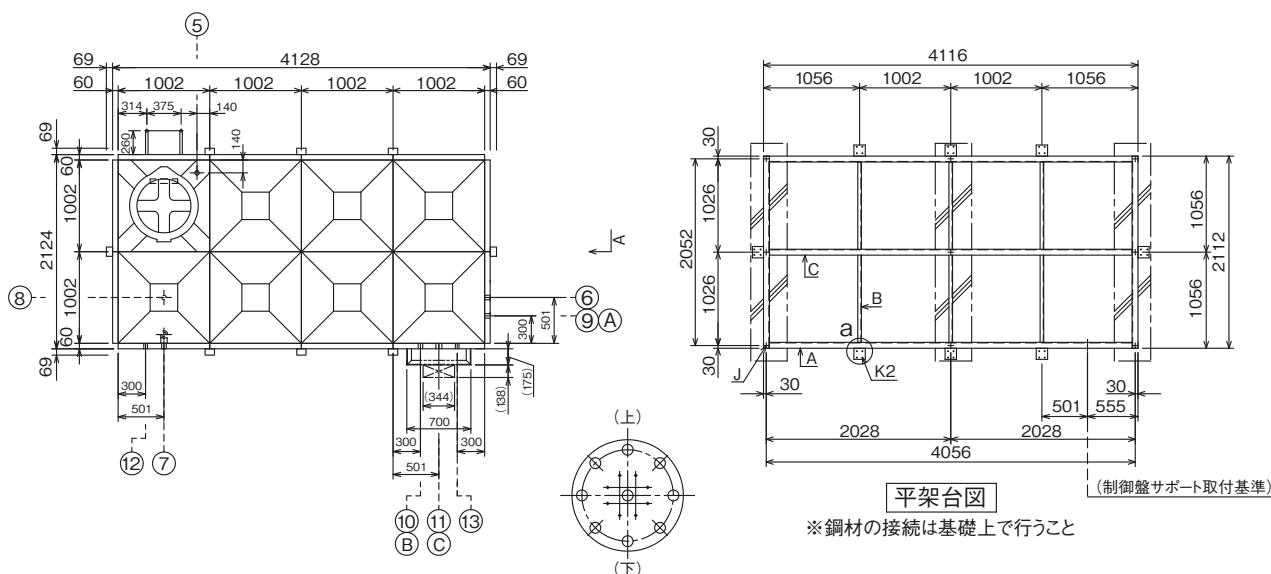
■サービススペース(単位:mm)



※タンクセンサーキットのメンテナンススペースとして必要となります。

■外形図(単位:mm)

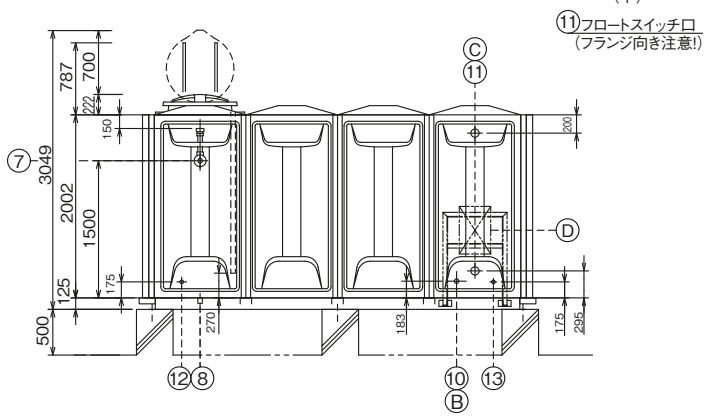
本図はHDFB16-10-20(16トン)で示しています。他の機種についての詳細は別途技術ガイドをご覧ください。



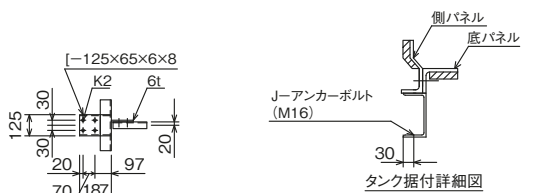
平架台図

(制御盤サポート取付基準)

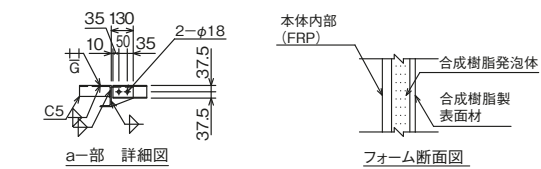
※鋼材の接続は基礎上で行うこと



⑪フロートスイッチ口
(フランジ向き注意!)

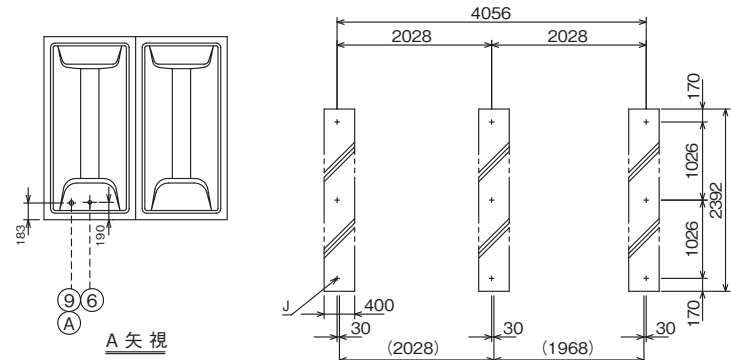


タンク据付詳細図



a一部 詳細図

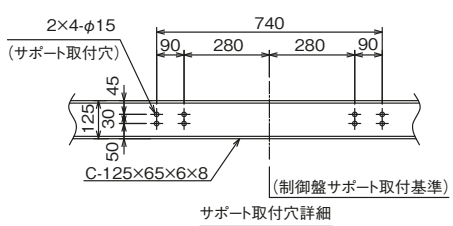
フォーム断面図



アンカーボルト位置図 1/60

()内は基礎寸法

部材表	
A	[-125×65×6×8]
B	[-75×40×5×7]
C	[-125×65×6×8]
K1	
K2	32-φ16フレーム取付ボルト孔(+指示M12)
K3	
J	9-φ18アンカーボルト孔(+指示M16×185L 接着系SUS)



サポート取付穴詳細

- タンクセンサーキットに付属の水温センサー用フランジはタンクメーカーが取付を行いますので、現地タンクメーカーに渡してください。
- 図面は標準的な配管サイズを記載しています。配管サイズは熱源の接続台数により異なりますので手配時に配管サイズをご指示ください。

品番	名称	材質	寸法	数量	備考
D	タンク制御盤	(ダイキン工業製)		1	
C	フロートスイッチ	(ダイキン工業製)		2	
B	圧力センサー	(ダイキン工業製)		1	
A	温度センサー	(ダイキン工業製)		1	
13	熱源機入口	FC+N	40A	1	JIS10KF
12	給湯(戻)口	FC+N	40A	1	JIS10KF
11	フロートスイッチ口	SUS	90A	2	JIS10KF
10	圧力センサー口	FC+N	50A	1	JIS10KF
9	温度センサー口	SUS	50A	1	JIS10KF/取付フランジ支給 ※ボルト(M12)SAS手配
8	排水口	FC+N	50A	1	JIS10KF
7	オーバーフロー/蒸気口	HT-PVC	50A	1	内部立上げ管付
6	給湯(往)口	FC+N	50A	1	JIS10KF
5	熱源機出口	FC+N	50A	1	JIS10KF/立下げ管付
4	外はしご	STK	W375×P300	1	溶融亜鉛メッキ
3	内はしご	PVC	W300×P300	1	耐熱
2	マンホール	FRP	φ600	1	耐熱
1	本体	FRP		1	耐熱

密閉型 ステンレス製貯湯タンク <森松工業(株)製>

工場組立出荷品

●納入時に現地手配などの確認等が必要です。
詳細についてはP.10をご覧ください。

幅広い施設用途に対応した
ステンレス製密閉タンクをラインアップ。

「空気に触れず放熱ロスの小さな密閉式

推奨品



写真は6トンタイプです。

※本体保温工事は現地手配となります。(オプション対応可能)

■ラインアップ(納期1ヶ月)

タンク型式	称呼容量(L)	寸法(mm)		製品質量(kg)	
		径	胴長	本体	満水時
MB2000-1216	2000	1200	1600	400	2,600
MB4000-1519	4000	1500	1900	600	4,700
MB6000-1627	6000	1600	2700	820	7,140

※上記の標準タンク以外のサイズをお求めの場合は、別途お問合せください。

■標準仕様

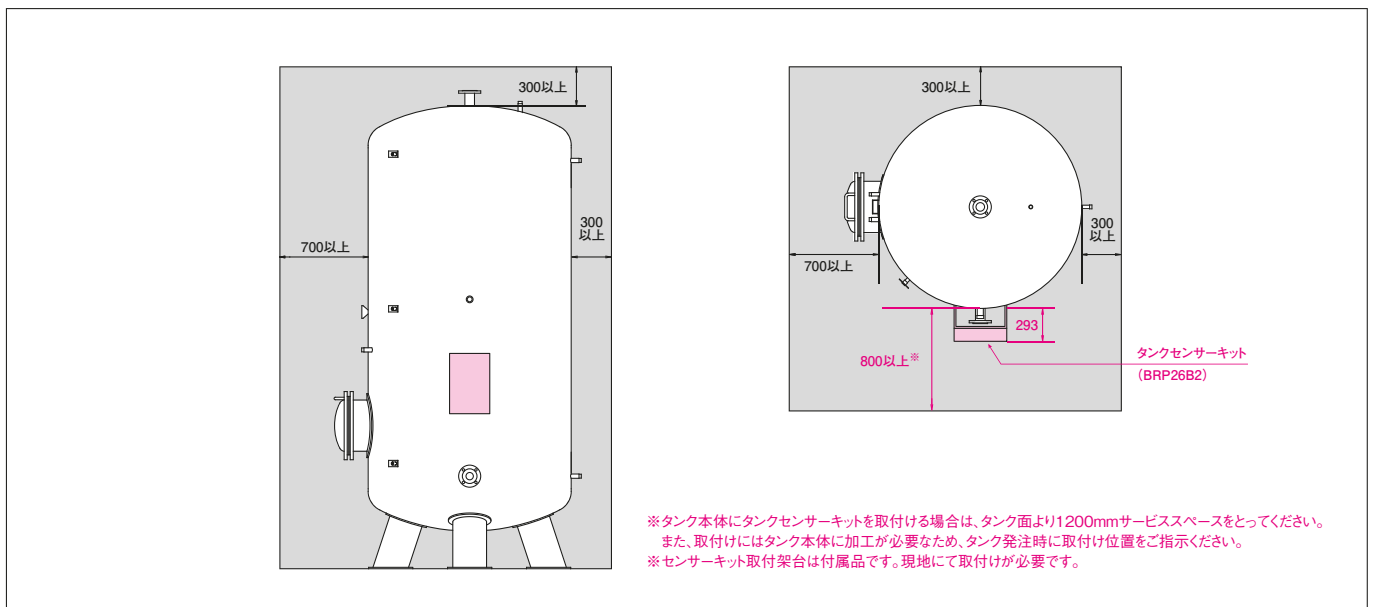
製造メーカー	森松工業株式会社
商品名	ステンレス製密閉型貯湯槽
機種名	貯湯タンク
貯湯方式	密閉給湯方式
本体材質	SUS444
常時使用最高温度	90℃
保温材(オプション)	GW50mm
外装(オプション)	ガルバリウム鋼板
耐震強度	1.0G(オプションで1.5G、2.0G対応可能)
設計圧力	0.490kPa

■オプションリスト

●タンクセンサーキット(ダイキン製・必須別売品)

機種名	BRP26B2(E,H)	
電源	単相200V(50/60Hz)	
外形寸法	高さ×幅×奥行 450mm×300mm×100mm	
外装色	標準仕様機	アイボリーホワイト(5Y7.5/1)
	耐塩害仕様機:E	ライトキャメル(2.5Y6.5/1.5)
	耐重塩害仕様機:H	ライトキャメル(2.5Y6.5/1.5)
付属品	●温度センサー×3 ●リモコン×1	

■サービススペース(単位:mm)



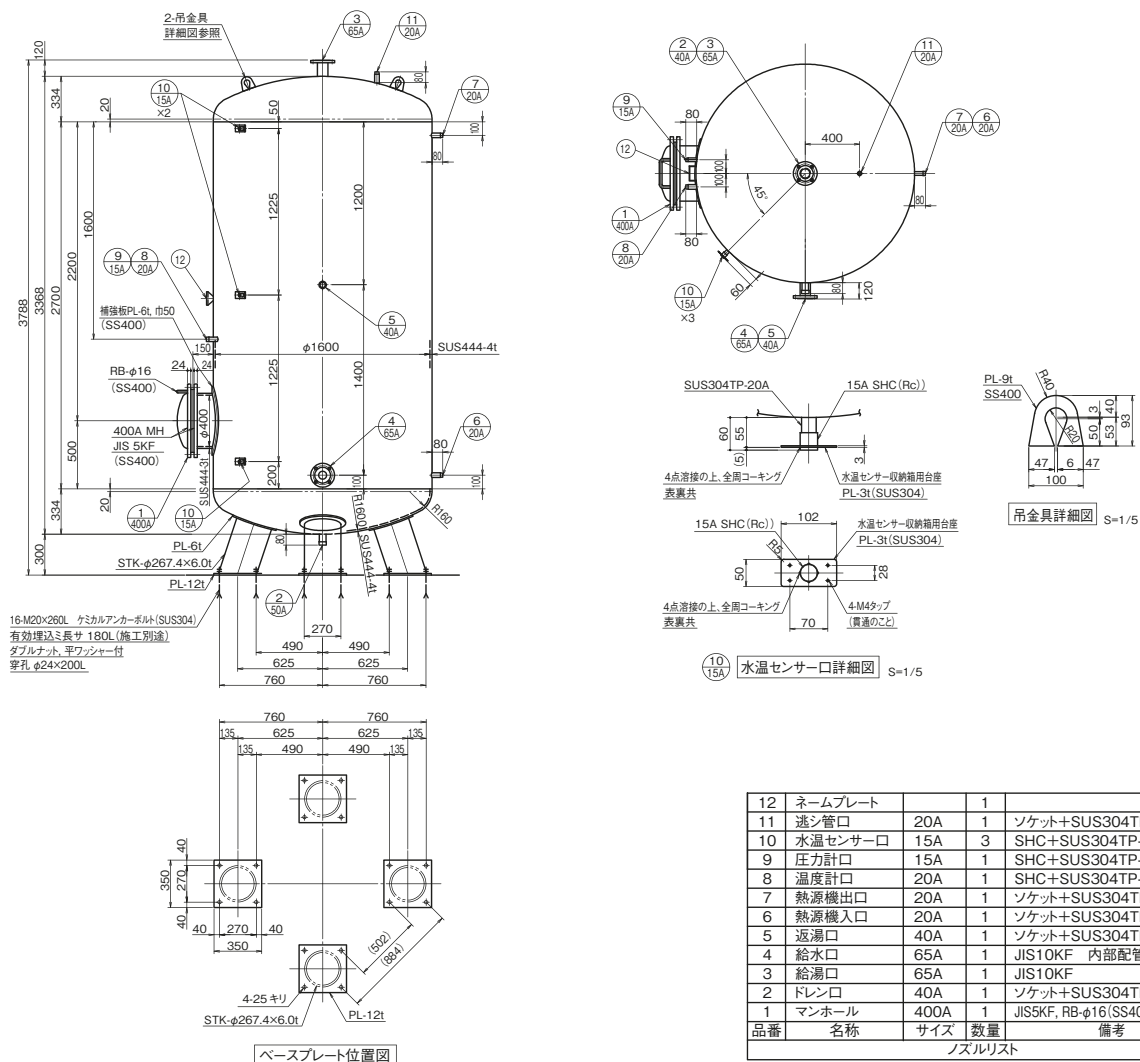
※タンク本体にタンクセンサーキットを取付ける場合は、タンク面より1200mmサービススペースをとってください。
また、取付けにはタンク本体に加工が必要のため、タンク発注時に取付け位置をご指示ください。
※センサーキット取付架台は付属品です。現地にて取付けが必要です。

■ はダイキン工業(株)扱い、それ以外はオーケー器材(株)扱いです。Ⓞは受注生産品です。発注から納品までに標準品より日数を要します。Ⓟはセット品番です。納品姿は複数梱包となります。

●受注生産品の納期について、オーケー器材(株)扱いのオプションは「ダイキン純正別売品総合カタログ」または「オーケースカイ空調工事事部材カタログ」にてご確認ください。
ダイキン工業(株)扱いのオプションについてはお問い合わせください。

■外形図(単位:mm)

本図はMB6000-1627(6トン)で示しています。他の機種についての詳細は別途技術ガイドをご覧ください。



●図面は標準的な配管サイズを記載しています。配管サイズは熱源の接続台数により異なりますので手配時に配管サイズをご指示ください。

浴槽保温や配管保温用途に

再加熱ユニット

浴槽や配管の保温を、よりクリーンで省コストに。



ULP80A

■標準仕様

機種名		ULP80A(E,H)	
電源		3相 200V 50/60Hz	
中間期	加熱能力 ★1	kW	8.0
	消費電力 ★1	kW	3.3
外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	1680×930×765
製品質量		kg	215
運転質量		kg	220

- ★1. 運転条件:外気温度:16°CDB,12°CWB / 入水温度55°C 出湯温度59°C / 水量28.7L/min 水圧損失28kPa
- 使用水质は上水道かつJRA GL-02-1994(高位中温水系)とし、飲用には使用できません。
- 水側最高使用圧力は500kPa以下です。
- 最低保有水量は100L/台となります。

■再加熱ユニットオプション(ULP80A)

別売品名		機種名		
圧力計キット		KHGP26C140	21,500円	
防雪フード	セット(吹出+吸込)	KPS26C280	149,200円	
		吹出口	KPS26C280T	49,300円
		吸込口(左)	KPS26C504L	27,800円
		吸込口(右)	KPS26C504R	31,600円
	吸込口(背)	KPS26C280B	40,500円	
集中ドレンパンキット	(注3)	KWC26C280	56,900円	
防振架台		K-KSV280GCB	89,000円	
防振架台(減震機構付)		K-KSV280HCB	98,000円	
置台 (注3)	300mm高	K-KHZ283E	36,000円	
	500mm高	K-KHZ285E	41,000円	
置台用	ドレンパン (注2)(注3)	K-KDS28B	23,400円	
アクティブフィルター(別置型)	(注1)	BACF22A5		
アクティブフィルター取付板	(注1)	KKSA22A280	26,500円	

- (注1) アクティブフィルターを再加熱ユニットに取付ける場合は、別途アクティブフィルター取付板が必要です。
- (注2) 置台用ドレンパンを取付ける際には、別途置台(必須別売品)を手配願います。なお、防振架台に置台用ドレンパンを設置することはできません。
- (注3) ドレン水が凍結するおそれのある場合、集中ドレンパンキット、置台用ドレンパンは使用できません。

※再加熱ユニットについての詳細は技術ガイドをご覧ください。
 ※密閉型貯湯タンク接続時やMEGA・Q以外のシステムでご使用される場合は、再加熱ユニットの単独設置改裝が必要です。納期については、お問合せください。

インテリジェントタッチマネージャー / iTMプラスアダプター (標準仕様・外形図)

■標準仕様

名称	インテリジェントタッチマネージャー	
	別売品	iTMプラスアダプター
機種名	DCM601B1	DCM601A2
電源	AC100~240V 50/60Hz	AC100~240V 50/60Hz
消費電力	23W	6W
使用環境	0~40°C, 85%以下	-10~50°C, 85%以下
外形寸法 (mm)	幅×高さ×奥行	290×243×50
質量	2.4kg	0.5kg
液晶仕様	10.4インチ/SVGA/1667万色	—

■専用オプション

機種名	別売品
DCM601A2	iTM プラスアダプター
DCM002A1	iTM 按分機能ソフトウェア
DCM003A1	iTM デマンド制御ソフトウェア
DCM008A1	iTM Ene-Naviソフトウェア
DCM011A1	iTM 給湯機制御ソフトウェア
DCM009A1	iTM BACnet Clientソフトウェア
DCM005A1R	iTM運転時間積算集計機能ソフトウェア(改装対応品)
DCM013A1R	遠隔デマンド・省エネ制御機能ソフトウェア(改装対応品)

■周辺機器仕様

機種名	要求仕様
USBメモリ	USB1.0 メモリ容量: 8GByte(空き容量: 5GByte)以上 推奨32GByte以下 ●推奨製品(動作確認済み) Silicon Power SP032GBUF2M01V1K(32GB)
Web 遠隔監視用 PC	●推奨動作環境 OS: Windows 10 以上 ディスプレイ解像度: 1024×768以上※1 Webブラウザ: Microsoft Edge Ver.85.0.564.6 (Chromiumベース)以降 Google Chrome Ver.85.0.4183.121 以降 対応セキュリティソフトウェア: マカフィー リブセーフ ノートン セキュリティ ウィルスバスタークラウド
料金計算 シート用 表計算ソフト	OS: Windows 10 以上 Microsoft Excel: 2010, 2013, 2016 プリンタ設定: A4対応、解像度300dpi以上 対応セキュリティソフトウェア: マカフィー リブセーフ ノートンセキュリティ ウィルスバスタークラウド

※1. DPIの設定は100%にしてください。
*Windows, Edge, ExcelはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
*Google Chromeは米国Google Inc.の登録商標です。

■外形図 (単位:mm)

● インテリジェントタッチマネージャー

● iTM プラスアダプター

1) 電気定格
(1) 定格電圧: AC100~240V 50/60Hz
(2) 消費電力: 最大23W
(3) 性能 絶縁抵抗 DC500Vメガーにて 50MΩ以上
(4) 質量: 2.4Kg
(5) 塗装色: フレッシュホワイト
(6) 付属ネジ: 壁掛け用 φ4.1×25(4個) 壁埋め用 M4×40(4個)

2) 使用条件
(1) 電源電圧変動: -15%・+10%
(2) 使用周囲温度: 0~+40°C
(3) 使用周囲湿度: 85%以下 (但し結露しないこと)
(4) 保存温度: -15~+60°C

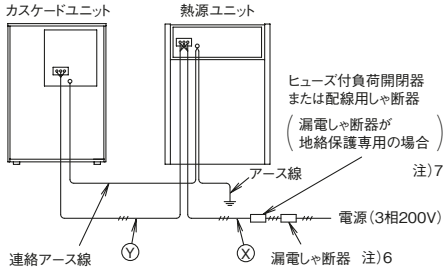
ポート	仕様
DIII-NET	1ポート DIII-NET(室内機最大64グループ)
LAN	1ポート ネットワーク(100BASE-TX)
RS485	1ポート 汎用リモートI/O装置接続 (Di, Dio, Ai, Ao, Pi)
Di (Pi) ※	4ポート 緊急停止信号入力(ポート1) 接点信号入力(ポート2~4) ハルス入力(ポート2~4)
プラスアダプター インターフェイス	1ポート iTM プラスアダプター (最大7台接続可能)
内蔵型モデム(別売品)	1ポート エアネット用モデムコネクタ

※無電圧a接点入力

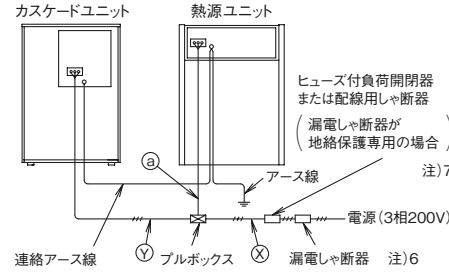
総務機種名	ユニット機種名		分岐開閉器、過電流しゃ断器								電源配線(金属管・合成樹脂管配線) 下図参照								
	熱源ユニット	カスケードユニット	漏電しゃ断器 (地絡、過負荷、短絡保護兼用の場合)			配線用しゃ断器使用の場合			ヒューズ付負荷開閉器使用の場合		ⓧ		Ⓨ		ⓐ		基準電流値 注)11		
			定格電流	定格感度電流	動作時間	接地線(銅) mm ² 以上	定格電流(A)	接地線(銅) mm ² 以上	開閉器容量 (A)	ヒューズ容量 (A)	接地線(銅) mm ² 以上	最小太さ	最大こう長	最小太さ	最大こう長	最小太さ		最大こう長	
RLYP350BA	RLP350BA	BWLP350B	125A	100mA	0.1sec以下	8	125	8	100	100	100	5.5 (φ2.6mm)	38mm ²	52m	22mm ²	65m	22mm ²	59m	90A

配線要領 下図のように配線してください。注)13

〔電源が熱源ユニット〜カスケードユニットを渡る場合〕



〔電源をブルボックスで分岐する場合〕



熱源ユニット〜カスケードユニット間連絡配線

シース付ビニルコードまたは、ケーブル(0.75~1.25mm², 2心)

シース付ビニルコード及びケーブルの例

VCTF	JISC3306
VCTFK	JISC3306
CVV	JISC3401
VVR	JISC3342
VCT	JISC3312

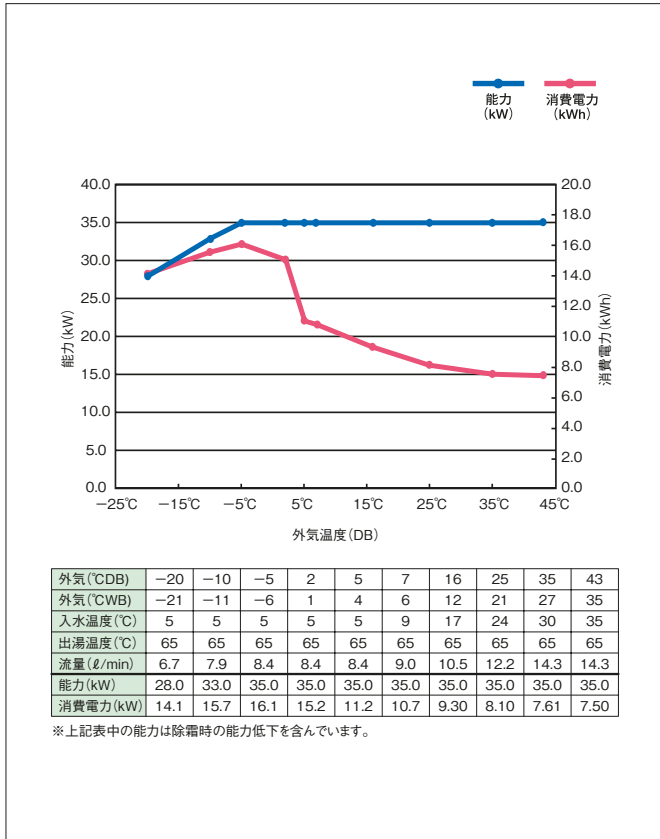
注)

1. 配線要領は内線規程(JEAC8001)に基づいて決められています。
2. 電源配線(金属管・合成樹脂管配線)については、同一管内に収める電線数3本以下の場合を示します。
3. 電源配線(金属管・合成樹脂管配線)のこう長は、電圧降下2%時の電線最大こう長を示します。
4. ヒューズはB種ヒューズを使用する場合は示します。
5. 漏電しゃ断器または配線用しゃ断器の定格しゃ断容量は、現地の設備、工事内容によりそれぞれ異なりますので、しゃ断器取付箇所における短絡電流を計算(推定)し、それに充分耐えるだけのしゃ断容量を有する適正なしゃ断器を選定してください。
6. 漏電しゃ断器(高調波対応品)を必ず設置してください。
(本機はインバーター装置を有しており、漏電しゃ断器自体の誤動作を防止するため、高調波対応品を使用してください。)

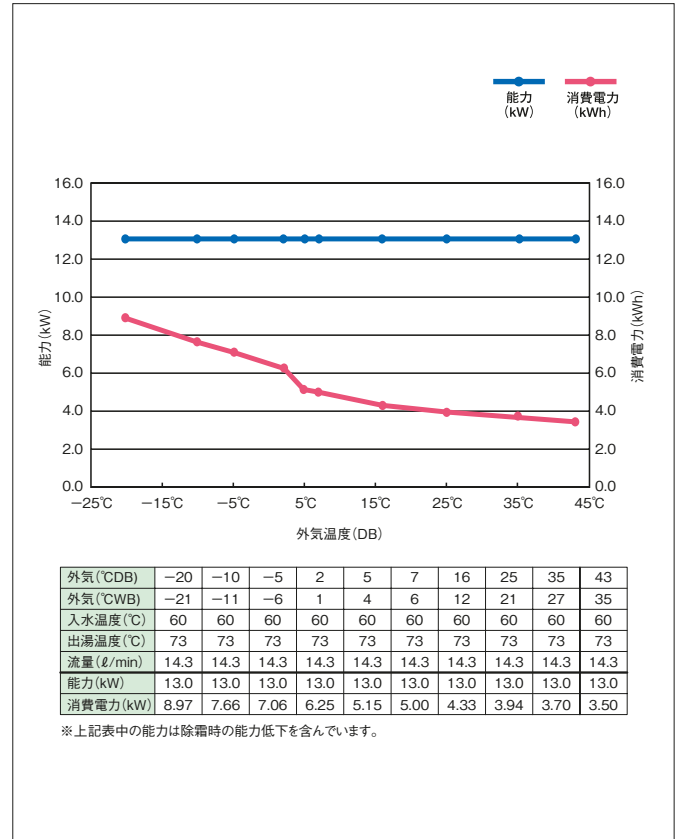
7. 漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合は、ヒューズ付負荷開閉器または配線用しゃ断器と組合せて使用してください。
その場合ヒューズ容量または配線用しゃ断器の定格電流と同等以上の定格電流をもつ漏電しゃ断器を使用してください。
8. 熱源ユニット〜カスケードユニット間連絡配線には2心線を用い、3心以上の線は使用しないでください。
9. 電源配線と連絡配線は必ず離してください。
10. 連絡配線長さは、下記制限を越えると伝送異常を起こす場合がありますので必ず守ってください。
・最長配線長1000m以下 ・総配線長2000m以下 ・最大分岐数16分岐まで
・連絡配線の分岐は最大16分岐まで可能ですが分岐後の分岐はできません。
11. 基準電流値とは、上表の機外配線選定の際に使用した数値で、運転範囲中の最大電流値を示します。
12. ユニット間の電線長さについては、冷媒配管長制限も必ず守ってください。
13. 電源が熱源ユニット〜熱源ユニット、カスケードユニット〜カスケードユニットを渡る配線接続はできません。

性能特性 (ヒートポンプ給湯機)

■沸き上げ時

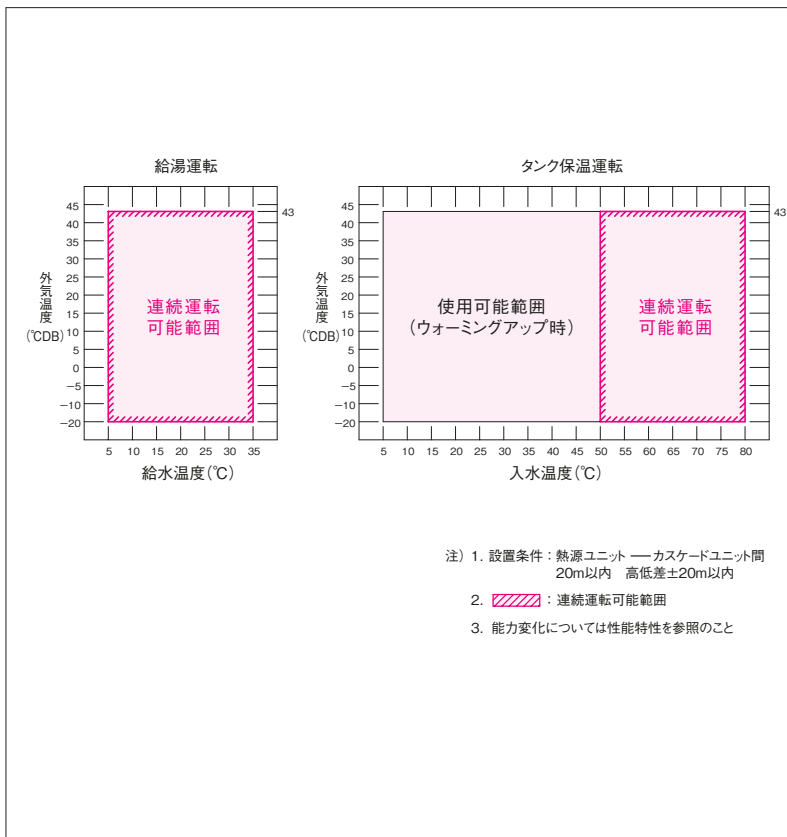


■循環保温時

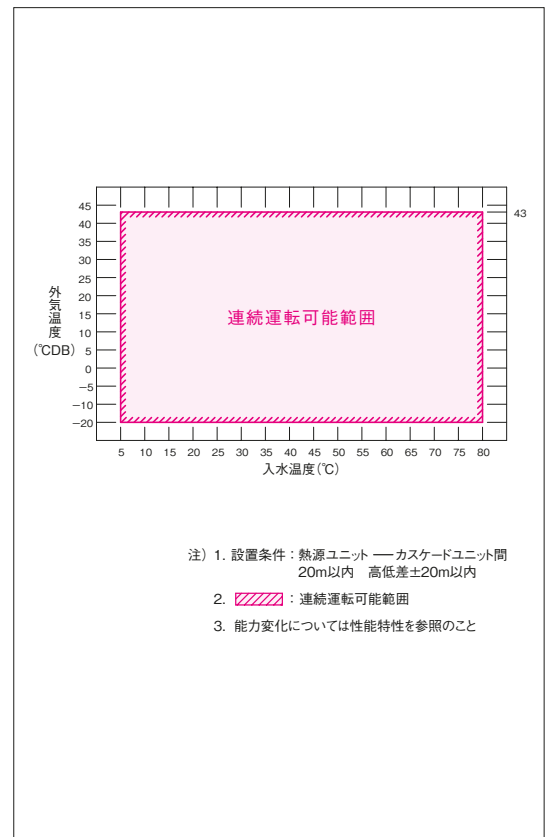


使用限界 (ヒートポンプ給湯機)

■開放型タンクシステムの場合



■密閉型タンクシステムの場合



電源線(現地施工) 〰〰〰 アース配線(現地施工) 〰〰 制御配線(現地施工) 〰 制御配線(付属配線による現地施工) 〰〰〰

●開放型貯湯タンクを接続する場合

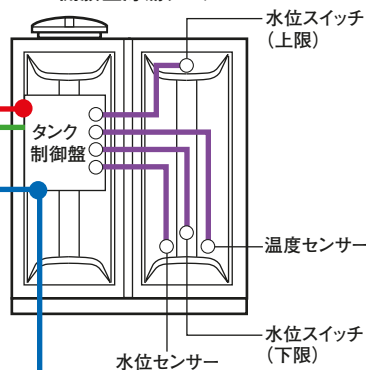
タンクセンサーキット用電源
単相200V 50/60Hz
電線サイズ:2.0mm²、漏電遮断器:5A
配線用遮断器:5A、アース線サイズ:1.25mm²

インテリジェントタッチマネージャー



インテリジェントタッチマネージャー用電源
単相100V~240V 50/60Hz
電線サイズ:1.25mm²、
手元開閉器:10A、アース線サイズ:1.25mm²

開放型貯湯タンク



ヒートポンプ給湯機用電源
3相200V 50/60Hz

ヒートポンプ給湯機用電源
3相200V 50/60Hz

再加熱ユニット

凍結防止用
ポンプ運転信号出力

再加熱ユニット用電源
3相200V 50/60Hz

凍結防止用
ポンプ運転信号出力

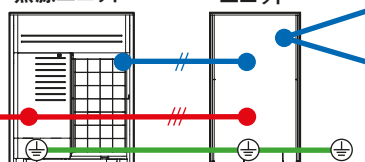
再加熱ユニット用電源
3相200V 50/60Hz



12台目

熱源ユニット

カスケードユニット



1台目

熱源ユニットを9台以上接続する場合は「給湯用DIII-NET拡張アダプター(別売品)」が必要です

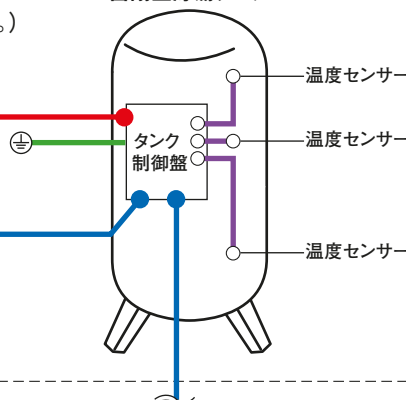
12台目

●密閉型貯湯タンクを接続する場合

(点線範囲以外は開放型貯湯タンクと同様。但し、再加熱ユニットは接続できません。)

タンクセンサーキット用電源
単相200V 50/60Hz
電線サイズ:2.0mm²、漏電遮断器:5A
配線用遮断器:5A、アース線サイズ:1.25mm²

密閉型貯湯タンク



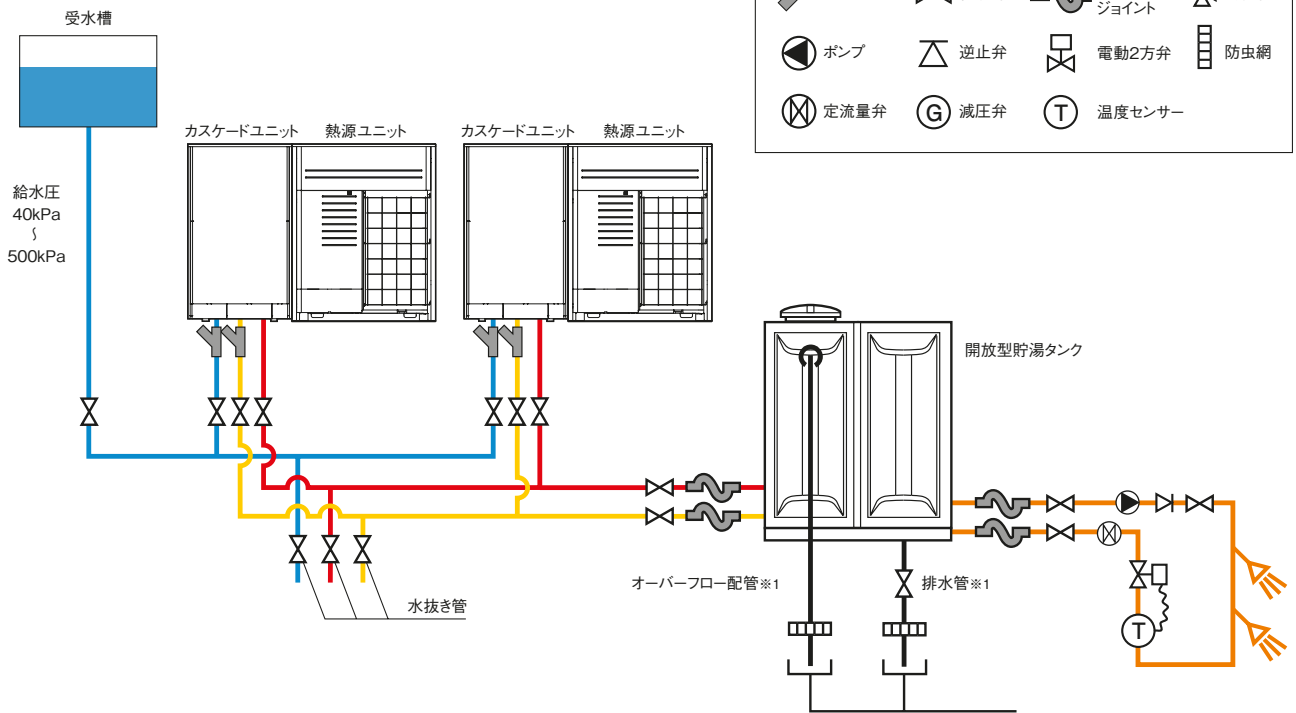
リモコン(付属品)

カスケードユニットへ

■制御配線について

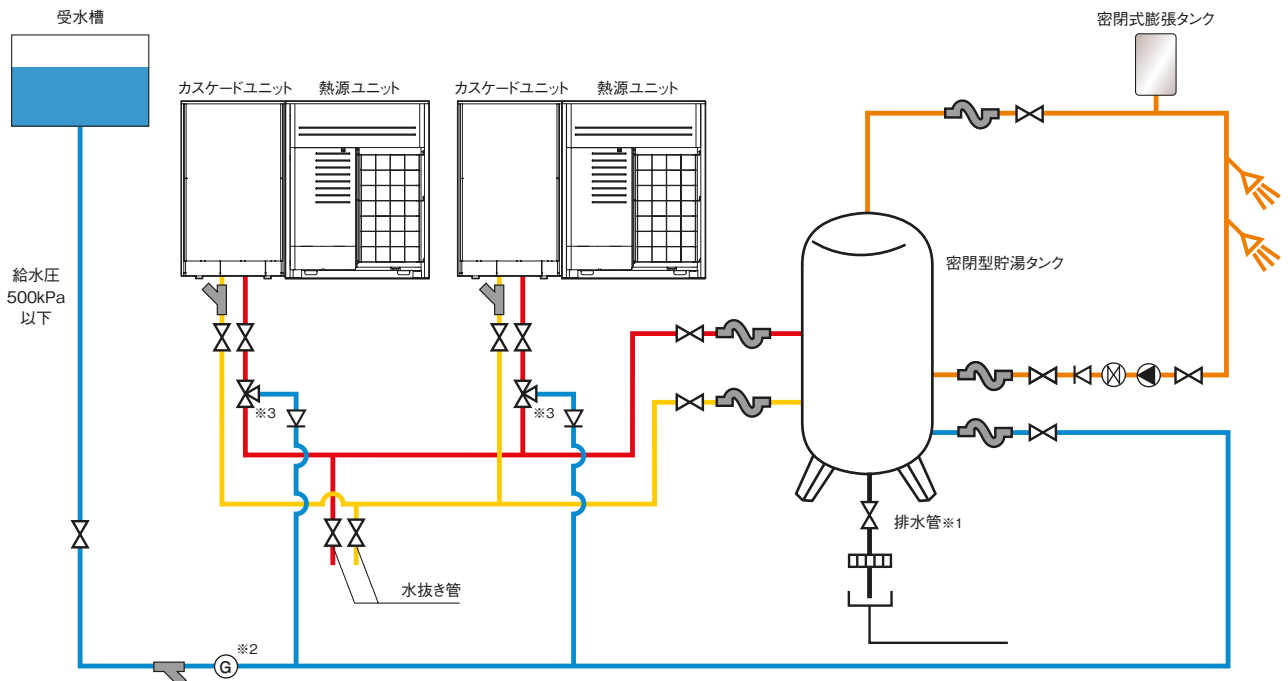
- (1) 制御用連絡配線には、下記2心のシース付ビニルコードおよびケーブルを使用してください。
 - ビニルキャブタイヤ丸形コード VCTF(JISC3306)
 - ビニルキャブタイヤ長丸形コード VCTFK(JISC3306)
 - 600Vビニル絶縁ビニルキャブタイヤケーブル VCT(JISC3312)
 - 600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル丸形 VVR(JISC3342)
 - 600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル平形 VVF(JISC3342)
 - 制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV(JISC3401)
- (2) 制御配線の最遠長距離は1000m以内、総配線長は2000m以内です。
- (3) 給湯用DIII-NET拡張アダプターの下流に貯湯タンクを接続しないでください。
- (4) シールド線を使用する場合は、シールド線の片側のみ必ず接地してください。
- (5) 電線の太さは0.75mm²~1.25mm²を使用してください。
- (6) 制御用連絡線は、電気ノイズを受けないよう動力線と50mm以上離して、配線してください。

●開放型貯湯タンクを接続する場合



※1 オーバーフロー配管と排水管は必ず個別に間接排水するように施工してください。

●密閉型貯湯タンクを接続する場合



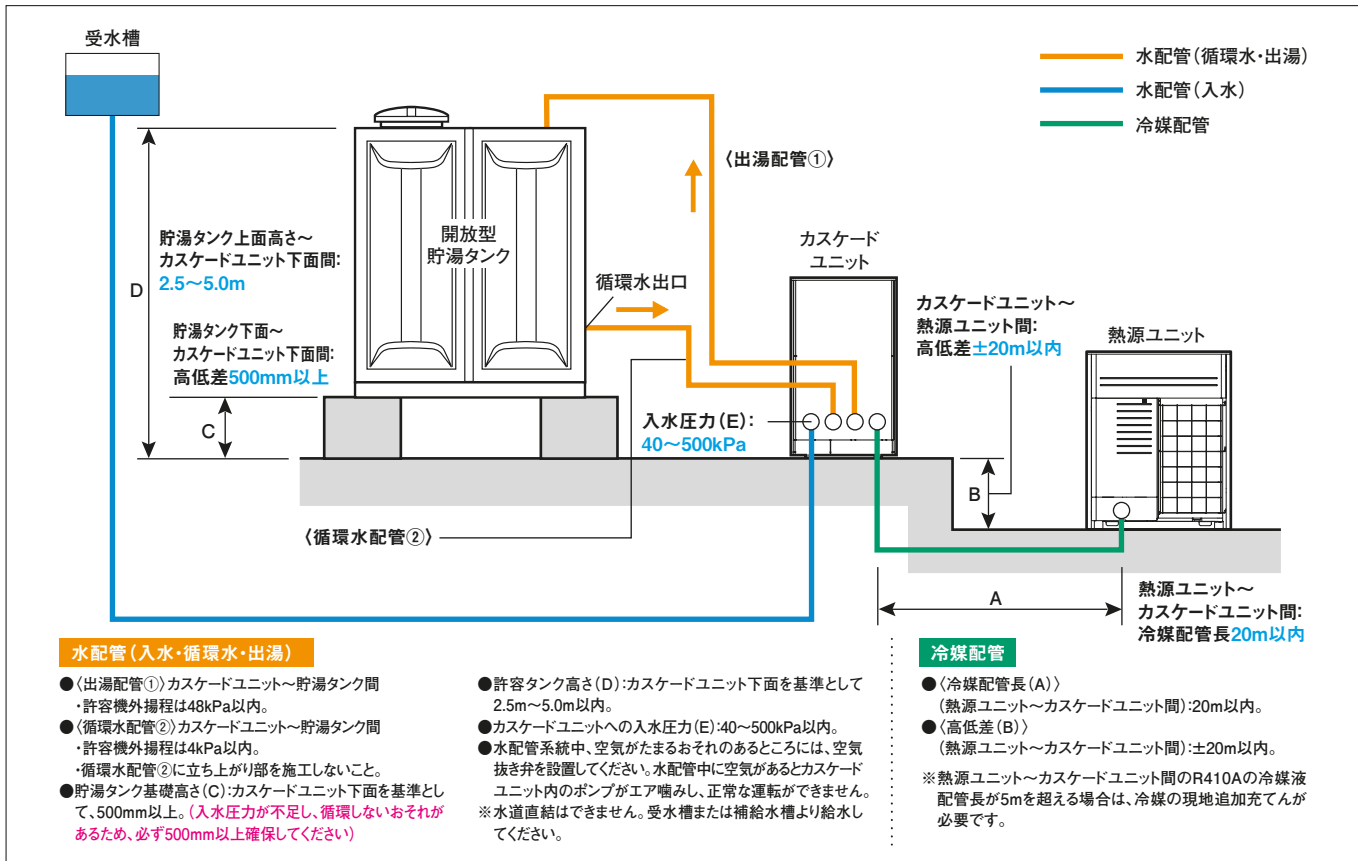
※2 500kPaを超える場合は、減圧弁が必要になります。

※3 デフロスト運転や凍結防止運転時にタンク内の温度成層が崩れる場合は三方弁を取付けて回避できます。
(三方弁参考型番:EALB100/200-UTNE(キャップ裂リレー内蔵型))

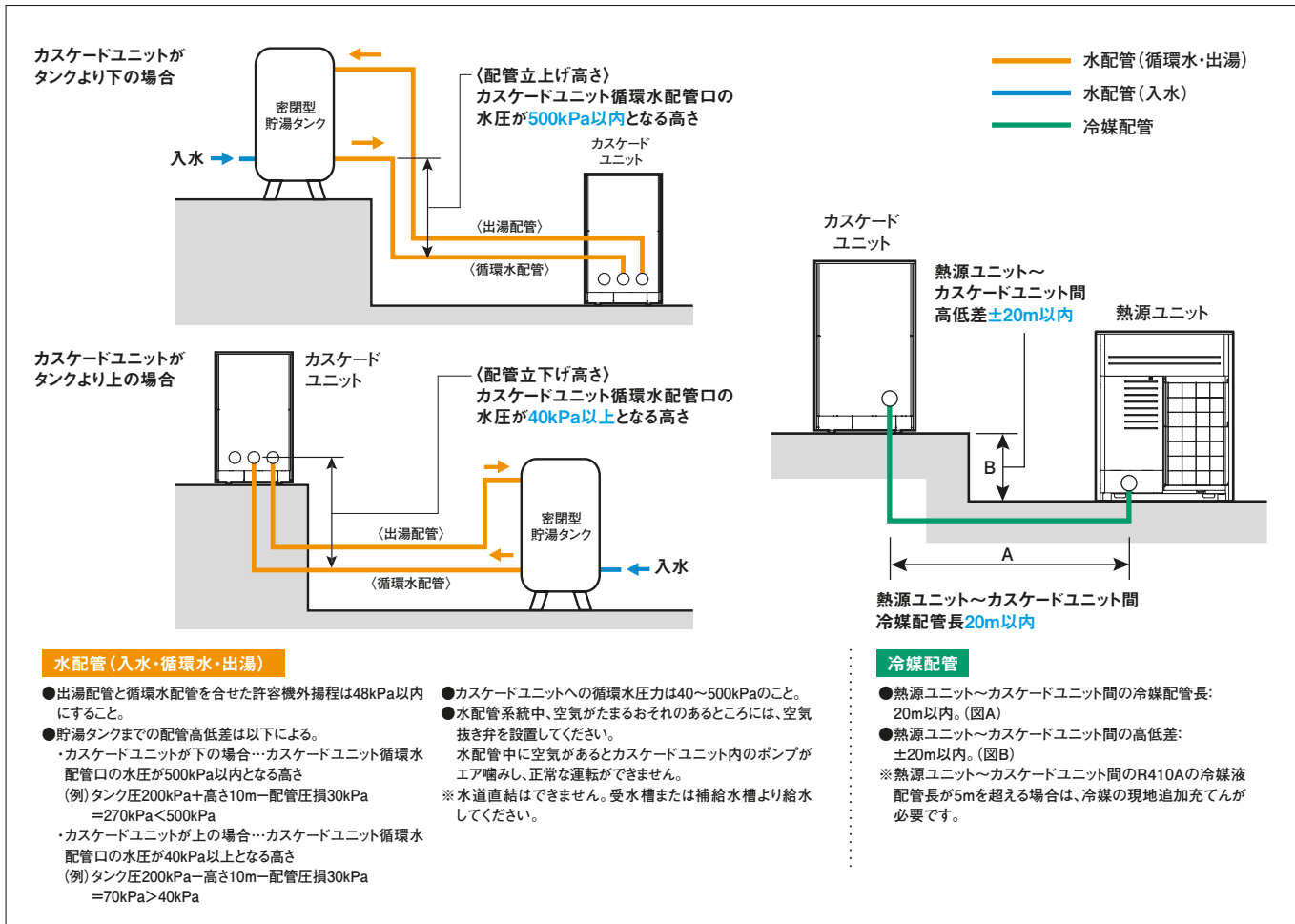
- 水配管中で空気がたまる危険性のある箇所には空気抜き弁を必ず取付けてください。
- 接続水配管には必ず仕切弁・ユニオン継手を取付けてください。受水槽からカスケードユニット間には60メッシュ以上のストレーナを取付けてください。減圧弁はカスケードユニットに内蔵しています。また、貯湯タンクへの接続水配管には空気抜き弁を必ず取付けてください。
- 全ての水配管に防熱を施してください。また、寒冷地においては、自然凍結防止のため現地配管(入水配管・出湯配管・循環水配管)に凍結防止処置を行ってください。
- 密閉式システムでは水回路破裂防止のため、密閉式膨張タンクまたは逃がし弁を取付けてください。
- 給湯機の電源を切る場合は、凍結防止のため、必ず水抜き作業を行ってください。

施工概要 配管制約(設置条件)

■開放型貯湯タンク接続時



■密閉型貯湯タンク接続時



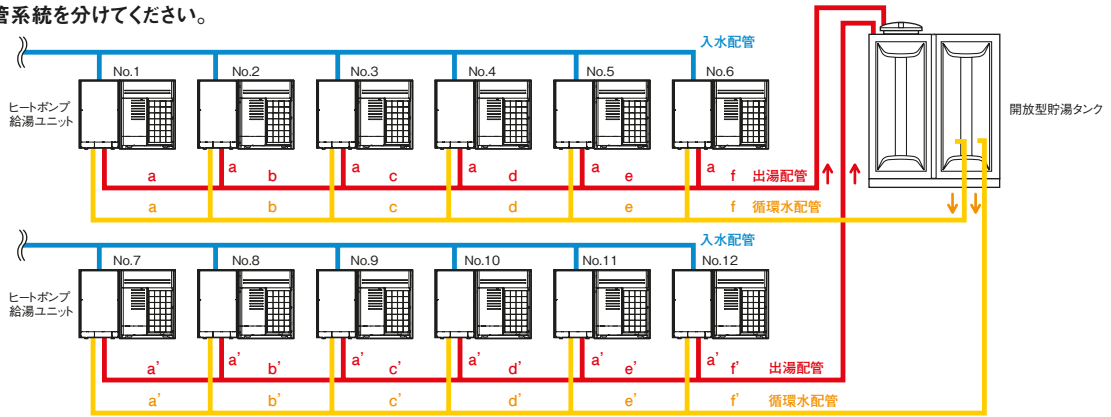
施工概要 複数台設置での水配管サイズ

使用温度に応じて配管材質を選定してください。
 配管材質、曲がり回数、弁類に応じて、許容機外揚程以下となるように配管サイズ、配管長を選定してください。

詳しくは技術資料をご参照ください。

■開放型貯湯タンク接続時

7台以降は給湯配管系統を分けてください。



【目安】一般配管用ステンレス管の場合

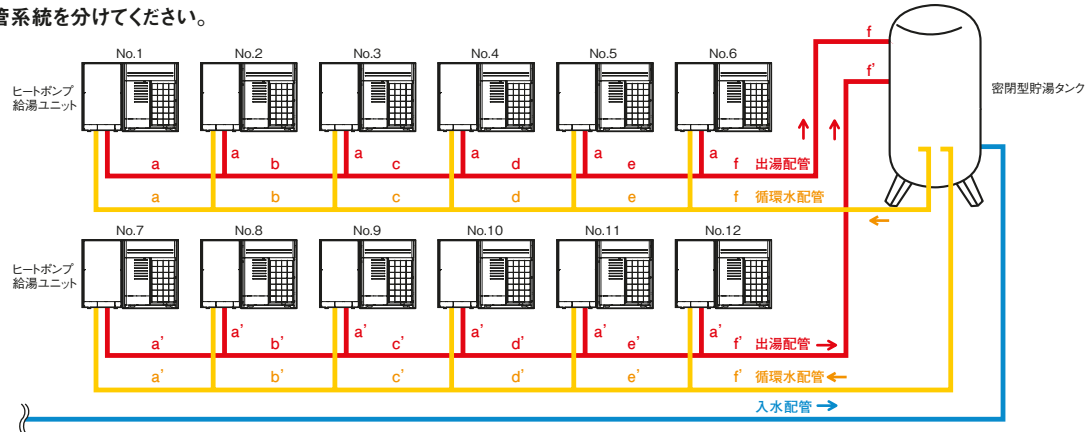
7台以降は系統を分け、6台までと同じ配管サイズを選定

配管箇所	a	b	c	d	e	f	a'	b'	c'	d'	e'	f'
ユニットNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
出湯配管 (呼び径 Su)	配管相当長30m、タンク上面高さ4mの場合		20	25	30	40	40	40	40	40	40	40
	配管相当長30m、タンク上面高さ5mの場合		25	30	40	50	50	50	50	50	50	50
循環水配管 (呼び径 Su)	タンク〜カスケード間配管相当長7mの場合		20	25	30	40	40	40	40	40	40	40
	タンク〜カスケード間配管相当長20mの場合		25	30	40	50	50	50	50	50	50	50

※上記表はあくまでも一般配管用ステンレス管の場合の目安です。

■密閉型貯湯タンク接続時

7台以降は給湯配管系統を分けてください。



【目安】一般配管用ステンレス管の場合

7台以降は系統を分け、6台までと同じ配管サイズを選定

配管箇所	a	b	c	d	e	f	a'	b'	c'	d'	e'	f'
ユニットNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
循環水配管+出湯配管 (呼び径 Su)	配管相当長80mの場合		20	25	30	40	40	40	40	40	40	40
	配管相当長120mの場合		25	30	30	40	40	50	25	30	30	40

※上記表はあくまでも一般配管用ステンレス管の場合の目安です。

(参考値) 配管及び継手類の圧損

●配管圧損

MEGA-Q 運転台数 (台)	最大流量 (L/min)	単位長さあたりの摩擦損失 (kPa/m)		単位長さあたりの摩擦損失 (kPa/m)	
		呼び径	ステンレス配管	呼び径	耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管※1
1	14.3	20Su	0.4	20A	1.0
1	14.3	25Su	0.1	25A	0.23
2	28.6	25Su	0.4	25A	0.9
2	28.6	30Su	0.18	32A	0.24
3	42.9	30Su	0.35	32A	0.5
3	42.9	40Su	0.12	40A	0.22
4	57.2	40Su	0.2	40A	0.35
4	57.2	50Su	0.1	50A	0.1
5	71.5	50Su	0.15	50A	0.16
6	85.8	50Su	0.2	50A	0.22

摩擦損失の値は建築設備設計基準(平成21年度版)を引用

●管継手類および弁類の配管相当長 (m)

配管	呼び径	90°エルボ	T字管(分流)	T字管(直流)
ステンレス配管	20Su	0.38	0.61	0.12
	25Su	0.45	0.76	0.14
	40Su	0.61	0.91	0.18
	50Su	0.76	1.06	0.24

配管	呼び径	90°エルボ	T字管(分流)	T字管(直流)	仕切弁	Y型ストレーナー
耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管※1	20A	1.8	2.0	0.6	4.2	3.22
	25A	2.0	2.2	0.5	2.4	3.38
	32A	2.2	2.5	0.5	3.2	5.52
	40A	2.5	2.8	0.6	2.5	6.25
	50A	2.8	3.1	0.6	2.1	6.64

相当長の値は建築設備設計基準(平成21年度版)を引用

※1.特に、耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管は他の配管材より同じ呼び径でも圧損が大きく、サイズアップが必要な場合があるため、仕様をご確認の上選定してください。

(注)上記表の値は参考値です。ご使用の配管材質や配管メーカーにより値が異なりますので、ご確認の上、配管サイズを選定してください。

設置地域に関するご注意

- 最低気温が-20℃を下回る地域では能力低下や機器が正常に動作しないことがありますので、据付けないでください。
- 開放型ステンレス製貯湯タンクの積雪耐荷重は2100Pa(積雪深さ700mm)、開放型FRP製貯湯タンクの積雪耐荷重は588Pa(積雪深さ300mm)です。積雪地区では、小屋がけ等、防雪措置を施してください。また、各機器は置き台の上に据付けするなど、雪が空気吸込口・吹出口から入らないようにしてください。また、屋根をつけて雪が積もらないようにしてください。
- 積雪の多いところに据付けの場合は、次のような対策を実施してください。
 - ・降雪、積雪、落雪で埋まらないよう、熱源ユニット・カスケードユニット・再加熱ユニットの各ユニットは架台(現地調達)の上に設置し、底フレームが雪面より200~300mm以上高くなるようにしてください。
 - ・防雪フード(別売品)を取付け、後部吸込グリルを外してください。
- 吹出口に防雪フードを取付ける場合は、防雪フードの吹出面が冬期季節風と直角または冬期季節風に対し下流側を向くように設置してください。
- 外気温度が低く、デフロスト運転時に出るデフロスト水が凍結するところでは、熱源ユニット・再加熱ユニットの各ユニットの底フレームと基礎面の間に十分な空間を空けて(推奨:500~1000mm)ください。
- 保温工事があっても周囲温度が0℃以下になると配管は凍結しますので、適切な凍結防止工事を行ってください。
- 温泉地帯など特殊な場所では、機器が故障するおそれがありますので、据付けしないでください。
- 切削油など鉱物油の立ち込める雰囲気のある場所には設置しないでください。
- 酸性またはアルカリ性雰囲気のある場所には設置しないでください。
- 沿岸部など潮風の影響を受ける塩害地域での設置には、耐塩害仕様または耐重塩害仕様をおすすめします。
- 可燃性ガスの漏れる場所や引火物のある場所には設置しないでください。火災の原因となります。特に、貯湯タンクは80℃以上(ステンレス製は90℃以上)の熱で変形し、発火や火災、水漏れ、強度低下の原因となります。
- 電気的なノイズが問題となるような場所では、その影響を十分に考慮した設置・機種選定を行ってください。特に電子機器類などが設置されている場所からは、離れた場所に設置することをおすすめします。
- 台風や強風、地震も考慮し、機器質量に十分に耐えられる設置にしてください。強度不足の場合、破損や倒壊、落下をまねき非常に危険です。
- その他、工事など電圧変化の激しい場所、調理場など油の飛沫や蒸気が多く発生する場所への設置はお避けください。

水質に関するご注意

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 水質によっては、タンク、減圧弁、逃し弁、熱交換器等の寿命が通常より短くなる場合があります。特に温泉水、地下水、井戸水を使用した場合、通常の寿命は保証しかねます。(不具合等が発生した場合、無償保証はできません。)
- 自家浄化システムの処理水を使用する場合、水質によっては故障の原因になりますので、必ず相談窓口にてご相談ください。
- 残留塩素を除去する器具は取付けないでください。給湯装置全体に塩素の効いていない水が滞留することになり、細菌等が繁殖するおそれがあります。

設置時に関するご注意

- 各機器の所要スペースを確保した設置をお願いします。
- 各機器の据付けは、販売店または専門業者にご依頼ください。ご自分で工事をされ不備があると、水漏れ、漏電、倒壊などの原因となります。また「据付け説明書」をよくお読みの上で、正しく据付けてください。
- 電気工事は電気工事士の資格のある方が電気設備技術基準「内線規程JEAC8001(最新のもの)」及び「据付け説明書」に従って施工してください。
- 漏電遮断器(高調波対応品)を必ず設置してください。取付けられていないと感電、火災の原因になることがあります。
- 熱源ユニット・再加熱ユニットの各ユニットの設置場所において、吹出し方向に隣のビルや塀などの障害物が近接している場合は、ショートサーキットが生じることがあります。このような場合は弊社まで設置場所についてご相談ください。
- 熱源ユニット・カスケードユニット・再加熱ユニットの各ユニットはそれぞれにアース工事を行ってください。
- 熱源ユニット・カスケードユニット・再加熱ユニットの各ユニットは運転音や冷風が隣の家などの迷惑にならない所へ据付けてください。特に隣家との境界線では、環境基本法第16条の規定に基づく騒音に係る環境基準及び都道府県の条例などを満足させなければいけません。
- 熱源ユニット・カスケードユニット・再加熱ユニットの各ユニットはテレビ、無線機等のアンテナより3m以上離してください。
- ウォーターハンマー現象が発生する場合は、水撃防止装置を取付けてください。
- 動植物に直接風が当たらない所に据付けてください。動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。
- 破損、倒壊、水漏れの原因となりますので、貯湯タンクには過度の荷重が加わらないよう配慮してください。
- 貯湯タンクや架台の組立ボルトを外したり、緩めたりしないでください。強度低下による破損、倒壊、水漏れの原因となります。
- 本機は水道直結は行えません。

水配管・機材等に関するご注意

- 水配管工事は、水配管認定業者が行ってください。
- 熱源ユニット・再加熱ユニットの各ユニットはドレン水が発生します。基礎の周囲に排水溝を設け、機器周辺の排水に留意してください。また、屋上に据付けの場合は、床の防水処理も必ず行ってください。ドレンパン(別売品)の使用を推奨します。
- 水源水圧を減圧しているため、給湯圧は水源水圧よりも低くなります。
- 再加熱ユニットは水源水圧が500kPa以上の場合、減圧弁を追加してください。

耐塩害仕様に関するご注意

- 耐塩害仕様または耐重塩害仕様の機種を採用しても、腐食に対して万全とは言えません。機器の設置や日常のメンテナンスにおいては「据付け説明書」「取扱説明書」に示す諸注意を遵守してください。

受注生産品について

- 受注生産品は、標準品と外形や質量、能力等が多少異なる場合がありますので、ご検討の際にお問合わせください。また、ご発注より納品まで標準品より日数を要しますので、ご検討、ご発注の際に納期をご確認ください。

冷媒漏洩に関するご注意

- 本商品に使用しています冷媒R134a(HFC134a)・R410A(HFC410A)は、それ自身は無毒・不燃性ですが、万一建物内に漏れた場合、その許容量を超えるような小部屋では、換気装置などによる冷媒漏洩への対策が必要となります。

別売品に関するご注意

- 各種別売品は、必ず当社指定の商品をご使用ください。また、取付けにおいても販売店または専門業者にご依頼ください。ご自分で工事をされ不備がありますと、性能不良の他、水漏れや漏電、倒壊、火災などの原因となります。また、取付けに際しては「据付け説明書」をご使用に際しては「取扱説明書」を事前によくお読みいただき、正しくお取扱いください。
- 別売品は、その組合せや設置条件により採用や併用ができないものがありますので、ご検討の際にご確認ください。
- 別売品によっては、外形や外観、質量、運転音、その他能力特性が変化する場合がありますのでご注意ください。
- 別売品やオプションシステムにはダイキン工業(株)扱いの商品と、オーケー器材(株)扱いの商品がありますのでご確認ください。尚、現地調達品についてもオーケー器材(株)で多数取り揃えておりますのでお問合わせください。

湯温・湯量に関するご注意

- インテリジェントタッチマネージャーの設定により昼間もヒートポンプ運転を行います。
- 外気温や貯湯タンク内の湯温により沸き上げ温度は変化します。

ご使用、保守点検に関するご注意

- ご使用前に必ず各機器の「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。
- そのまますの飲用はお避けください。長期間のご使用によってタンク内に水垢がたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わっていることがあります。飲用される場合は必ず沸騰させたものをご使用ください。
- 少しでも長くお使いいただくために、「取扱説明書」の内容に従って定期的にお手入れと日常点検を行ってください。尚、各機器の点検、清掃には危険を伴うものや専門技術を必要とするものがありますので、「取扱説明書」をよくお読みの上、正しく作業を行うとともに、機器内部の清掃など専門技術を必要とする作業については、必ず販売店や専門業者にご依頼ください。
- 貯湯タンクは、年に1回専門業者に依頼して清掃することをおすすめします。
- 長年ご使用になると内部が汚れ、性能が低下することがあります。分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします。詳しくはお買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。
- 長期間、氷点下で使用されない場合は、カスケードユニットおよび再加熱ユニット内の水は抜いてください。

電気料金・保証・アフターサービスに関するご注意

- 契約の種類によって、時間帯と電気料金単価が異なります。
- インテリジェントタッチマネージャーの設定時刻がずれていると、電気料金が高くなる場合がありますのでお気をつけください。
- 無料修理保証期間経過後の修理については、販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 当社では製品の機能を維持するために必要な部品である補修用性能部品の保有期間を、製造打切後9年としています。
- 上記内容及び「取扱説明書」「据付け説明書」の内容を守らなかったために発生した不具合については保証期間内であっても無償保証の対象外となります。
- 保証期間は据付日から1年間です。

ダイキン自然冷媒(CO₂)ヒートポンプ給湯機

グリーン購入法
調達基準適合商品

ランニングコスト
約**40%**
低減^{※1}

都市ガスとの比較試算値
(当社試算)



メインリモコン



業務用エコキュート

日量給湯能力

0.6~4.8トン/日

給湯加熱効率

4.0

環境に配慮した
自然冷媒CO₂を採用

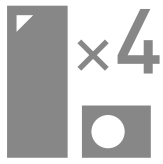
高圧給湯でパワフルに供給。
小~中規模の店舗、
施設におすすめです。

SUPERMARKET

RESTAURANT

ELDERLY
HEALTH
CENTER

NURSERY
SCHOOL

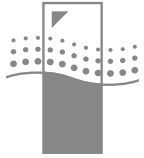


連結設置で 幅広い給湯ニーズに対応

●最大4台までの複数台連結(別売キット必要)



湯量やデータが 見やすいリモコン



たっぷりのお湯を パワフルに供給

- 給湯圧力320kPa(減圧弁設定圧力)
- 常時追加沸き増し可能で湯切れリスク軽減
- 外気温-25℃※2の寒冷地に対応



安全性・ 周辺環境への配慮

- 「耐震クラスA」をクリア
- 低騒音設計で近隣に配慮

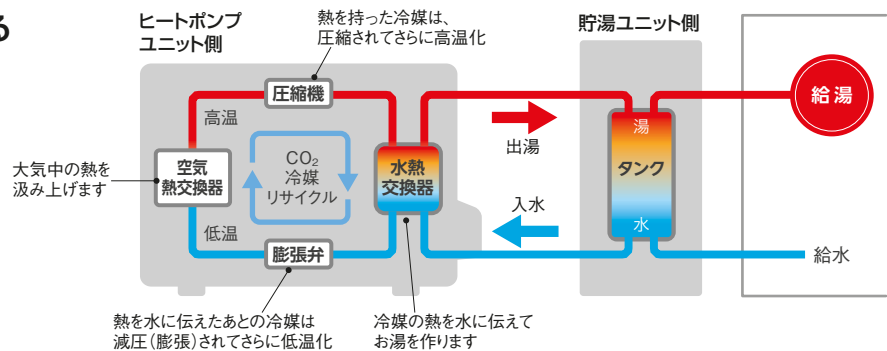
ラインアップ(タンク湯量設定がお好み湯量設定「10」の場合)

1日あたりの 供給湯量 (給湯60℃)	1,200L/日 (寒冷地 1,050L/日)	2,400L/日 (寒冷地 2,100L/日)	3,600L/日 (寒冷地 3,150L/日)	4,800L/日 (寒冷地 4,200L/日)
ピーク 給湯能力 (3時間)	500L/3時間	1,000L/3時間	1,500L/3時間	2,000L/3時間
ユニット 連結台数	1台	2台 ※3	3台 ※3	4台 ※3
設備 イメージ	 リモコン EQG461UHV	 EQG461UHV × 2セット	 EQG461UHV × 3セット	 EQG461UHV × 4セット

業務用エコキュート

エネルギーを有効活用する ヒートポンプ給湯。

ヒートポンプは電気エネルギーの3倍以上の熱エネルギーが取出せ、CO₂排出量も抑える、“高効率&クリーン”な給湯方式です。



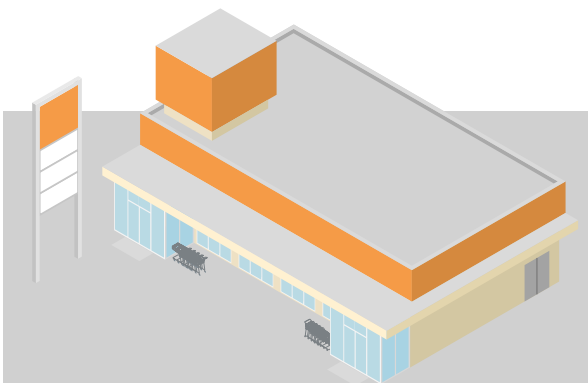
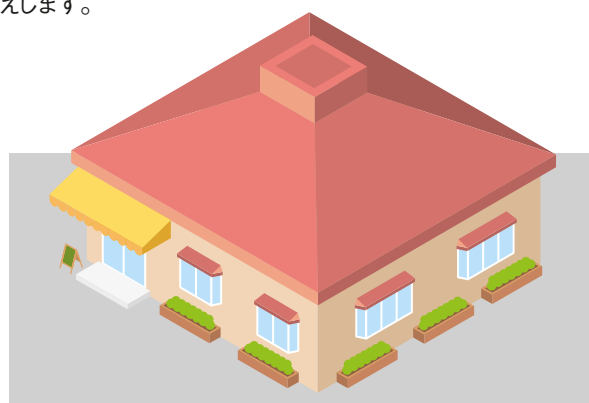


※1.【試算条件】外気温度条件:JRA4060:2018の一般地条件
給湯負荷:60℃・3000L/日
電力契約:東京電力 業務用季節別時間帯別電力(契約電力500kW未満)
●基本料金1,716円/kWh・ピーク時20.52/kWh、昼間時間(夏)19.81円/kWh、昼間時間(夏以外)18.38円/kWh、夜間時間12.77円/kWh
都市ガス:東京ガス 時間帯別A契約・定額基本料金1,320円/月、流量基本料金967.49円/m³・月・従量料金88.56円/m³
※2.貯湯ユニットは-20℃。
※3.ユニット連結時には別売の連結キット(BKCS995B4)と給湯流量調整弁が必要になります。
●「エコキュート」の名称は、電力会社・給湯機メーカーが自然冷媒ヒートポンプ給湯機を総称する愛称です。

連結設置で幅広い給湯ニーズに対応

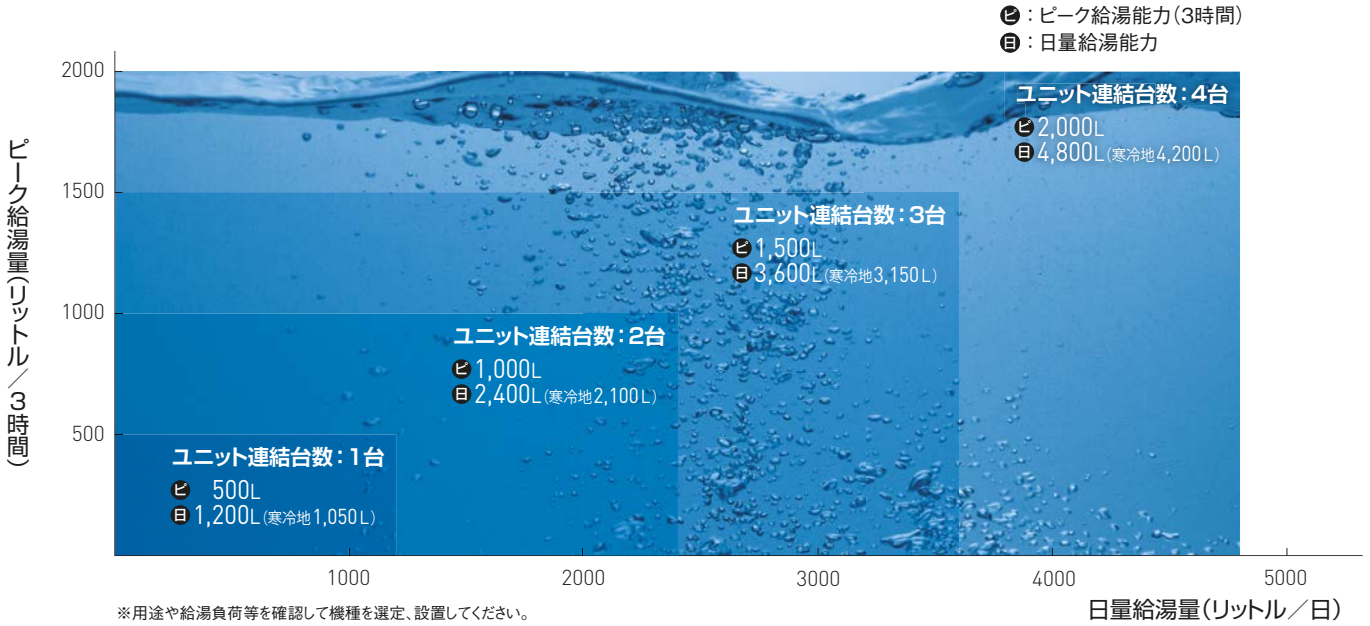


食品スーパー、レストラン、老健施設など
様々な用途にお使いいただけます。

最大4台まで接続可能な給湯システムで、幅広い業種・給湯ニーズにお応えします。

業 態	 食品スーパー	 飲食店(レストラン)
規 模	500坪	30席
想定日給湯量	3,000L/日(60℃)	1,600L/日(60℃)
推奨機種	 ユニット連結台数：3台	 ユニット連結台数：2台

給湯量のめやす (給湯温度60℃換算/タンク湯量設定がお好み湯量設定「10」の場合)

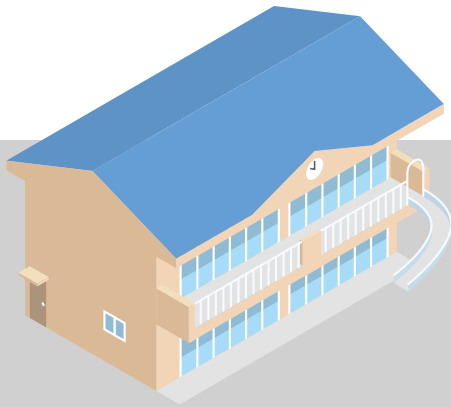


現地施工により2温度同時給湯にも対応できます

食器洗浄やゆで麺器などの高温給湯と、手洗い等の一般給湯(中温)が可能です。

HACCPなど食の安全に対する取組みがこれまで以上に強く求められています。2温度取出しをすれば、食器洗浄などの高温取出しにも有効です。

※高温給湯と一般給湯(中温)の2温度同時取出しについては、現地工事に対応ください。詳しくはP.39をご覧ください。



食堂・給食

60食(保育園)

1,000L/日(60℃)



ユニット連結台数: 1台



老健施設

18人(GH)

3,500L/日(60℃)



ユニット連結台数: 3台

たっぷりのお湯を
パワフルに供給

パワフル高圧
320kPa
(減圧弁設定)

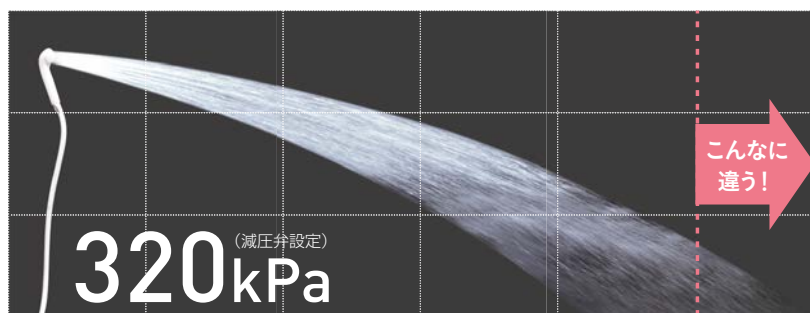


パワフル高圧給湯

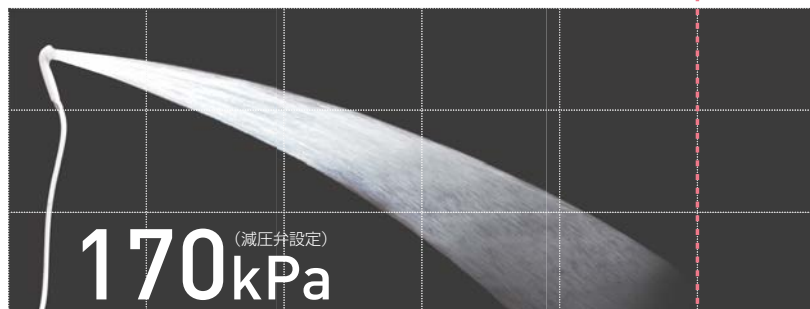
**320kPaのパワフル高圧給湯だから、
離れた場所にも安定して供給できる。**

3階への供給や、2カ所同時給湯も可能なパワフルな流量です。

パワフル高圧給湯 (2018年モデル EQG461UHV)



高圧給湯 (2005年モデル EQG371FV)

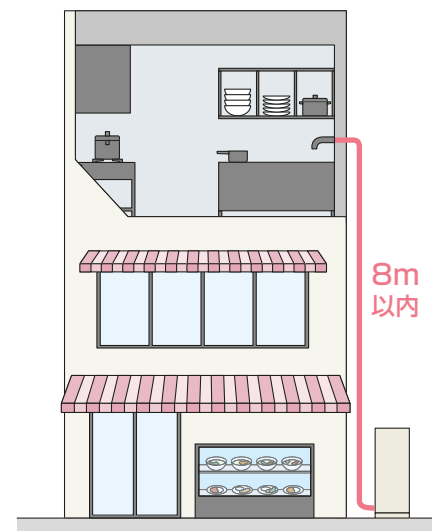


階上への給湯(3階)

1階から3階まで配管を伸ばしても、
安定してお湯を供給できます。

※階下への給湯も可能です。詳しくはお問い合わせください。

●長尺配管対応



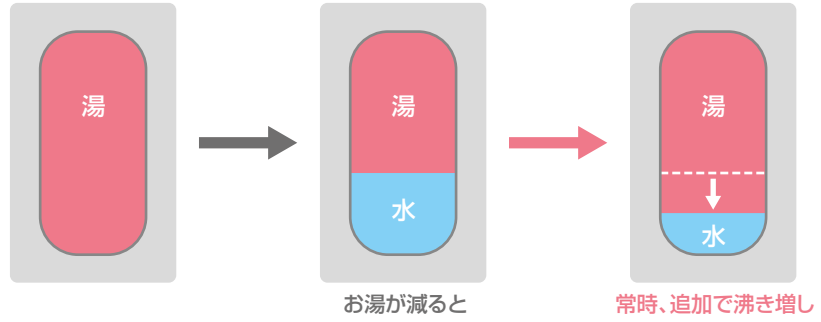
常時追加沸き増し

常時追加沸き増し可能で湯切れリスクを軽減。

昼間は常時、最高85℃の沸き上げ温度で追加沸き増しを行い、湯切れリスクを減らすことができます。(出荷時設定)

家庭用の約2倍の長寿命を実現

圧縮機の回転数制御により、家庭用ヒートポンプ給湯機に比べて約2倍の耐力を実現しました。

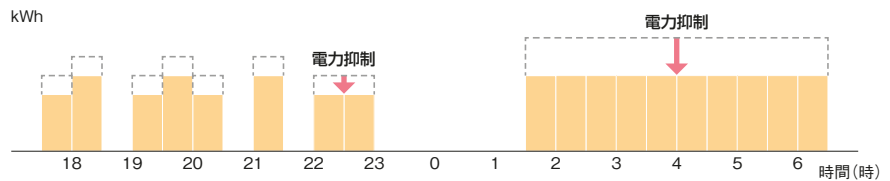


節電設定

電力抑制により沸き上げ能力を低減。

終日沸き上げ能力を低下させて、給湯にかかる電力を低減します。

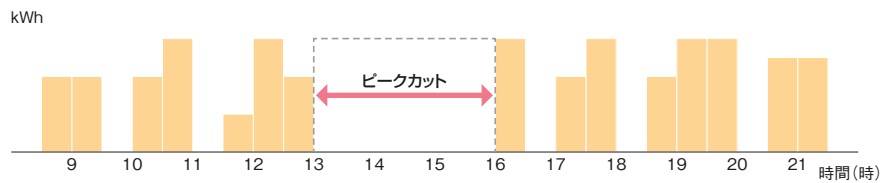
電力抑制



昼間のピークカット運転に対応。

運転を回避したい時間帯に沸き上げ運転を休止してピークカットに貢献できます。

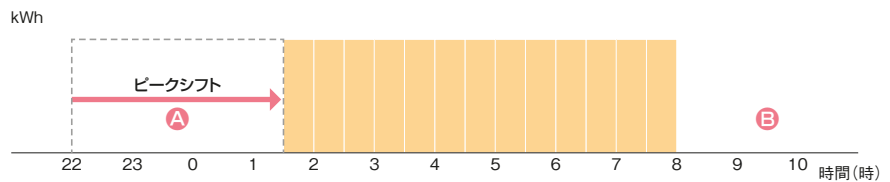
ピークカット (例 13:00-16:00設定の場合)



夜蓄運転でピークシフトに貢献。

夜間時間帯終了時刻までに沸き上げることで、夜蓄運転のピークAや朝方の電気使用量Bを抑えることができます。

ピークシフト



湯温設定

32～75℃の範囲で給湯温度が設定できます。

● 高温ニーズに対応

寒冷地設置対応

外気温-25℃の寒冷地に対応^{※1}

※1. ヒートポンプユニットの設置可能最低外気温。貯湯ユニットは-20℃以下では、屋内に設置してください。-20℃～-25℃では、タンク全量沸き上げできない場合があります。

塩害対策

海辺や潮風の吹くエリアに、耐塩害・耐重塩害兼用機をラインアップしています。

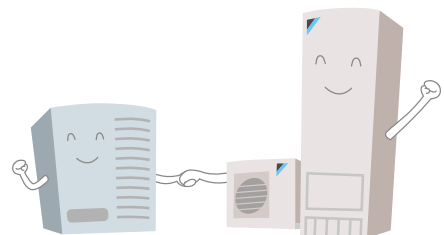
● 詳しくはP.42をご覧ください。

ハイブリッドにも対応できます

既設の燃焼式と組合せると、湯量もコストも安定します。

ベースの給湯はヒートポンプが行い、ピーク時や突然の負荷変動を燃焼式がまかなうことで、さらに低コストで、急な給湯ニーズにも対応するシステムが展開できます。

※「ハイブリッド対応」について詳しくはP.44をご覧ください。



操作しやすく、湯量が見やすいリモコン

メインリモコン BRC083B31

大きな文字で見やすく、シンプルでスタイリッシュなデザイン。
高級感のあるクリアパネルを採用しました。



タンク湯量設定

昼間常時追加沸き増し設定で、湯切れリスク軽減^{※2}

昼間^{※3}や休業日^{※4}の沸き上げ休止設定に対応

- ※2. 工場出荷時は昼間常時追加沸き増し設定(おこのみ設定でレベル10)。後から変更することも可能です。
- ※3. 当日に「昼間休止」を設定することで対応できます。
- ※4. 休業前日の閉店後に設定することで対応できます。

便利機能

じゃ口閉め忘れお知らせ^{※5}

じゃ口からお湯が少量で流れ続けていることを検知すると、表示とアラームでお知らせします。

使用湯量お知らせ

じゃ口やシャワーから使用した給湯量をリモコンに表示してお知らせします。

使用履歴(湯量実績)

過去7日間の使用湯量をグラフで表示^{※6}できるほか、1カ月ごとの1日平均使用湯量や、1日の連続給湯時間なども表示。使用湯量の傾向と対策を知ることができます。

- ※5. ユニット連結台数1台の場合のみ。
- ※6. 複数台ユニット連結時は個々のリモコン表示の合算が必要です。

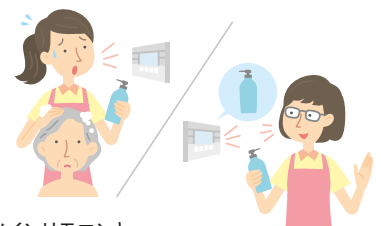
チャイルドロック
お子様のいたずら防止はもちろん、関係者以外の操作防止になります。

浴室に設置できる防水タイプもラインアップ。(ユニット連結台数1台の場合のみ)

浴室リモコン(防水タイプ) BRC083B32



浴槽清掃後にお湯をはりたいとき、すぐにお湯の調節ができて便利です。



メインリモコンと浴室リモコン(防水タイプ)で通話ができます。

安全性・周辺環境への配慮

- ① 転倒防止金具(別売品)
- ② 補強プレート(2ヶ所)
- ③ タンク支持部補強(3ヶ所)
- ④ 脚部の補強(3ヶ所)
- ⑤ 補強プレート付脚部化粧カバー(別売品)

貯湯ユニット

耐震クラスA基準をクリア※1

幅200mmのワイドな
転倒防止金具※2により取付強度アップ

タンク支持部と脚部の補強で、
本体の揺れを低減

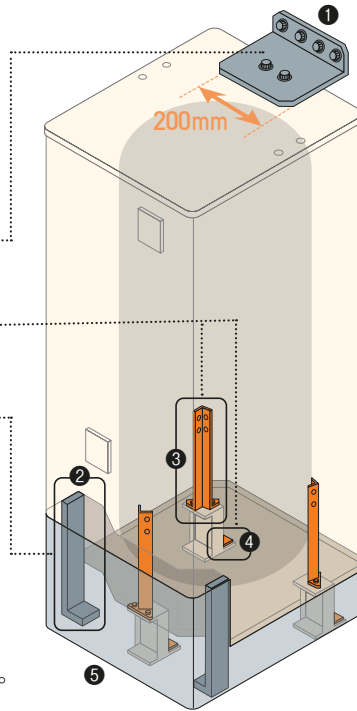
補強プレート付脚部化粧カバー※2の
設置で強度がさらにアップ

ヒートポンプユニット

40dB※3の低騒音設計で 近隣にも配慮

40dBは図書館の中にいるのと同じ位の音の大きさです。

- ※1. 一般財団法人日本建築センター「建築設備耐震設計・施工指針」における「局部振動法による設備機器の地震力」に基づいて設計。
- ※2. 「転倒防止金具」、「補強プレート付脚部化粧カバー」は別売品です。
- ※3. 中間期。



停電時・非常時にも活躍

停電時出湯対応

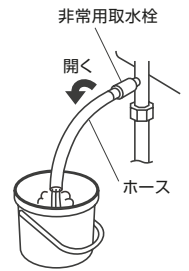
もし停電になっても、貯湯ユニットにお湯が残っていれば、シャワーやじゃ口でお湯が使用できます。

※お湯の温度は設定通りならず、高温のお湯が出ることもあるのでやけどにご注意ください。
※給水圧力条件を満足していない場合はお湯が出ないことがあります。

非常用水取出し

災害などで断水したとき、
タンク内の水を生活用水
としてご利用いただけます。

※高温のお湯が出ることもあるのでやけどにご注意ください。



⚠️ 施工上のご注意

貯湯ユニットのアンカーボルト固定位置につきましてはP.38をご確認ください。
耐震性能を発揮するためには、製品の据付説明書に従い確実に施工してください。

機種一覧

	ユニット連結台数：1台	ユニット連結台数：2台	ユニット連結台数：3台	ユニット連結台数：4台
	リモコン※4 ※4	リモコン※4 ※4	リモコン※4 ※4	リモコン※4 ※4
標準仕様	EQG461UHV リモコンセット 希望小売価格 980,000円 貯湯ユニット：TUG461UHV 450,000円 ヒートポンプユニット：RQWG60UHV 515,000円 リモコン(必須別売品)：BRC083B31 15,000円 ■別売品……脚部化粧カバー(1台) 1日あたりの供給湯量※6 1,200L (寒冷地 1,050L) ピーク時(3時間)の供給可能湯量※6 500L	EQG461UHV×2セット リモコンセット 希望小売価格 1,960,000円 貯湯ユニット：TUG461UHV×2台 900,000円 ヒートポンプユニット：RQWG60UHV×2台 1,030,000円 リモコン(必須別売品)：BRC083B31×2台 30,000円 ■別売品……脚部化粧カバー(2台)、連結キット(2台)※5 ■推奨品……給湯流量調整弁(2個) 1日あたりの供給湯量※6 2,400L (寒冷地 2,100L) ピーク時(3時間)の供給可能湯量※6 1,000L	EQG461UHV×3セット リモコンセット 希望小売価格 2,940,000円 貯湯ユニット：TUG461UHV×3台 1,350,000円 ヒートポンプユニット：RQWG60UHV×3台 1,545,000円 リモコン(必須別売品)：BRC083B31×3台 45,000円 ■別売品……脚部化粧カバー(3台)、連結キット(3台)※5 ■推奨品……給湯流量調整弁(3個) 1日あたりの供給湯量※6 3,600L (寒冷地 3,150L) ピーク時(3時間)の供給可能湯量※6 1,500L	EQG461UHV×4セット リモコンセット 希望小売価格 3,920,000円 貯湯ユニット：TUG461UHV×4台 1,800,000円 ヒートポンプユニット：RQWG60UHV×4台 2,060,000円 リモコン(必須別売品)：BRC083B31×4台 60,000円 ■別売品……脚部化粧カバー(4台)、連結キット(4台)※5 ■推奨品……給湯流量調整弁(4個) 1日あたりの供給湯量※6 4,800L (寒冷地 4,200L) ピーク時(3時間)の供給可能湯量※6 2,000L
耐塩害・耐重塩害兼用機	EQG461UHVH リモコンセット 希望小売価格 1,050,000円 貯湯ユニット：TUG461UHVH 460,000円 ヒートポンプユニット：RQWG60UHVH 575,000円 リモコン(必須別売品)：BRC083B31 15,000円 ■別売品……脚部化粧カバー(1台)	EQG461UHVH×2セット リモコンセット 希望小売価格 2,100,000円 貯湯ユニット：TUG461UHVH×2台 920,000円 ヒートポンプユニット：RQWG60UHVH×2台 1,150,000円 リモコン(必須別売品)：BRC083B31×2台 30,000円 ■別売品……脚部化粧カバー(2台)、連結キット(2台)※5 ■推奨品……給湯流量調整弁(2個)	EQG461UHVH×3セット リモコンセット 希望小売価格 3,150,000円 貯湯ユニット：TUG461UHVH×3台 1,380,000円 ヒートポンプユニット：RQWG60UHVH×3台 1,725,000円 リモコン(必須別売品)：BRC083B31×3台 45,000円 ■別売品……脚部化粧カバー(3台)、連結キット(3台)※5 ■推奨品……給湯流量調整弁(3個)	EQG461UHVH×4セット リモコンセット 希望小売価格 4,200,000円 貯湯ユニット：TUG461UHVH×4台 1,840,000円 ヒートポンプユニット：RQWG60UHVH×4台 2,300,000円 リモコン(必須別売品)：BRC083B31×4台 60,000円 ■別売品……脚部化粧カバー(4台)、連結キット(4台)※5 ■推奨品……給湯流量調整弁(4個)

※4. リモコン及び貯湯ユニット脚部の化粧カバーは別売品です。 ※5. 別売品の連結キットは厨房用途の場合、いずれか1つの貯湯ユニットには取り付けられないでください。詳細はP.39をご覧ください。
 ※6. 給湯温度60℃換算。タンク湯量設定がお好み湯量設定「10」の場合。

業務用エコキュートは連結キット(BKCS995B4)を使用すれば、ハイブリッド給湯システムに容易に対応できます。詳細はP.44をご覧ください。

仕様表

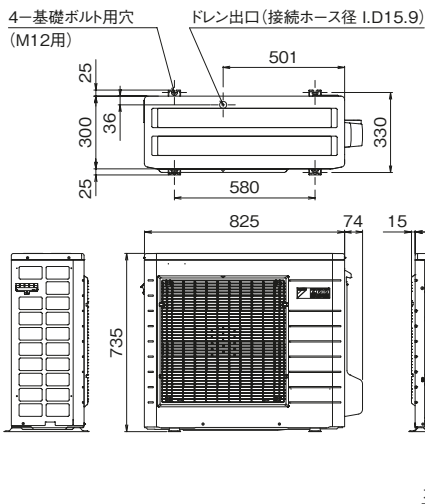
名称	CO ₂ ヒートポンプ給湯機			
標準機	総称機種名	EQG461UHV		
	貯湯ユニット	機種名	TUG461UHV	
	ヒートポンプユニット	機種名	RQWG60UHV	
耐塩害・耐重塩害兼用機	総称機種名	EQG461UHVH		
	貯湯ユニット	機種名	TUG461UHVH	
	ヒートポンプユニット	機種名	RQWG60UHVH	
相数	単相			
定格電圧	200V			
定格周波数	50Hz/60Hz			
設置場所	貯湯タンク	屋外(防雨型)/屋内兼用		
	ヒートポンプ	屋外		
給水器具認証番号	W052-20020-137			
標準貯湯加熱	中間期	能力	kW	6.00
		(注1)(注13)(注14)消費電力	kW	1.30
	夏期	能力	kW	4.50
		(注2)(注13)(注14)消費電力	kW	0.82
	冬期	能力	kW	6.00
		(注3)(注13)(注14)消費電力	kW	1.39
	着霜期	能力	kW	4.70
		(注4)(注13)(注14)消費電力	kW	1.79
	寒冷地冬期	能力	kW	4.80
		(注5)(注13)(注14)消費電力	kW	2.15
	年間標準貯湯加熱エネルギー消費効率(注13)(注14)	4.0		
寒冷地年間標準貯湯加熱エネルギー消費効率(注13)(注14)	3.1			
高温貯湯加熱	中間期	能力	kW	6.00
		(注6)(注13)(注14)消費電力	kW	1.56
	夏期	能力	kW	4.40
		(注7)(注13)(注14)消費電力	kW	0.99
	冬期	能力	kW	6.00
		(注8)(注13)(注14)消費電力	kW	2.00
	着霜期	能力	kW	4.80
		(注9)(注13)(注14)消費電力	kW	2.10
	寒冷地冬期	能力	kW	4.90
		(注10)(注13)(注14)消費電力	kW	2.45
圧縮機電動機出力	kW			1.10

運転音	中間期	(注1)(注14)	dB	40
	冬期	(注8)(注14)	dB	45
冷媒名及び封入量				R744(1.10kg)
設計圧力	MPa			13.7
タンク容量	L			460
沸き上げ温度	℃			約65~90
タンク保温性能	(注11)			2.8℃低下/10時間
質量(満水時)	貯湯タンク	kg		68(528)
	ヒートポンプ	kg		59
タンク最高使用圧力	kPa			360
逃し弁設定圧力	kPa			360
減圧弁設定圧力	kPa			320
最大電流	容量	A		18
	制御	W		3
消費電力	沸き上げポンプ	W		8
	凍結防止ヒーター(貯湯ユニット)	W		80
	加熱ヒーター(ヒートポンプユニット)	W		90
	使用外気温範囲	貯湯タンク	℃	
外形寸法(H×W×D)	ヒートポンプ	℃		-25~43(注12)
	貯湯タンク	mm		2175×630×730
	ヒートポンプ	mm		735×825(+74)×300
給湯温度	℃			水、約32~50(1℃きざみ)、55、60、65、70、75

(注1) 運転条件:外気温DB16℃、WB12℃、入水温度17℃、出湯温度65℃
 (注2) 運転条件:外気温DB25℃、WB21℃、入水温度24℃、出湯温度65℃
 (注3) 運転条件:外気温DB7℃、WB6℃、入水温度9℃、出湯温度65℃
 (注4) 運転条件:外気温DB2℃、WB1℃、入水温度5℃、出湯温度65℃
 (注5) 運転条件:外気温DB-7℃、WB-8℃、入水温度5℃、出湯温度65℃
 (注6) 運転条件:外気温DB16℃、WB12℃、入水温度17℃、出湯温度85℃
 (注7) 運転条件:外気温DB25℃、WB21℃、入水温度24℃、出湯温度80℃
 (注8) 運転条件:外気温DB7℃、WB6℃、入水温度9℃、出湯温度90℃
 (注9) 運転条件:外気温DB2℃、WB1℃、入水温度5℃、出湯温度90℃
 (注10) 運転条件:外気温DB-7℃、WB-8℃、入水温度5℃、出湯温度85℃
 (注11) 運転条件:貯湯ユニット周囲温度20℃、水温15℃、沸き上げ温度65℃
 (注12) -20~-25℃ではタンク全量沸き上げできない場合があります。
 (注13) ポンプ消費電力は含まない。
 (注14) JRA4060:2018に準拠しています。

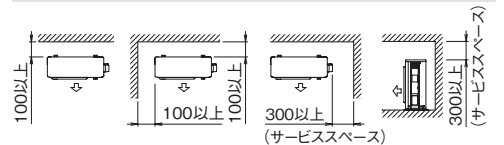
外形図(単位:mm)

■ヒートポンプユニット(RQWG60UHV)

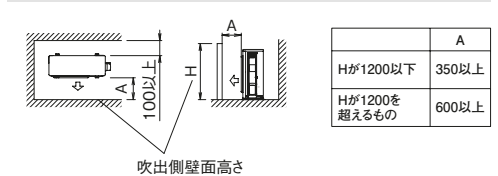


据付所要スペース

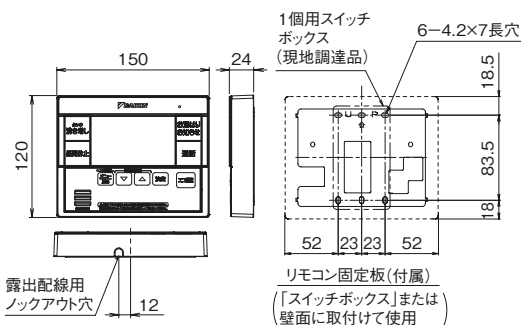
吹出側に障害物がない場合



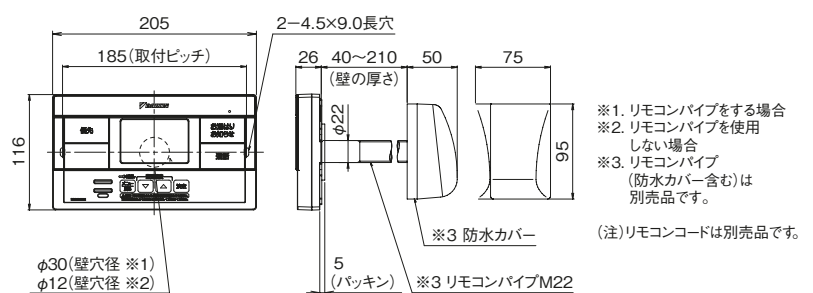
吹出側に障害物がある場合



■リモコン(BRC083B31)

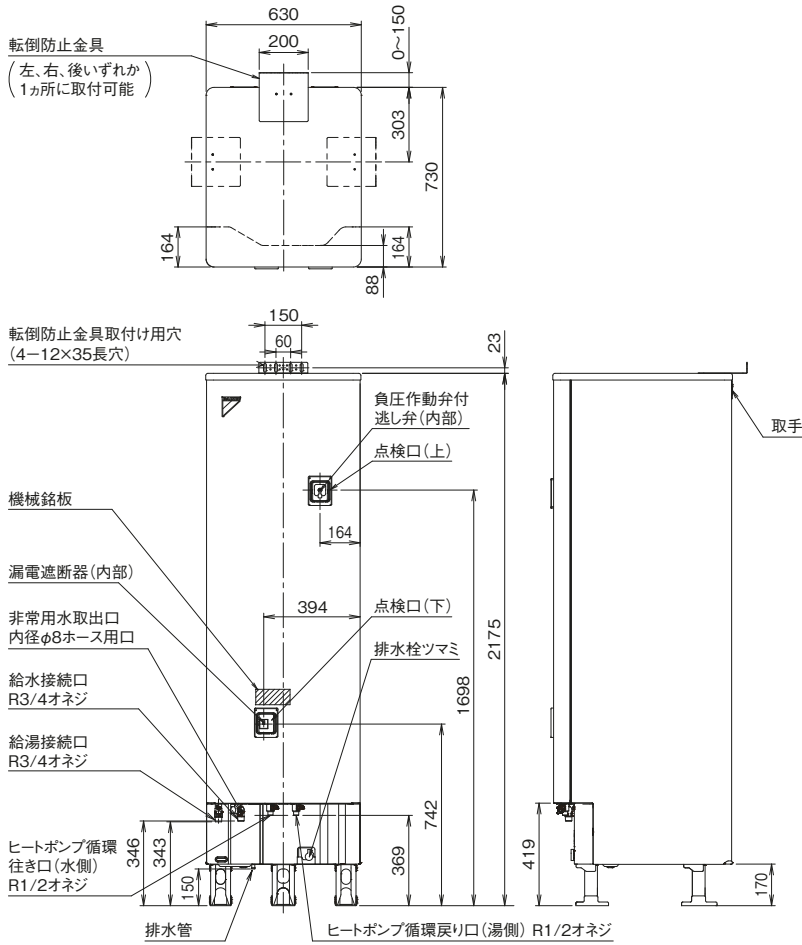


■浴室リモコン(防水タイプ)(BRC083B32)

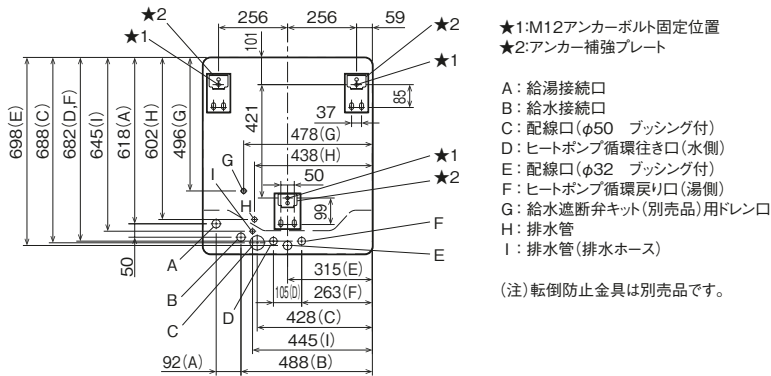


外形図 (単位:mm)

■貯湯ユニット (TUG461UHV)



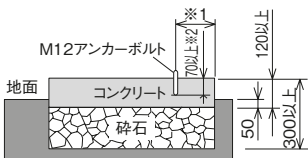
アンカーボルトおよび配管位置図 (上から見た図)



基礎工事

- 満水時の質量に十分耐える基礎工事を行う。(コンクリート圧縮強度を18MPa以上にする。)
- 床面は必ず防水・排水工事を行う。
- 地震時の転倒防止のため、必ず脚をアンカーボルトで固定する。
- アンカーボルトは座金付のナットまたは、平座金を組合せたナットで固定する。
- アンカーボルトは仕様に従って選定する。施工要領については、アンカーボルトの説明書に従って施工する。
- アンカーボルト位置は壁からの距離と貯湯ユニットの寸法を考慮して決定する。

おねじ形あと施工アンカーボルトの施工例 アンカーボルト仕様

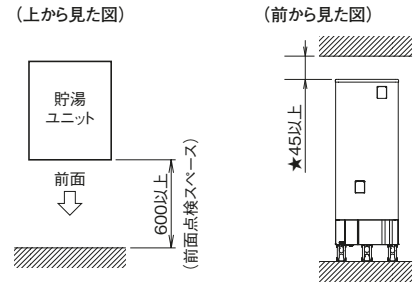


- ※1. アンカーボルトの埋め込み長さの2倍を目安
- ※2. アンカーボルト仕様に従って選定する

- ※3. 2階以上設置の場合は、転倒防止金具(別売品)による固定を必ず実施してください。

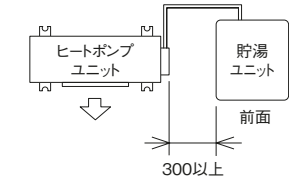
(注)貯湯ユニットは、国土交通省告示第1447号(平成25年4月1日施行)に適合した設置工事が必要です。必ず当社指定の据付工事を行ってください。

据付所要スペース

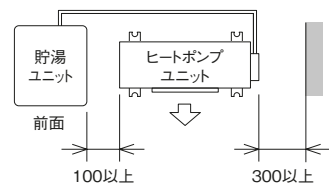


ヒートポンプユニットと貯湯ユニット間の据付所要スペース (上から見た図)

- ヒートポンプユニットが左にある場合



- ヒートポンプユニットが右にある場合



- (注1)貯湯ユニット上部スペース(★部)は45mm以上(推奨200mm)確保してください。
- (注2)据付所要スペース以外に本体の搬入・搬出・据付作業ができるスペース及び通路を確保してください。

⚠ 施工時のご注意

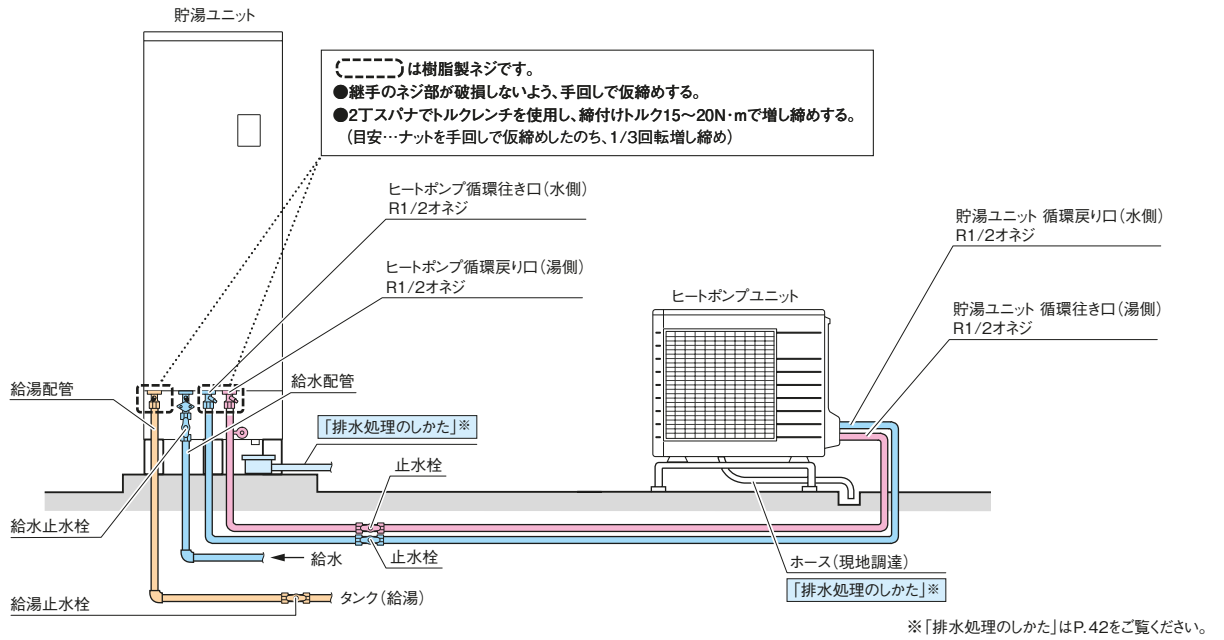
地震時の転倒防止のため、必ず脚をアンカーボルトで固定してください(M12アンカーボルト)。2階以上に据付ける場合は、転倒防止金具で本体上部も固定してください。

⚠ 地震などによって本体が転倒しケガをするおそれがあります。

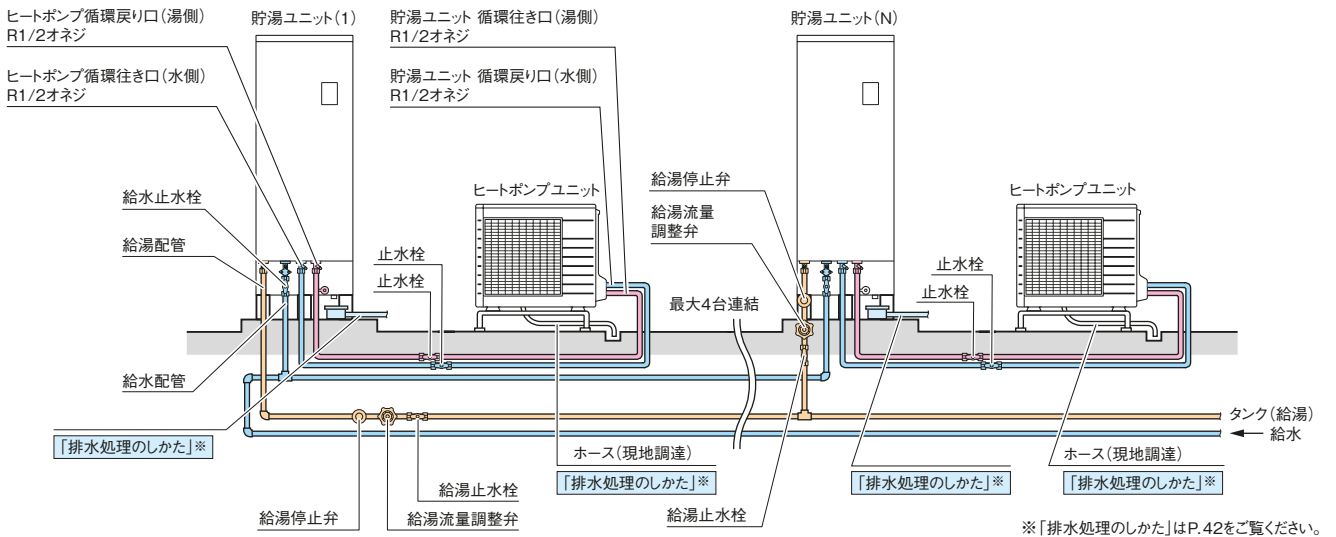
アンカーボルト/サンコーテクノ株式会社製

ねじの呼び		呼び径M12	呼び径M10
推奨品	オールアンカー-Cタイプ (スチール製 三価クロメート処理)	C-1290	C-1070
	オールアンカー-SCタイプ (ステンレス製 SUS304系)	SC-1290	SC-1070
全長		90mm	70mm
用途		脚用	転倒防止金具用

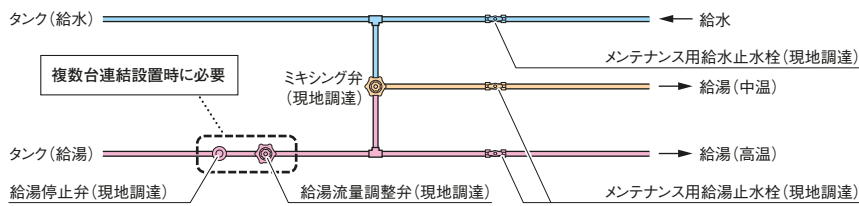
■単体設置時



■複数台連結設置時



■現地工事にて
2温度取出しの場合



⚠ 配管施工時のご注意

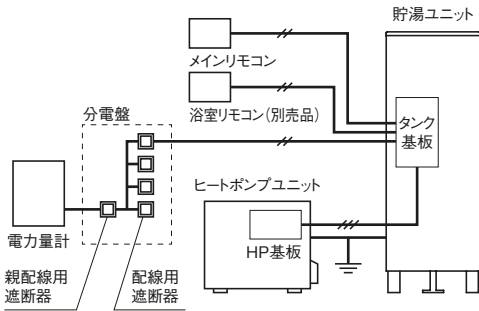
- 貯湯ユニット床面は、万一を考慮して防水処理(水もれ防止、排水処理)を行ってください。
- 凍結のおそれのある地域では凍結防止ヒーターによる凍結防止工事を行ってください。
- 貯湯ユニット沸き上げ時には膨張水が出ますので排水口には必ず排水処理が必要です。(42ページ「排水処理のしかた」参照)
- ヒートポンプユニット運転中はドレン水が出ますので、付属のドレンソケットを使用してドレンホースによる排水処理を確実に行ってください。(42ページ「排水処理のしかた」参照)
- 配管の保温材の厚みは10mm以上(ヒートポンプ配管の湯側は20mm以上)必要です。不足の場合、凍結したり放熱ロスが大きくなるため、保温工事は確実に行ってください。
- 試運転前に必ず配管と配線の接続チェックを行ってください。特にミスを招きやすい接続システムのヒートポンプユニット・貯湯ユニットの接続にはご注意ください。誤配管、誤配線があると、設定どおりの運転を行わなかったり、異常停止してしまうことがあります。
- 連絡配管のエア抜き、水熱交換器のエア抜きを順次行ってください。エア抜き不良の場合、お湯が沸かずに異常停止します。
- 複数台連結設置時は、給水・給湯配管は貯湯ユニット偏流抑制のため、リバース・リターン方式の配管施工にした上で、流量調整弁で調整してください。
- 給湯停止弁はユニット連結時に必要ですが、全台数に取付けると、設計負荷以上の給湯を使用した場合、給湯系統が断水します。厨房用途で断水しては困るような場合には少なくとも1台の貯湯ユニットには給湯停止弁を取付けないようにしてください。この場合、連結キット自体が不要となります。

■はダイキン工業(株)扱い、それ以外はオーケー器材(株)扱いです。Ⓜは受注生産品です。発注から納品までに標準品より日数を要します。Ⓜはセット品番です。納品姿は複数梱包となります。

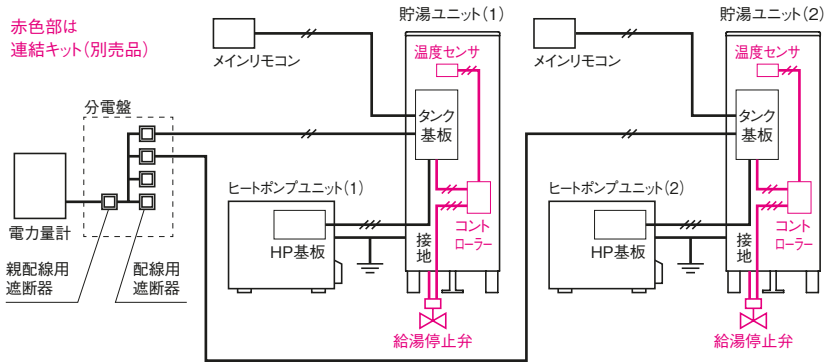
●受注生産品の納期について、オーケー器材(株)扱いのオプションは「ダイキン純正別売品総合カタログ」または「オーケースカイ空調工事部材カタログ」にてご確認ください。ダイキン工業(株)扱いのオプションについてはお問い合わせください。

機外配線要領

■単体設置時



■複数台連結設置時 (注)2台連結の例。3台以上の連結時も同様。



- 電気設備基準及び内線規程に基づいて必ず指定工事業者が行ってください。
- 保護アース(接地)工事は、万が一の感電事故防止のため、電気設備技術基準及び内線規程に基づき、必ず電気工事士によるD種設置工事(接地抵抗100Ω以下)を行ってください。

連結時の場合

- 連結時の配線工事については、連結キット付属の工事説明書に基づいて、必ず指定工事業者が行ってください。
- 複数台連結設置時は浴室リモコンは接続できません。

ブレーカ容量とケーブル太さ

配線用遮断器	電源ケーブル太さ	HP～タンク間ケーブル太さ	リモコンケーブル太さ
単相200V 20A	キャブタイヤケーブル3.5(5.5)mm ² VVVFケーブル(2心)φ2.0(φ2.6)	φ2.0VVF (3心、単線)	0.75mm ²

別売品

■貯湯ユニット

機種名	TUG461UHV			
代表総称名	EQG461UHV			
リモコン関連	リモコン	BRC083B31		
	浴室リモコン	BRC083B32		
	リモコンコード	5m	KRCW301A05	1,160円
		8m	KRCW301A08	1,500円
		12m	KRCW301A12	1,900円
		20m	KRCW301A20	2,600円
50m		K-RW2050B	7,500円	
100m	K-RW2100B	15,000円		
給湯連結配管関連	連結キット	BKCS995B4		
	銅管アダプター	10個入	ストレート KHFB4A42(φ12.7ロウ付用)	4,400円
	銅管フレアアダプター	10個入	ストレート KHFB4A42F(φ12.7フレア接続)	12,100円
	銅管ロングアダプター	10個入	ストレート KHFB4A42L(φ12.7)	11,000円
	ニップル継手	10個入	KHBNP4A(φ12.7)	3,300円
	フレアニップル継手	10個入	KHBNP4AF(φ12.7)	11,000円
	止水栓	10個入	KHBB4A41(φ12.7)	13,200円
	負圧弁付自動空気抜き弁	10個入	KHBB5A41(φ15.9)	15,400円
	空気抜き弁	10個入	KHBB4A41(φ12.7)	13,200円
	給湯停止弁セット	BKCS995B41		8,900円
	脚部化粧カバー	(注4)	KKC022D4	10,000円
	補強プレート付脚部化粧カバー	(注5)	KKC060D4	19,000円
	貯湯ユニット用転倒防止金具	KYP060A4		3,000円
スプレー塗料	A-SP4		1,400円	

- (注1)ユニット連結台数1台の場合のみ。
 (注2)2台以上連結する場合は連結キット(BKCS995B4)が必要です。
 (注3)ハイブリッド給湯システムの場合に必要です。
 (注4)耐塩害・耐重塩害兼用機対応仕様品です。
 (注5)補強プレート付脚部化粧カバー: KKC060D4はセット品番で以下の部品で構成されています。
 【構成部品…脚部化粧カバー: KKC022D4、脚部化粧カバー 補強プレート: KKC060D41】

■ヒートポンプユニット

別売品名	機種名	RQWG60UHV		
二段置台	(注7)	アルミ	K-AW8HL	27,900円
		メッキ	K-KW27GL	27,600円
		塗装	K-KW7GL	23,000円
平置台	高さ300	アルミ	K-AH83HL	9,900円
		メッキ	K-KHZ103G	21,900円
高置台	高さ500	アルミ	K-AH85HL	11,900円
		メッキ	K-KHZ105G	26,500円
		高さ800	メッキ	K-KHZ108G
	高さ1000	メッキ	K-KHZ1010G	38,000円
転倒防止金具(ヒートポンプユニット用)		KYP945A4	8,500円	
防雪パネル		K-APC8HL(注8)	25,100円	
防雪屋根(支柱付)	(注3)	アルミ	K-APC8HLW(注9)	25,300円
防雪屋根		K-KP8HL	27,600円	
壁面用防雪屋根		アルミ	KKC945B4	12,100円
防雪板	(注1)	左	K-KP6G2	23,000円
		右	KPS010A41	11,000円
防雪板(アルミ支柱)	(注5)	左	KPS010A42	13,000円
		右	KPS934B41L	11,600円
防雪フード	(注6)	吹出	KPS934B42L	11,600円
		吸込側面	KPS5A56T	18,400円
風向調整板	(注6)	吸込側面	KPS027A41	12,000円
		吸込背面	KPS027B42	13,000円
ドレンプラグ	(注2)(注10)	5台分	KPW945B4	12,800円
背面保護金網			KKP973B4	730円
			KKG973A4	3,900円

- (注1)取付ける置台は、平置台(K-KHZ103G)、高置台(K-KHZ105G、K-KHZ108G、K-KHZ1010G)のいずれかを併用してください。
 (注2)1台分は標準付属。
 (注3)平置台(K-AH83HL)、高置台(K-AH85HL)、二段置台(K-AW8HL)のいずれかを併用してください。
 (注4)後防雪板は単独設置できませんので左防雪板と併用してください。
 (注5)取付ける置台は、平置台(K-AH83HL)、高置台(K-AH85HL)のいずれかを併用してください。置台に穴あけ作業なしで施工できます。
 (注6)防雪フードは防雪屋根または防雪板との併用はできません。(注7)凍結のおそれがある地域では、使用できません。
 (注8)平置台(K-AH83HL)、高置台(K-AH85HL)と防雪屋根(K-KP8HL)に組み合わせて使用ください。
 (注9)二段置台(K-AW8HL)と防雪屋根(K-KP8HL)に組み合わせて使用ください。
 (注10)ドレン水が凍結する恐れのある場合、使用できません。(注11)在庫品限りとなります。

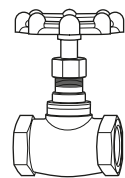
⚠ 据付けの際の注意

以下の項目に特に注意して据付けてください。
 工事の不具合による故障は、保証の対象外にもなります。

- 配管の保温工事は確실히行ってください。凍結したり、放熱ロスが大きくなります。
- 保温工事を行っても、周囲温度0℃以下の環境では配管が凍結し、破損や水漏れが起こる可能性がありますので、凍結防止対策としてヒーターの巻きつけを行ってください。
- 試運転前に必ず配管と配線の接続チェックを行ってください。特にミスを引きやすい連結システムのヒートポンプユニット・貯湯ユニットの接続にはご注意ください。誤配管、誤配線があると、設定どおりの運転を行わなかったり、異常停止してしまうことがあります。
- 連絡配管のエア抜き、水熱交換器のエア抜きを順次行ってください。エア抜き不良の場合、お湯が沸かずに異常停止します。
- ブレーカ容量の確認
配線用遮断器(ブレーカー)は、指示容量のものがヒートポンプユニットの台数分、幹線遮断器は配線用遮断器の総容量を満たさないと、運転中に不具合が起こります。
- 浴槽・シャワーなどお湯が直接人体に触れる場合は、サーモ付カランを取付けてください。

⚠ ユニット連結時の注意

- ユニット連結時には別売品の連結ユニットとは別に、給湯流量調整弁が必要になります。給湯流量調整弁にはグローブバルブを現地調達してください。



給湯流量調整弁
(グローブバルブ)

施工概要

■各配管の制約について

配管選定については、配管メーカー様、販売店様または工事店様において、下記の当社配管制約、配管仕様、性能をご確認の上、選定してください。
屋内配管施工や埋設配管施工の場合は、配管のメンテナンスや更新を考慮した配管選定、および工事を行ってください。

配管名	耐熱温度 (連続使用温度)	種類	サイズ	貯湯ユニット 継手サイズ	最大長さ (片道)	曲がり数 (片道)	高低差	保温材厚さ※4
ヒートポンプ配管	95℃以上※1	銅管※3	10A(φ12.7)	R1/2	25m以下	10曲がり以下	3m以下	〈配管長〉 5m以下 : 10mm 5m超~15m以下 : 20mm 15m超~25m以下 : 30mm
		銅二層管 (RoHS指令相当品※5)	呼び13 呼び10					
給水配管	—	銅管※3	20A(φ22.2)	R3/4	—	—	—	10mm以上
		架橋ポリエチレン管	20A					
給湯配管	90℃以上※2	銅管※3	20A(φ22.2)	R3/4	—	—	—	10mm以上
		架橋ポリエチレン管	16A					
		耐熱性硬質塩化ビニル管 (HT管)	20A					
排水配管 (貯湯ユニット側)	90℃以上	耐熱性硬質塩化ビニル管 (HT管)	φ50以上	—	—	—	下り勾配	—
ドレン排水管 (ヒートポンプユニット側)	—	—	内径φ16	—	—	—	下り勾配 (たるみ、逆勾配不可)	—

※1. パッキン推奨品:(株)カクダイ 794-046-13 または 794-034-13 (4個入) (高温用ノンアスベストパッキン)

※2. パッキン推奨品:(株)カクダイ 794-046-20 または 794-034-20 (4個入) (高温用ノンアスベストパッキン)

※3. 銅管:JIS H3300 C1220T

※4. 保温材厚さ:記載値以上で各水道事業者指定の厚さ。寒冷地では20mm以上で各水道事業者指定の厚さ。

※5. RoHS:「Restriction of the use of certain Hazardous Substances in electrical and electronic equipment」の略称。

「電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州会議および理事会の指令」相当品を推奨。

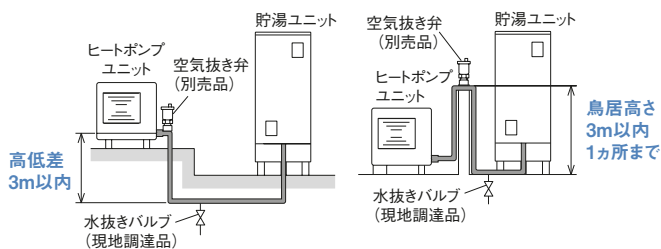
■各配管の施工上のお願い

ヒートポンプ配管	<ul style="list-style-type: none"> ●配管の施工容易化などのために、銅二層管を採用される場合は、長期耐久性(湯温95℃による配管材料の劣化など)が担保できる配管を選定してください。また、使用する配管メーカーの説明書に従って施工してください。 ●性能面から配管長は、できるだけ短くしてください。 ●配管には極性があります。水側配管と湯側配管を間違えないように接続してください。 ●配管には流れのさまたげとなる逆止弁付止水栓を取付けないでください。 ●貯湯ユニットおよびヒートポンプユニットの配管位置図(P.37、P.38)、据付所要スペース(P.37、P.38)を参照して、使用する配管の制約条件に従って施工してください。 ●給湯機の入替え時は、ヒートポンプ配管も入れ替えてください。
給水配管	<ul style="list-style-type: none"> ●点検、排水時に使用する給水専用止水栓を必ず取付けてください。(お客様が操作しやすい場所に取付けてください。)
給湯配管	<ul style="list-style-type: none"> ●配管径が細い、配管が長いなどで給水抵抗が大きくなるとお湯(水)の勢いが弱くなる場合があります。
排水配管	<ul style="list-style-type: none"> ●沸き上げ時、逃がし弁から排出される膨張水が確認できる場所に排水ホップを設けてください。 ●必ず間接排水工事を行ってください。 ●下水口へ排水配管を落とし込む場合、必ず排水トラップを設けてください。
ドレン排水管	<ul style="list-style-type: none"> ●凍結のおそれがある地域では、ドレンソケットを使用せず、下部に排水溝または排水ホップを設けるか、凍結防止ヒーターによる凍結防止工事をしてください。

■貯湯ユニット～ヒートポンプユニット間施工基準

	銅管 φ12.7	銅二層管(RoHS指令相当品) 呼び13	呼び10
最大配管長	25m以内	15m以内	
曲り箇所	10ヵ所以内	5ヵ所以内	

●銅二層管は、途中(曲げ部等)で継手による接続は行わないでください。(沸き上げ運転できない場合があります)



配管長はできる限り短くしてください。放熱ロスが大きくなります。
鳥居配管はできるだけ避けてください。空気が抜けにくくなります。

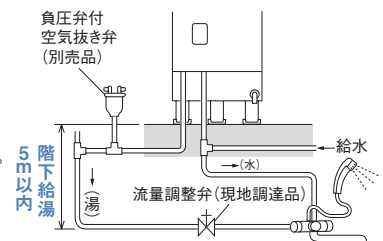
配管全長	5m以内	5~15m	15~25m
保温材厚さ	10mm※6	20mm	30mm

※6. 寒冷地設置の場合は20mm

■給湯配管の制約

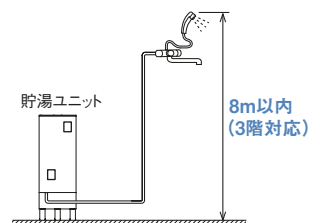
階下給湯の場合

- 給湯配管には必ず負圧弁付空気抜き弁(別売品)、流量調整弁(現地調達品)を取付けてください。
- 空気の混ざったお湯が出る場合は、貯湯ユニットへの給水量が不足しています。流量調整弁で給水量と給湯量のバランスを調整してください。



2階、3階給湯の場合

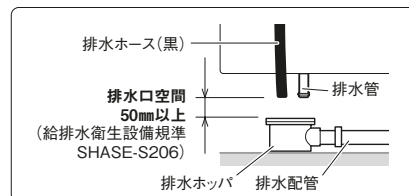
- 給水圧力が低いと、十分な性能が得られない場合があります。
- マッサージシャワーヘッドのような抵抗のあるシャワーヘッドを使用した場合、十分な性能が得られない場合があります。



■排水処理のしかた

貯湯ユニット

- 排水配管は、内径40mm以上で90℃以上の耐熱性と耐食性があるものをご使用ください。耐熱硬質塩化ビニル管（HT管）など。
- 排水量は25L/分を確保してください。
- 下水口や浄化槽へ排水配管を導く場合は、トラップ付の排水ホッパを使用してください。トラップ付の排水ホッパでないと、下水口や浄化槽などから逆流する下水ガスによって、排水配管および製品が腐食し、故障する場合があります。
- 排水ホースの先端を排水ホッパやパイプなどに差込まないでください。凍結により排水ホースが詰まり、配管が破損するため、排水口空間を50mm以上設けてください。

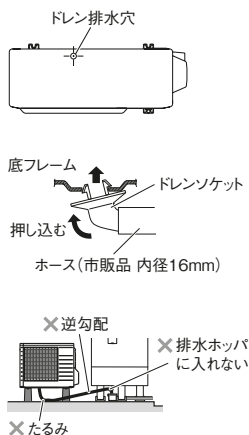


ヒートポンプユニット

- 1年を通して、沸き上げ運転中はドレン水が出るため、確実に排水ができる工事を行ってください。（1分間に約500mLのドレン水が出る場合があります。）

ドレン排水工事について

- ドレン排水するときは、ドレンソケットをご使用ください。ドレンソケットは底フレームにきっちりと取付けてください。水漏れの原因になります。
- ドレンソケットを底フレームに取付けるときは、ドレンホースをつないでから取付けてください。
- ドレンホース取付時には、必ず下り勾配を付けてください。たるんでいたり、逆勾配にすると、ゴミが詰まって水漏れの原因になります。
- ドレンホースの先端は、溝や配管に差し込んだり、水につけたりしないでください。
- ドレンホースに冷気があたらないように引き回してください。冷気があたるとドレンホース内部で水が凍結し、水漏れの原因になります。
- ヒートポンプユニットは水平に据付けてください。傾くと、ドレン水が漏れる、および機器の故障のおそれがあります。また、ドレン水の排水ができる場所に据付けてください。



凍結のおそれがある地域では

- ヒートポンプユニットのドレンソケットは使用せず、下部に排水溝または排水ホッパを設けてください。（ドレンホースを使用すると、ドレン水が底フレーム内で凍結し、沸き上げができなくなる場合があります。）ドレンホースを使用する必要がある場合は、凍結防止ヒーターによる凍結防止工事を行ってください。
- 2段置きはしないでください。

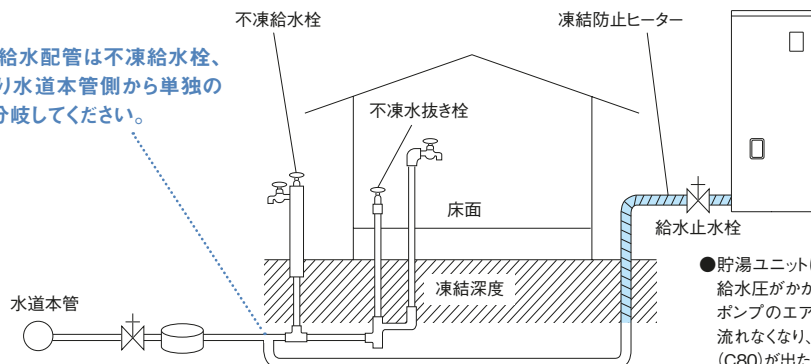
積雪地域に据付ける場合

- ヒートポンプユニットを積雪量に応じた高置台に取付けてください。
- 吸込口、吹出口が積雪でふさがれたり、天板に雪が積もったりすると故障の原因になります。別売品の防雪屋根、防雪板（左、後）や防雪フード（前面、側面、背面）を取付けてください。

⚠️ 給水配管凍結防止用の不凍水抜き栓、不凍給水栓使用時のご注意

配管例

エコキュートへの給水配管は不凍給水栓、不凍水抜き栓より水道本管側から単独の給水系統として分岐してください。



- 貯湯ユニットには、常に給水圧をかけた状態にしてください。給水圧がかからない状態で沸き上げ運転を行うと、沸き上げポンプのエア噛みにより、ヒートポンプ配管の循環水が流れなくなり、循環水系統不良(HJ)やエア抜き未完了異常(C80)が出たり、凍結することがあります。

⚠️ 耐塩害・耐重塩害兼用機についてのご注意

据付場所について

耐塩害・耐重塩害兼用機（JRA耐重塩害仕様相当）は、室外設置機を塩害および、大気汚染の影響を受ける場所に設置可能な仕様になっています。

種類	JRA耐重塩害仕様
据付場所	潮風の影響を受ける場所。 ただし、塩分を含んだ水が直接機器にはかからない場所
機種選定の目安※7	1. 室外ユニットの設置場所から海までの距離が約300m以内の場所 2. 室外ユニットが建物の表（海岸面）になる場所 3. 室外ユニット設置場所のトタン屋根、バルコニーの鉄製部の塗り替えが多い場所 4. 室外ユニットに雨があまりかからない場所

※7. 沖縄や離島地域に設置される場合は、耐塩害・耐重塩害兼用機を使用してください。

メンテナンス時の留意事項

- 機械のメンテナンスを十分に行ってください。（水をはじくグリスやワックス等の防錆塗装を据付時、および3ヵ月毎に塗布する）
- 長期間機械を停止する時は、機械にカバーをかける等の処置をしてください。
- なお、特殊な雰囲気（塩害）に機械を設置する場合は、別途充分考慮する必要があります。

据付上のご注意（維持管理について）

耐塩害・耐重塩害兼用機は素材や塗装内容を強化していますが、腐食に対して万全ではありません。このため、次のような据付計画と保守を行うことで防食効果を高める必要があります。

- 海水飛沫および潮風に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置してください。
 - 機械の設置は建物の風下にてしてください。
 - やむを得ず海岸面に機械を設置する場合でも、防風板を設けて直接潮風が当たらないようにしてください。
 - 据付方向に注意してください。（海岸線に平行と直角では腐食度合いが異なります）
- 外装パネルに付着した塩分粒子が、雨水によって十分洗浄されるように配慮してください。
- 室外ユニット底板内への水の滞留は、著しく腐食作用を促進させるため、底板内の水抜け性を損なわないよう傾きなどに注意してください。
- 海岸地域への据付品については、付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行ってください。
- 水はけの良い場所に設置してください。特に基礎部分の排水性を確保してください。
- 据付け、メンテナンス等にて付いた傷は、必ず補修してください。
- 機器の状態を定期的に点検してください。（必要に応じて再防錆処置や部品交換等を実施してください）

⚠ 安全のため各種ご注意を守り正しくお使いください。

設置地域に関するご注意

- ヒートポンプユニットの設置可能最低外気温度は-25℃です。(外気温度が-20℃を下回る地域は、貯湯ユニットを屋内に設置してください。) それを下回る地域では、保護装置の作動、能力低下のおそれがあります。
- 塩害地(海浜地区で潮風が直接当たる場所)では、機器が故障するおそれがありますので、耐塩害・耐重塩害兼用機をご使用ください。
- 温泉地帯など特殊な場所では、機器が故障するおそれがありますので、据付けないでください。

水質に関するご注意

- 水質は必ず、水道法に定められた水質基準に適合した水道水を使用してください。また、水道水であっても、水質によっては、タンク、減圧弁、逃し弁、熱交換器等の寿命が通常より短くなる場合があります。水道水であっても硬度が特に高い地域で使用する場合は相談窓口にてご相談ください。特に温泉水、地下水、井戸水で使用した場合は、通常の寿命は保証しかねます。(不具合等が発生した場合、無償保証はできません。)
- 自家浄水システムの処理水を使用する場合、水質によっては故障の原因になりますので、必ず相談窓口にてご相談ください。

設置に関するご注意

- 据付基準を守って据付けてください。
- 貯湯ユニットの設置場所からお湯を使用する場所までの配管長は、できるだけ短くしてください。配管長が長いほど、ジャコを開いてから設定温度のお湯が出るまでの時間が長くなります。
- 長期保管は平らな場所で縦置きのこと。
- ヒートポンプユニットは通気性が良い場所や強い風の当たらない場所に据付けてください。
- 動植物に直接風が当たらない所に据付けてください。動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。
- ヒートポンプユニットはテレビ、無線機等のアンテナより3m以上離してください。
- ヒートポンプユニットは空気の熱を取り込んでいますので、油煙などの多い場所には設置しないでください。製品内部が汚れ、性能低下やドレン詰まりにより、思わぬトラブルの原因になります。

ヒートポンプ ユニットの点検	ヒートポンプユニットのドレン詰まりにより、水漏れを起こした場合は、販売店または、お客様ご相談窓口へ連絡願います。
---------------------------	--

- 脚はアンカーボルトで必ず固定してください。
- 基礎は満水時の質量に十分耐えるように、また本体設置面は水平かつ水はけ良く施工してください。
- 積雪地区に設置する場合は、貯湯ユニットは小屋がけをして雪がかかるのを防いでください。また、ヒートポンプユニットは架台の上に据付け、雪が空気吸込口・吹出口から入らないように防雪カバーを取付けるなど、小屋がけをするか雪が積もらないように防雪屋根をつけてください。着雪防止制御により、沸き上げ運転をしていない場合でもヒートポンプユニットの送風ファンが回転することがあります。
- 太陽熱温水器と業務用エコキュートの給水接続口の接続はできません。
- 本体1台にメインリモコン1台を接続します。浴室リモコン(別売)はユニット連結台数1台の場合のみ取付可能です。
- 船舶、車両へは取付けないでください。又、特殊用途(飼育物用等)には使用しないでください。
- 貯湯ユニットを屋内設置する場合は、以下の点を厳守してください。
 - ・ 上下部に通気口を設け、密閉室にしない。
 - ・ 水が流出しても、防水、排水ができる所。

水配管・機材等に関するご注意

- 水配管工事は、水道工事認定業者が行ってください。
- 給水圧力は350kPa以上500kPa以下でご使用ください。給水時でも350kPa以上確保してください。
- 水源水圧を減圧しているため、給湯圧が水源水圧よりも低くなります。
- 水源水圧が500kPa以上の場合、減圧弁を追加してください。
- ウォーターハンマー現象が発生する場合は、水撃防止装置を取付けてください。
- ヒートポンプユニットは運転時ドレン水が排出されます。排水工事を行ってください。
- 沸き上げ中は貯湯ユニット逃し弁から膨張水(水または湯)が排出されます。必ず排水工事を行ってください。
- 給湯用水栓には必ず逆止弁付き湯水混合栓をご使用ください。逆止弁のついていない湯水混合栓を使用した場合や給湯用水栓が故障した場合、給湯温度が低くなります。
- 給湯配管径が細いと給水抵抗が大きくなり、お湯(水)の勢いが弱くなる場合があります。

タンクの湯温・湯量に関するご注意

- 昼間もヒートポンプ運転を行います。
- 外気温や使用湯量により沸き上げ温度は変化します。
- タンク内のお湯は放熱により少しずつ冷めます。
- 配管部材からの放熱で実際に貯湯する湯温は沸き上げ湯温より低くなります。
- お湯の使用量が少ない場合、朝のリモコン残湯量表示が全点灯しないことがあります。(省エネのため、全量を沸き上げない「部分沸き上げ」を行います)
- 貯湯式給湯器ですので瞬間式給湯器と比べて連続して使用できるお湯の量には限りがあります。お湯の使用量が多い店舗や湯切れをご心配される場合は連結数を増やしてください。湯切れをすると、お湯を沸き上げるまで時間がかかります。
- お湯を上手にお使いください。1日に使用できるお湯の量には限りがあります。洗いの時の流しっぱなし等に注意し、こまめに止めてください。

使用に関するご注意

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。そのあと大切に保管してください。
- シャワーをお使いになるときは、まずお湯の温度を確かめてからご使用ください。
- 湯水混合栓からの出湯温度は、配管からの放熱により、設定温度より低めになることがあります。
- ストップシャワー、マッサージシャワーなどのシャワーヘッドを使用すると、出湯量が少なくなることがあります。
- 2カ所以上同時にお湯を使用すると、出湯量が少なくなることがあります。
- シャワー用途に使用する場合は、必ずサーモカーンをご使用ください。
- メインリモコンは防水タイプではありませんので、水をかけないようご注意ください。故障の原因となります。
- 浴室リモコンは防水タイプですが、シャワーなどで直接水をかけないでください。故障の原因となります。
- そのままの飲用はお避けください。長期間のご使用によってタンク内に水垢がたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わっていることがあります。飲用される場合は以下の点に注意し、必ず沸騰させたものをご使用ください。
 - ・必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
 - ・熱いお湯が出てくるまでの水(配管にたまっている)は、雑用水としてご使用ください。
 - ・固形物や変色、濁り、異臭等がある場合には、飲用せずに直ちに据付け工事店(販売店)へ点検を依頼してください。
- 1日あたりの供給湯量を大幅に超過した沸き上げ運転を行った場合には、消耗部品等の交換時期が早くなります。

電気料金に関するご注意

- ダイキンヒートポンプ給湯機は、業務用電化厨房契約の対象です。
- リモコンの設定時刻がずれていると、電気料金が高くなる場合があります。

保証に関するご注意

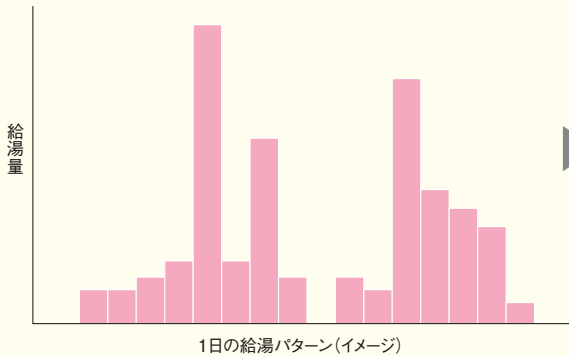
- 本内容及び取扱説明書・据付工事説明書の内容を守らなかったために発生した不具合については保証期間内であっても無償保証の対象外となります。
- 保証期間はご購入日より1年間です。
- 定期点検
 - 少しでも長くお使いいただくために取扱説明書の内容に従って定期的にお手入れと日常点検を行ってください。
 - 弁類、水量センサー、ポンプ、ファンモーター、パッキン類、ホース類は消耗部品です。

「ハイブリッド給湯システム」のご提案

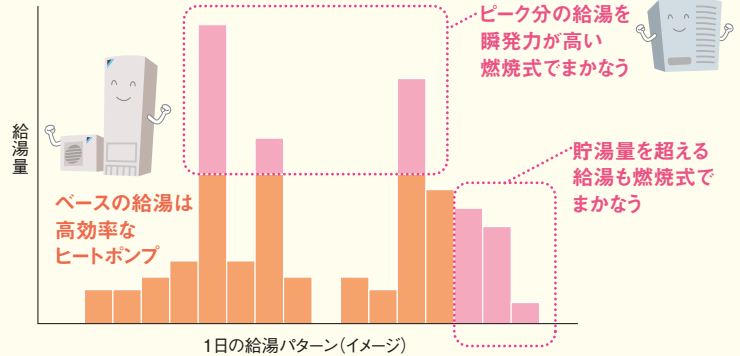
2方式のメリットを活かしたハイブリッド給湯システムで、パワフル給湯が実現します。

ベースの給湯はヒートポンプで行い、ピーク分や超過分の給湯を燃焼式でまかないます。

燃焼式給湯のみの場合



ハイブリッド給湯システム(燃焼式+ヒートポンプ給湯)なら



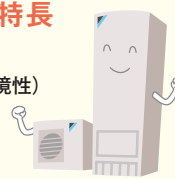
燃焼式給湯の特長

- 加熱性能に優れるため、瞬発力が高い
- 設置スペースが小さい
- 外気温度に影響されにくい



ヒートポンプ給湯の特長

- ランニングコストが安い
- 効率高く、省エネルギー(環境性)
- メンテナンスが容易



- 残湯量を気にしなくて良い
- 急な給湯ニーズに素早く対応
- 一方が故障や点検中でも給湯の完全停止を回避
- 燃焼のみより給湯コスト、CO2排出量が低減

現在、燃焼式給湯をお使いのお客様におすすめです。

短時間で大量のお湯を使う

ランチタイム

特定の日だけ過大にお湯を使う

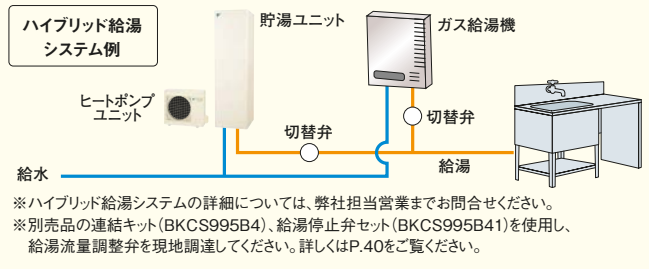
土日連休

お湯の使用量が一定しない

急な団体さん!

環境保全、省エネ法対策を進めたい

業務用エコキュートの場合



●詳しくはお問合せください。

フロン排出抑制法について

フロン排出抑制法が改正(2020年4月1日施行)されました。

- 1 フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。 2 この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。 3 冷媒が未回収の機器を引渡してはいけません。

フロン排出抑制法とは

第一種特定製品※を使用している管理者(ユーザー様)を対象に義務付けられた法律であり、以下の取り組みが義務付けられています。

※冷媒としてフロン類が充填されている業務用のエアコン、冷凍・冷蔵機器、給湯機など

点検

機器の点検を行う

記録

点検等の記録を保存

報告

フロン類算定漏えい量を報告

対象となる事業者

第一種特定製品に該当する業務用のエアコン、冷凍・冷蔵機器、給湯機を使用している全ての事業者が対象となります。

例)工場、病院、福祉施設、学校教育施設、飲食店、小売店など

圧縮機定格出力 **7.5kW未満**
の機器を保有している場合

簡易点検

3ヶ月に1回以上、管理者(ユーザー様)がご自身で行う点検が必要になります。

圧縮機定格出力 **7.5kW以上**
の機器を保有している場合

定期点検 + 簡易点検

1年または3年に1回以上、専門業者への定期点検の委託が必要になります。

規制がさらに強化されます

機器廃棄時に、下記の取組みに対して違反行為があった場合には行政指導などを経ることなく、

即座に管理者(ユーザー)様に刑事罰が科せられます!

機器廃棄時にはフロン回収を行う

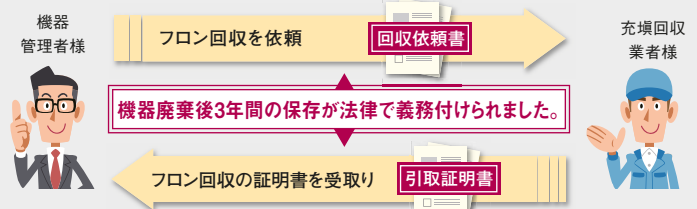
違反すると50万円以下の罰金

機器廃棄時の書類を廃棄後3年間保存

違反すると30万円以下の罰金

空調・冷凍冷蔵機器を廃棄する際の規制

機器を廃棄する際には、**フロン回収とその書類が必要**です!



機器点検の記録は、設置時から**廃棄後も3年間保存**

MEGA・Q 機種選定用ヒアリングシート

機種選定を行うために、下記項目のご記入をお願いします。

は必須項目です。必ずご記入ください。

基本情報	お客様名							新築	・	既築
	所在地	都道府県	市・郡	業種名	福祉施設・病院・ビジネスホテル ホテル・旅館・給食センター スポーツジム・ゴルフ場 など					
	建物構造	地上	階	地下	階	電力契約名・単価				円/kWh

簡易選定	利用規模 ※1	人	床	食	即湯機能有無 (配管循環保温有無)	有り						・	無し	
	営業時間	時 ~ 時			月別 利用者数割合 ※2	1月	2月	3月	4月	5月	6月			
	燃料種類・単価	都市ガス 重油 LPG	円/m ³ 円/L			7月	8月	9月	10月	11月	12月			
	休業日(曜日)	月・火・水・木・金・土・日			曜日別 利用者数割合 ※2	月	火	水	木					
	燃料消費量	m ³ /月 (月データ)				金	土	日	最大					

※1. 福祉施設、ビジネスホテル、リゾートホテル・旅館、スポーツ施設は利用人数/日、病院は床数/日、給食センターは食数をヒアリングください。

※2. 最大使用日(曜日)を100%として、各月(各曜日)の利用者数割合をご記入ください。

給湯使用箇所		給湯使用状況										備考	
浴槽関連	浴槽1	利用時間	時 ~ 時	浴槽サイズ	m × m × m	湯温	℃						
		湯張り時間	時 ~ 時	湯入替え	回/日	浴槽保温	循環保温・差し湯保温・なし						
	浴槽2	利用時間	時 ~ 時	浴槽サイズ	m × m × m	湯温	℃						
		湯張り時間	時 ~ 時	湯入替え	回/日	浴槽保温	循環保温・差し湯保温・なし						
詳細選定	機械浴槽	湯入替え	回/日	湯張り量	L	浴槽数	槽						
		利用時間	時 ~ 時	浴槽保温	循環保温・差し湯保温・なし								
	ユニットバス	湯入替え	回/日	湯張り量	L	浴槽数	槽						
		利用時間	時 ~ 時	浴槽保温	循環保温・差し湯保温・なし								
シャワー・手洗い	シャワー1	使用時間	時 ~ 時	人数	人	時 ~ 時	人	器具数				ヶ	
	シャワー2	利用人数	時 ~ 時	人	人	時 ~ 時	人		ヶ				
	シャワー3		時 ~ 時	人	人	時 ~ 時	人		ヶ				
	洗面・手洗い		時 ~ 時	人	人	時 ~ 時	人		ヶ				
	その他 (業務用洗濯機など)		使用時間 使用量	時 ~ 時	回 L	使用時間 使用量	時 ~ 時		回 L	ヶ			
厨房	使用時間	時 ~ 時	食数	食	使用時間	時 ~ 時	食数	食					

業務用エコキュート 省エネ提案ソフト | ヒアリングシート

機種選定を行うために、下記項目のご記入をお願いします。

 は必須項目です。必ずご記入ください。

基本情報	お客様名								新築 ・ 既築	
	所在地	都道府県	市・郡	業種名	<small> 1. ディケアサービス・グループホーム・社員寮 2. 社員寮・食堂・美容店・飲食店（兼宿舍）など </small>					
	建物構造	地上	階	地下	階	電力契約名		単価	円/kWh	

簡易選定	利用規模 ※1	人	席	食	即湯機能有無 (配管循環保温有無) ※2	有り ・ 無し											
	営業時間	時 ~ 時			月別 利用者数割合 ※3	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	燃料種類	都市ガス 重油 LPG	単価	円/m ³ 円/L	曜日別 利用者数割合 ※3	月	火	水	木	金	土	日	最大				
	休業日(曜日)	月・火・水・木・金・土・日			曜日別 利用者数割合 ※3	月	火	水	木	金	土	日	最大				
	燃料消費量	m ³ /月 (月データ)			曜日別 利用者数割合 ※3	月	火	水	木	金	土	日	最大				

※1. ディケアサービス・グループホーム・社員寮は利用人数/日 理容店・美容店は来客者数/日 飲食店は席数(可能な人数も)をヒアリングください。

※2. 即湯機能が「有り」の場合は別途営業までご相談ください。

※3. 最大使用日(曜日)を100%として、各月(各曜日)の利用者数割合をご記入ください。

給湯使用箇所		給湯使用状況						備考	
浴槽	浴槽1	使用時間 利用人数	時 ~ 時	湯入替え	回/日	槽			
	差し湯保温有無・浴槽サイズ		差し湯保温・なし	浴槽サイズ	m ×	m ×			mH
	浴槽2	使用時間 利用人数	時 ~ 時	湯入替え	回/日	槽			
	差し湯保温有無・浴槽サイズ		差し湯保温・なし	浴槽サイズ	m ×	m ×			mH
	ユニットバス	使用時間	時 ~ 時	湯入替え	回/日	槽			
	ユニットバス 保温方式	保温方法	差し湯保温・なし	浴槽サイズ	m ×	m ×	mH		
その他	使用時間	時 ~ 時	湯入替え	回/日	槽				
シャワー・手洗い	シャワー1	使用時間 利用人数	時 ~ 時	人	時 ~ 時	人	器具数	ヶ	
	シャワー2		時 ~ 時	人	時 ~ 時	人		ヶ	
	手洗い・洗面		時 ~ 時	人	時 ~ 時	人		ヶ	
	その他(業務用洗濯機など)		時 ~ 時	使用量 使用回数	L	回		ヶ	
厨房	食器洗浄機	使用時間	時 ~ 時	時 ~ 時	L/min	食洗器型番			
	前洗いシンク(流し洗い)		時 ~ 時	時 ~ 時	L/min	食洗器型番			
	前洗いシンク1(溜め洗い)		時 ~ 時	入替回数 入替回数	回	時 ~ 時	入替回数 入替回数	回	
	前洗いシンク2(溜め洗い)		時 ~ 時	入替回数 入替回数	回	時 ~ 時	入替回数 入替回数	回	
	その他シンク		時 ~ 時	時 ~ 時	L/min				
	ゆで麺機		時 ~ 時	時 ~ 時	L/min				
	床清掃		時 ~ 時	時 ~ 時	L/min				
	その他(解冻・フライヤーなど)		時 ~ 時	時 ~ 時	L/min				
	その他		時 ~ 時	時 ~ 時	L/min				



安全に関する ご注意

- アースを確実に取付けてください。故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アース工事は必ず販売店に依頼してください。
- 製品の近くにガス類や引火物を置かないでください。発火することがあります。
- 漏電遮断機の動作を確認してください。故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
- 凍結防止対策を行ってください。タンク、配管が破裂してやけどすることがあります。
- 脚をアンカーボルトで固定してください。本体が倒れてケガをすることがあります。
- 床面が防水、排水処理されているか確認してください。
- ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 設置は据付説明書に従って質量に耐える所に確実に行ってください。設置が不完全な場合は、感電、火災、本体落下によるケガ、水漏れの原因になります。
- 本カタログに掲載の配管や配線を伴った概略図やイメージ図は商品等の特長・機能を解説するものです。実際の設計・施工においては、必ず技術資料及び据付説明書に従ってください。

●このカタログに記載のダイキン「業務用エコキュート」は国内業務用です。電源電圧や電源周波数が異なる海外では使用できません。
The Products shown in this catalogue can be used only in Japan.

業務用ヒートポンプ給湯機もリースでの導入がおすすめです。

HFC大型業務用ヒートポンプ給湯システム MEGA・Qなら ビジネスリース

- 対象金額：30万円以上
- リース期間：7年

自然冷媒 (CO₂) ヒートポンプ給湯機 業務用エコキュートなら 安心保証リース

- 対象金額：30万円以上
- リース期間：4～7年
- 特典：リース期間内は修理費無償

インテリジェントタッチマネージャー および関連ソフトなら iTM専用リース

- 対象台数：1台以上
- リース期間：6年

・詳細については営業窓口までお問い合わせください。

フロン排出抑制法 2020年4月1日法改正

フロン排出抑制法により、業務用冷凍空調機器の点検が義務化されました。

<https://www.daikinaircon.com/furon/>



D-SEARCH (ディーサーチ)

製品の詳細仕様や図面、取扱説明書、据付説明書などがご覧いただけます。

<https://d-search.daikin.co.jp/open.html>



体感型ショールーム

ダイキンソリューションプラザ 「フーハ東京」「フーハ大阪」

フーハ東京 新宿NSビル1F
〒163-0801 東京都新宿区西新宿2-4-1
営業時間：10:00-18:00 (最終入館 17:30)
休 館 日：毎週水曜日、夏期・年末年始



フーハ大阪 グランフロント大阪 北館4階
(ナレッジキャピタル)
〒530-0011 大阪市北区大深町3番1号
営業時間：10:00-19:00 (最終入館 18:30)
休 館 日：第2、第4水曜日、年末年始



ダイキン フーハ
<https://www.daikin.co.jp/fuha/>

修理依頼、製品・技術に関するお問い合わせ、リモコン・フィルターのご購入などは



電話番号をよくお確かめのうえ、お掛け間違いのないようにお願いします。



ダイキンコンタクトセンター こちらからもアクセスできます▼

<https://www.daikincc.com>



お電話から **0120-88-1081**

FAXから **0120-07-0881**



24時間365日、安心つながる。 お客様総合窓口 **ダイキンコンタクトセンター**



登録事業者：ダイキン工業株式会社 空調生産本部
登録活動範囲：業務用空調・加熱・冷却及び冷凍機器、暖房機器、住宅用空調機器、全熱交換器、空気清浄機、圧縮機及び弁類の設計・開発及び製造。



ダイキングループは、国内全事業所と国内全子会社で環境マネジメントの国際規格 ISO14001 の認証を取得しています。



「エコファースト制度」は、業界のトップランナー企業が環境大臣に対して自らの環境保全に関する取り組みを約束する制度です。
ダイキン工業は空調業界で初めて「エコファースト企業」の認定を受けました。

ダイキンの会員サイト

CLUB DAIKIN

取扱説明書もかんたん閲覧!
暮らしに役立つ使い方をプロが伝授!



素敵な特典が抽選で当たるキャンペーンも!
クラブダイキン
<https://www.clubdaikin.jp/>

空気・換気のさまざまなお困りごとに ダイキンがとことんお応えする専用相談窓口 空気の相談窓口

空気・換気についてお困りの際は

ダイキン 空気の相談窓口

<https://www.daikinaircon.com/kuukinavi/consultation/>



ダイキン工業株式会社 空調営業本部

本 社 〒530-8323 大阪市北区中崎西二丁目4番12号 梅田センタービル
東京支社 〒108-0075 東京都港区港南二丁目18番1号 JR品川イーストビル

・本カタログに掲載の内容は2021年6月現在のものです。尚、改良などのため内容を変更する場合があります。予めご了承ください。
・本カタログに記載しております商品の価格には消費税は含まれておりません。また、配管・据付工事費、配送費および使用済み商品の引き取り費用は含まれておりません。
・印刷条件により製品色が実際と多少異なる場合があります。

<https://www.daikin.co.jp/aircon/>
インターネット上の「ダイキンエアコン」ホームページアドレスです。